

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1	30	女	平成21年10月19日	無	さばアレルギー	アナフィラキシーショック	平成21年10月19日	関係有り	重篤	平成21年10月19日	軽快
2	20	女	平成21年10月21日	無	バファリンで蕁麻疹	吐気	平成21年10月21日	関係有り	重篤	平成21年10月22日	軽快
3	40	女	平成21年10月21日	有	蕁麻疹の既往あり	アナフィラキシー	平成21年10月21日	関連有り	重篤	平成21年10月22日	回復
4	60	女	平成21年10月20日	無	ベンタジン、インダシ、ブスコパンの投与で発疹、呼吸苦、ショック症状	アナフィラキシー	平成21年10月20日	関連有り	重篤	平成21年10月21日	軽快
5	20	女	平成21年10月21日	無	季節性インフルエンザワクチン、接種サワシリン、食物アレルギー有り	39℃以上の発熱	平成21年10月23日	関連有り	重篤	平成21年10月26日	軽快
6	30	女	平成21年10月23日	無	かぜが治まった所であった	発熱、発疹、肝機能異常	平成21年10月23日	関連有り	重篤	平成21年11月7日	軽快
7	30	女	平成21年10月22日	無	無	アナフィラキシー	平成21年10月22日	関連有り	重篤	平成21年10月23日	回復
8	40	女	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	動悸	平成21年10月23日	関連有り	重篤	平成21年10月28日	回復
9	20	男	平成21年10月26日	無	無	両上目瞼発赤腫脹、両下肢しびれ	平成21年10月26日	関連有り	重篤	平成21年10月27日	回復
10	30	女	平成21年10月25日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	下痢、関節痛、倦怠感、頭痛	平成21年10月25日	評価不能	重篤	平成21年10月28日	軽快
11	20	女	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	上腹部痛、下痢、倦怠感	平成21年10月23日	評価不能	重篤	平成21年10月27日	軽快
12	10	女	平成21年10月24日	無	咽頭痛・発熱あるも予防接種	発熱39度	平成21年10月24日	関連有り	重篤	平成21年10月29日	軽快
13	40	女	平成21年10月23日	無	高血圧、高コレステロール血症	しびれ(両手～両肘下)	平成21年10月23日	関連有り	重篤	平成21年10月24日	回復
14	30	男	平成21年10月26日	無	無	39℃以上の発熱、インフルA型	平成21年10月29日	関連有り	重篤	平成21年10月30日	回復
15	30	女	平成21年10月29日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	アナフィラキシー様反応	平成21年10月29日	関連有り	重篤	平成21年10月29日	軽快
16	20	女	平成21年10月28日	無	クローン病治療	アナフィラキシー	平成21年10月29日	関連有り	重篤	平成21年10月29日	回復
17	20	女	平成21年10月23日	無	感冒時・発熱時の喘息	咳、頭痛、関節痛、息苦しさ、喘息	平成21年10月23日	関連有り	重篤	平成21年10月28日	回復
18	40	女	平成21年10月30日	無	無	アナフィラキシー	平成21年10月30日	関連有り	重篤	平成21年10月31日	回復
19	70	男	平成21年10月19日	無	薬剤アレルギー、肝障害(インフルエンザワクチン)	急性肝障害	平成21年10月25日	関連有り	重篤	平成21年10月28日	回復
20	50	女	平成21年10月27日	無	アレルギー性鼻炎	アナフィラキシーショック	平成21年10月27日	関連有り	重篤	平成21年10月30日	回復
21	40	女	平成21年10月29日	無	じんましん	血管迷走反射	平成21年10月29日	関連有り	重篤	平成21年10月30日	回復
22	40	女	平成21年10月28日	無	無	左上肢の痛みとしびれ	平成21年10月28日	関連有り	重篤	平成21年11月11日	未回復
23	40	男	平成21年10月24日	無	無	末梢神経炎、筋炎	平成21年10月25日	関連有り	重篤	平成21年11月11日	未回復
24	20	女	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種(10/30)	上肢の筋力低下、痛み	平成21年10月27日	関連有り	重篤	不明	不明
25	70	男	平成21年10月30日	無	間質性肺炎、アスペルギルス症、肺脳症、呼吸器不全	間質性肺炎増悪	平成21年10月30日	関連有り	重篤	平成21年11月9日	未回復
26	30	女	平成21年11月2日	無	自己赤血球免疫性紫斑病、10月26日季節性インフルエンザワクチン接種	紫斑、意識障害、けいれん	平成21年11月2日	関連有り	重篤	不明	不明
27	40	女	平成21年10月22日	無	甲状腺機能亢進症	アナフィラキシー	平成21年10月22日	関連有り	重篤	平成21年10月22日	回復
28	20	女	平成21年10月30日	無	2年前のインフルエンザ予防接種にて、30分後に息苦しくなった	頭痛、めまい	平成21年10月30日	関連有り	重篤	平成21年11月4日	軽快
29	30	女	平成21年11月4日	無	抗生剤ユナシン、ロキフィンにてかゆみ喉頭浮腫、ネオファアゲンにてアナフィラキシーショック	じんましん、喉頭浮腫、呼吸苦	平成21年11月4日	関連有り	重篤	平成21年11月4日	回復
30	30	女	平成21年10月29日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	嘔気、血圧低下、腰・下肢痛	平成21年10月29日	評価不能	重篤	不明	不明

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
31	40	女	平成21年11月5日	無	気管支喘息治療中、コントロールは良好。以前季節性インフルエンザ予防接種後、気管支喘息発作有り	気管支喘息発作	平成21年11月5日	関連有り	重篤	平成21年11月7日	回復
32	50	男	平成21年11月4日	無	1季節性インフルエンザワクチン接種、2基礎疾患:糖尿病性腎症による腎不全で透析療法中、3薬・食品でのアレルギー歴有り、	アナフィラキシー	平成21年11月4日	関連有り	重篤	平成21年11月4日	軽快
33	30	女	平成21年11月5日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	アナフィラキシー	平成21年11月5日	関連有り	重篤	平成21年11月6日	軽快
34	40	女	平成21年10月31日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	アナフィラキシー	平成21年10月31日	関連有り	重篤	平成21年11月1日	軽快
35	20	女	平成21年11月5日	無	無	頭痛、嘔気、嘔吐、下痢、微熱	平成21年11月5日	評価不能	重篤	平成21年11月10日	回復
36	10	男	平成21年11月6日	無	気管支喘息	アナフィラキシー	平成21年11月6日	関連有り	重篤	平成21年11月7日	回復
37	30	男	平成21年11月5日	無	無	気分不快	平成21年11月5日	不明	重篤	平成21年11月6日	回復
38	30	男	平成21年11月5日	無	無	血管迷走神経反射	平成21年11月5日	関連有り	重篤	平成21年11月6日	回復
39	30	女	平成21年11月4日	無	以前インフルエンザワクチン接種で体調不良になった 既往:喘息	アナフィラキシー	不明	関連有り	重篤	平成21年11月5日	回復
40	40	女	平成21年11月8日	無	気管支喘息、既往:20数年前のワクチン接種で軽い皮疹出現(記憶不明確)	急性アレルギー性皮膚炎	平成21年11月6日	関連有り	重篤	平成21年11月9日	回復
41	50	女	平成21年10月21日	無	甲状腺機能亢進、僧帽弁逆流	左の眼球 ブドウ膜炎	平成21年10月26日	評価不能	重篤	平成21年11月11日	未回復
42	30	女	平成21年11月10日	無	季節性インフルエンザワクチン接種(異常なし)、アレルギー体質	じんましん	平成21年11月10日	関連有り	重篤	平成21年11月10日	回復
43	60	男	平成21年11月9日	無	透析患者(慢性腎不全)	発熱、胸部不快	平成21年11月9日	評価不能	重篤	平成21年11月10日	軽快
44	50	女	平成21年10月28日	無	B型肝炎ワクチンにて全身倦怠感	ぶどう膜炎	平成21年11月4日	関連有り	重篤	平成21年11月13日	未回復
45	40	女	平成21年11月6日	無	アレルギー(+)(アレルゲン、卵、エビ、そばなど約30種類)	アナフィラキシー、発熱、腋窩腫瘍	平成21年11月6日	関連有り	重篤	平成21年11月13日	回復(発熱など) 軽快(痛痒) 未回復(腫瘍)
46	30	女	平成21年10月27日	無	無	ギランバレー症候群又は他の神経症状	平成21年10月27日	関連有り	重篤	平成21年11月16日	未回復
47	90	女	平成21年11月16日	無	一週間前季節性インフルエンザワクチン接種	脳梗塞	平成21年11月17日	評価不能	重篤	平成21年11月17日	不明
48	40	女	平成21年11月5日	無	全身性マリタトーデス、腎不全、高血圧	左脳出血	平成21年11月15日	評価不能	重篤	平成21年11月17日	未回復
49	30	男	平成21年10月21日	無	無	肝機能異常	平成21年10月26日	不明	重篤	不明	未回復
50	20	女	平成21年11月14日	不明	無	39℃以上の発熱	平成21年11月16日	関連有り	重篤	平成21年11月18日	軽快
51	60	女	平成21年11月16日	無	認知症にて、誤嚥性肺炎を反復しており絶食中である	じんましん	平成21年11月17日	関連有り	重篤	平成21年11月19日	回復
52	80	女	平成21年11月18日	無	やや風邪気味だった	過換気症候群、けいれん	平成21年11月18日	評価不能	重篤	平成21年11月22日	軽快
53	10	女	平成21年11月16日	無	基礎疾患:慢性腎臓病は血病医、骨髄移植後	発熱	平成21年11月17日	評価不能	重篤	平成21年11月19日	軽快
54	20	女	平成21年11月17日	無	無	ショック(血圧低下)	平成21年11月17日	関連有り	重篤	平成21年11月17日	回復
55	20	女	平成21年11月17日	無	無	接種部位の腫脹と痒み、その他部位の発赤、痒み	平成21年11月19日	関連有り	重篤	平成21年11月26日	不明

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
56	10	男	平成21年11月16日	無	基礎疾患としてCharcot-Marie-Tooth病の疑い。過去のワクチン接種後に副反応。	アナフィラキシーショック	平成21年11月16日	関連有り	重篤	不明	不明
57	70	女	平成21年11月19日	無	大腸がん術後再発	倦怠感、意識障害	平成21年11月19日	関連有り	重篤	平成21年11月20日	回復
58	80	女	平成21年11月17日	無	気管支喘息、慢性気管支炎に伴う慢性呼吸不全。慢性心不全、糖尿病、発作性心房細動、インスリン治療、アルツハイマー型認知症	脳出血	平成21年11月17日	関連無し	重篤	平成21年11月19日	不明
59	20	女	平成21年11月11日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	臍帯過捻転(胎児死亡)	平成21年11月18日	関連無し	重篤	平成21年11月18日	未回復
60	10	女	平成21年11月20日	無	気管支喘息	アナフィラキシー疑い	平成21年11月20日	評価不能	重篤	平成21年11月20日	回復
61	20	女	平成21年11月9日	無	無	フィッシャー症候群(ギランバレー症候群)	平成21年11月14日	関連有り	重篤	平成21年11月24日	未回復
62	10歳未満	男	平成21年11月10日	無	ネフローゼ症候群、季節性インフルエンザワクチン接種	発熱、じんましん、ネフローゼ悪化	平成21年11月10日	関連有り	重篤	平成21年11月24日	軽快
63	60	男	平成21年11月20日	無	慢性心不全増悪により、11/17まで入院加療	咯血、呼吸困難	平成21年11月20日	評価不能	重篤	平成21年12月1日	回復
64	30	女	平成21年11月19日	無	関節リウマチ、小学生時親子丼食べてじんましんあり	血管迷走神経反射	平成21年11月19日	関連有り	重篤	平成21年11月21日	回復
65	10歳未満	男	平成21年11月17日	無	卵アレルギー:医師の承諾有り	けいれん	平成21年11月17日	評価不能	重篤	平成21年11月24日	回復
66	10歳未満	男	平成21年11月18日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	熱性けいれん重積、急性脳症	平成21年11月19日	評価不能	重篤	不明	不明
67	40	女	平成21年11月5日	無	卵アレルギー	アナフィラキシー(軽度)	平成21年11月5日	関連有り	重篤	平成21年11月9日	軽快
68	50	女	平成21年10月30日	無	無	急性散在性脳症(ADEM)	平成21年11月7日	評価不能	重篤	平成21年11月18日	軽快
69	50	女	平成21年11月16日	不明	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年11月18日	評価不能	重篤	平成21年11月24日	回復
70	50	男	平成21年11月20日	無	無	発熱	平成21年11月20日	評価不能	重篤	平成21年11月24日	軽快
71	10歳未満	女	平成21年11月16日	無		けいれん	平成21年11月21日	評価不能	重篤	不明	不明
72	40	女	平成21年11月16日	無	喘息、季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年11月17日	関連有り	重篤	平成21年11月18日	軽快
73	80	女	平成21年11月17日	無	慢性心不全	急性呼吸不全と熱発	平成21年11月20日	関連有り	重篤	平成21年12月2日	未回復
74	90	男	平成21年11月14日	無	脳梗塞、認知症	急性呼吸不全と熱発	平成21年11月16日	関連有り	重篤	平成21年11月23日	未回復
75	10歳未満	女	平成21年11月19日	無	急性リンパ性白血病	けいれん	平成21年11月19日	評価不能	重篤	平成21年11月20日	軽快
76	70	女	平成21年11月19日	無		アナフィラキシー	平成21年11月20日	関連有り	重篤	平成21年11月21日	軽快
77	60	女	平成21年10月21日	無	無	肝機能異常	平成21年11月4日	不明	重篤	不明	不明
78	60	男	平成21年11月18日	無	無	発熱	平成21年11月19日	関連有り	重篤	平成21年11月24日	回復
79	50	男	平成21年11月20日	無	無	心筋梗塞	平成21年11月24日	関連無し	重篤	不明	不明
80	60	女	平成21年11月25日	無	好酸球増多症候群、好酸球性副鼻腔炎	喘息発作	平成21年11月25日	関連有り	重篤	不明	不明
81	40	男	平成21年11月5日	無	無	じんましん	平成21年11月5日	関連有り	重篤	平成21年11月6日	回復
82	10歳未満	男	平成21年11月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種(2回目:副反応無し)、けいれん	顎、下の不随意運動	平成21年11月26日	関連有り	重篤	平成21年12月3日	不明
83	70	女	平成21年11月13日	無	季節性インフルエンザワクチン接種、リンデロン(ステロイド)内服中	けいれん	平成21年11月18日	関連有り	重篤	平成21年11月27日	未回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
84	40	女	平成21年11月11日	無	アレルギー、喘息	喘息発作(嘔気、呼吸浅く)、じんましん	平成21年11月11日	関連有り	重篤	平成21年11月11日	軽快
85	80	男	平成21年11月16日	無	基礎疾患:肺炎腫、関節リウマチ	発熱、低ナトリウム血症	平成21年11月16日	評価不能	重篤	平成21年11月25日	回復
86	70	男	平成21年11月26日	無	隣腫瘍、糖尿病	敗血症が起こった	平成21年11月27日	評価不能	重篤	平成21年12月4日	回復
87	40	女	平成21年11月20日	無	アレルギー:ケラフルで発疹 実子:ムンプスの予防接種で発疹(一ヶ月以内で子供が新型インフルエンザに罹患、当日の本人の症状:36.7℃鼻汁、咳少し)	全身性けいれん、意識障害	平成21年11月25日	評価不能	重篤	不明	不明
88	20	男	平成21年11月25日	無	脳性マヒ、経管栄養中、夜間のみC-PAP使用中	発熱	平成21年11月26日	関連無し	重篤	平成21年11月27日	未回復
89	60	女	平成21年11月20日	無	慢性閉塞性呼吸器疾患(慢性呼吸不全)、慢性心不全 季節性インフルエンザワクチン接種	慢性呼吸不全急性増悪	平成21年11月21日	評価不能	重篤	平成21年11月27日	軽快
90	30	女	平成21年11月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種、アレルギー:モチ米	アナフィラキシー	平成21年11月30日	関連有り	重篤	平成21年12月1日	回復
91	10歳未満	男	平成21年11月18日	無	てんかん:テグレトール内服中(10/15内服開始)	じんましん	平成21年11月19日	関連有り	重篤	平成21年12月8日	軽快
92	10歳未満	男	平成21年11月29日	無	気管支喘息加療中 アレルギー:卵白PAST(陽性)だが、明らかな食物アレルギーなし	じんましん	平成21年11月29日	評価不能	重篤	平成21年12月1日	軽快
93	10歳未満	女	平成21年11月25日	無	食物アレルギー、気管支喘息、季節性インフルエンザワクチン接種	発熱、喘息発作	平成21年11月25日	関連有り	重篤	平成21年12月2日	回復
94	60	女	平成21年11月26日	無	気管支喘息	アナフィラキシー	平成21年11月26日	関連有り	重篤	平成21年11月27日	回復
95	10歳未満	男	平成21年11月30日	無	喘息、心 患手術している	頭痛、嘔吐	平成21年11月30日	関連有り	重篤	平成21年12月2日	回復
96	30	女	平成21年11月16日	無	喘息	発熱	平成21年11月16日	関連有り	重篤	平成21年11月17日	回復
97	80	男	平成21年11月5日	無	疾患:パーキンソン症候群、褥瘡 既往:脳梗塞	PT延長(ワーファリン作用増強)	不明	関連有り	重篤	不明	回復
98	70	男	平成21年11月25日	無	肺炎腫	発熱、炎症反応高値	平成21年11月26日	関連有り	重篤	平成21年12月2日	回復
99	70	男	平成21年12月3日	無	無	低血圧低下、冷汗	平成21年12月3日	関連有り	重篤	平成21年12月4日	回復
100	40	女	平成21年10月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	動悸、頻脈	平成21年10月30日	評価不能	重篤	平成21年10月30日	回復
101	50	女	平成21年11月26日	無	気管支喘息	気管支喘息発作	平成21年12月2日	関連有り	重篤	平成21年12月2日	軽快
102	40	女	平成21年11月19日	無	喘息	喘息発作(入院加療)	平成21年11月21日	評価不能	重篤	平成21年12月1日	軽快
103	10歳未満	男	平成21年12月2日	無	喘息:フルタイド吸入(1日1回)一年間発作無し、シングレア内服中	発熱、インフルエンザA型	平成21年12月3日	関連有り	重篤	平成21年12月5日	軽快
104	70	男	平成21年11月26日	不明	季節性インフルエンザワクチン接種、前立腺癌:カソデックス(80mg)1T分1で内服中	両下肢の筋痛、脱力	平成21年11月29日	評価不能	重篤	不明	不明
105	30	男	平成21年12月1日	無	既往:頭部外傷による症候性てんかん 季節性インフルエンザワクチン接種	けいれん重積	平成21年12月1日	評価不能	重篤	平成21年12月3日	軽快
106	60	男	平成21年11月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	急性呼吸循環不全、発熱、低血糖、肝機能障害、白血球・血小板減少	平成21年11月27日	関連有り	重篤	平成21年12月4日	軽快
107	40	女	平成21年11月28日	無	喘息	喘息発作	平成21年11月29日	関連有り	重篤	不明	不明
108	20	女	平成21年11月24日	無	分子標的治療薬(スーテット)内服中	発熱、全身発疹	平成21年11月27日	評価不能	重篤	平成21年11月30日	未回復
109	50	女	平成21年12月4日	無	無	ADEM疑い	平成21年12月4日	関連有り	重篤	平成21年12月5日	不明

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
110	40	男	平成21年11月18日	無	無	紫斑(四肢、軀幹)	平成21年11月19日	関連有り	重篤	平成21年12月5日	軽快
111	30	女	平成21年11月9日	無	無	肝機能障害	平成21年11月9日	評価不能	重篤	平成21年12月4日	未回復
112	10歳未満	女	平成21年12月2日	無	てんかん	けいれん	平成21年12月3日	評価不能	重篤	平成21年12月3日	軽快
113	60	男	平成21年11月20日	無	基礎疾患:2型糖尿病(インスリン治療)、心臓バイパス術後、下肢動脈閉塞による人工血管バイパス術(両側)後で当院通院中だった	ギランバレー症候群	平成21年12月5日	関連有り	重篤	不明	不明
114	70	男	平成21年11月21日	無	造影剤アレルギー、完全病室ブロック DDDペースメーカー留置後	肺炎	平成21年11月24日	評価不能	重篤	平成21年12月5日	軽快
115	20	男	平成21年11月16日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	39°C以上の発熱	平成21年11月16日	評価不能	重篤	平成21年12月1日	回復
116	60	男	平成21年11月16日	不明	疾患:アルコール性肝硬変、糖尿病 既往:高血圧	めまい、耳鳴り、聴力障害	平成21年11月18日	評価不能	重篤	平成21年12月4日	未回復
117	60	男	平成21年10月21日	有	無	強い不安感	平成21年10月21日	関連有り	重篤	平成21年10月22日	回復
118	70	男	平成21年11月26日	無	気管支喘息加療中、ワクチン副作用歴無し	薬剤性間質性肺炎	平成21年12月2日	関連有り	重篤	平成21年12月8日	軽快
119	50	女	平成21年12月7日	不明		発熱	平成21年12月7日	関連有り	重篤	不明	不明
120	50	男	平成21年11月11日	無	無	発熱、肝機能障害	平成21年11月14日	評価不能	重篤	平成21年11月30日	軽快
121	50	女	平成21年12月5日	無	気管支喘息:加療中 季節性インフルエンザワクチン接種	アナフィラキシー疑い	平成21年12月5日	評価不能	重篤	平成21年12月6日	回復
122	10歳未満	女	平成21年12月8日	無	基礎疾患:気管支喘息(吸入ステロイドで加療中) ワクチン歴:ワクチン後の副反応無し	アナフィラキシー	平成21年12月8日	関連有り	重篤	平成21年12月9日	回復
123	80	男	平成21年11月30日	無	脳出血後遺症、こえん性気管支肺炎、症候性てんかん	けいれん(てんかん発作)	平成21年11月30日	関連有り	重篤	平成21年12月9日	回復
124	40	女	平成21年11月27日	無	ギランバレー症候群、ぜんそく	頭痛	平成21年11月27日	評価不能	重篤	平成21年12月8日	回復
125	80	女	平成21年12月4日	無	糖尿病性腎症、閉塞性動脈硬化症	心不全	平成21年12月7日	評価不能	重篤	平成21年12月9日	不明
126	80	女	平成21年12月9日	無	心不全	心室細動	平成21年12月9日	評価不能	重篤	不明	不明
127	60	女	平成21年12月7日	無	バセドウ氏病、季節性インフルエンザワクチン接種	全身脱力	平成21年12月7日	評価不能	重篤	不明	不明
128	10歳未満	男	平成21年12月9日	有	アレルギー歴無し、川崎病(冠動脈疾患無し)でフォロー。他院で季節性インフルエンザワクチン接種:翌日朝より目の下の腫れがあった	アナフィラキシー	平成21年12月9日	関連有り	重篤	平成21年12月10日	回復
129	90	女	平成21年12月7日	無	非結核性抗酸菌症の化学療法後、再発症状は安定。Ⅱ型糖尿病と高血圧症:内服薬でコントロール良好。季節性インフルエンザワクチン接種	肺炎	平成21年12月9日	評価不能	重篤	平成21年12月10日	未回復
130	70	男	平成21年11月11日	無	肺気腫・慢性呼吸不全	急性呼吸不全による死亡	平成21年11月12日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月12日	死亡
131	80	男	平成21年11月11日	無	肺気腫・慢性呼吸不全		平成21年11月15日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月15日	死亡
132	70	男	平成21年11月2日	無	高血圧・心筋梗塞・糖尿病・低血糖性脳症・認知症		平成21年11月2日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月2日	死亡
133	80	女	平成21年11月10日	無	間質性肺炎・心不全・肺性心、10/27ニューモバックス接種	呼吸不全による死亡	平成21年11月11日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月11日	死亡
134	80	男	平成21年11月2日	無	多発性脳梗塞で10年前から起坐不能で臥床。09年1月からえん下性肺炎を繰り返し入院中だった。	その他の異常反応	平成21年11月14日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月14日	死亡
135	80	男	平成21年10月21日	無	胃がん・肺気腫		平成21年10月24日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月14日	死亡
136	60	男	平成21年11月13日	無	肝細胞癌	腹腔内出血	平成21年11月15日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月15日	死亡
137	70	女	平成21年11月11日	無	慢性腎不全(透析)、胃がん、転移性肺がん、高血圧、糖尿病	死亡	平成21年11月14日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月14日	死亡

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
138	80	男	平成21年11月16日	無	慢性腎不全、心不全、消化管出血、季節性インフルエンザワクチン接種	血圧低下、意識障害、呼吸困難	平成21年11月17日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月17日	死亡
139	70	女	平成21年11月16日	無	慢性閉塞性肺疾患、肺高血圧症	その他の通常ではみられない異常反応	平成21年11月18日	評価不能	重篤(死亡)	不明	死亡
140	80	女	平成21年11月11日	無	肺炎で治療中	死亡	平成21年11月12日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月12日	死亡
141	80	女	平成21年11月16日	無	慢性関節リウマチ、脳出血、季節性インフルエンザワクチン接種	突然死	平成21年11月18日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月18日	死亡
142	90	男	平成21年11月18日	無	脳出血後遺症	嘔吐	平成21年11月18日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月19日	死亡
143	80	男	平成21年11月19日	無	肺がん	死亡	平成21年11月19日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月19日	死亡
144	70	女	平成21年11月19日	無	血液透析	急性心不全	平成21年11月19日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月19日	死亡
145	80	男	平成21年11月17日	無	慢性腎不全により血液透析治療	死亡	平成21年11月19日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月19日	死亡
146	50	男	平成21年11月18日	無	糖尿病、高血圧、甲状腺機能亢進症	死亡	平成21年11月20日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月20日	死亡
147	80	男	平成21年11月16日	無	髄膜炎	死亡	不明	関連無し	重篤(死亡)	不明	死亡
148	80	男	平成21年11月6日	無	慢性気管支炎、脳血管性認知症	突然死	平成21年11月7日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月7日	死亡
149	80	男	平成21年11月18日	無	糖尿病	脳血管障害	平成21年11月20日	評価不能	重篤(死亡)	不明	死亡
150	90	男	平成21年11月19日	無	気管支炎喘息の既往、認知症	呼吸機能の急性増悪	平成21年11月19日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月19日	死亡
151	90	男	平成21年11月19日	無	間質性肺炎、季節性インフルエンザワクチン接種	呼吸不全(死亡)	平成21年11月20日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月20日	死亡
152	80	女	平成21年11月18日	無	気管支喘息、高血圧	脳内出血	平成21年11月18日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月18日	死亡
153	70	男	平成21年11月18日	無	脳梗塞及び脳出血(後遺症)	血圧低下、呼吸停止	平成21年11月22日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月22日	死亡
154	70	男	平成21年11月20日	無	留置糖尿病、慢性腎不全、狭心症にてステント、陳急性脳梗塞	心肺停止	平成21年11月22日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月22日	死亡
155	70	男	平成21年11月20日	無	糖尿病、食道癌放射線療法後、慢性心不全、甲状腺癌術後甲状腺機能低下	死亡	平成21年11月23日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月23日	死亡
156	80	女	平成21年11月20日	無	慢性腎不全(透析中)、脳出血後遺症により全介助状態、心不全にて透析施行困難有り	死亡	平成21年11月24日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月24日	死亡
157	90	男	平成21年11月16日	無	慢性気管支炎、大腸癌の手術歴	死亡	平成21年11月19日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月19日	死亡
158	80	男	平成21年11月20日	無	慢性腎臓病有り、家族・遊び仲間水痘患者あり	死亡(就寝中突然死)	平成21年11月22日 か23日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月22日か 23日	死亡
159	90	女	平成21年11月20日	無	慢性うつ血性心不全、高血圧、慢性骨髄性白血病(経過観察)、季節性インフルエンザワクチン接種	死亡	平成21年11月24日	関連無し	重篤(死亡)	不明	死亡
160	80	男	平成21年11月19日	無	じん肺、慢性呼吸不全	死亡	平成21年11月24日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月25日	死亡
161	70	男	平成21年11月25日	無	脳梗塞、気管支喘息	発熱	平成21年11月26日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月28日	死亡
162	80	男	平成21年11月26日	無	多発性脳梗塞、肺炎、尿路感染症、認知症、季節性インフルエンザワクチン接種	急性心不全	平成21年11月27日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月27日	死亡
163	70	男	平成21年11月27日	無	特発性拡張型心筋症、好酸球性肺炎既往、脳梗塞、血液透析中	心室頻拍	平成21年11月27日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月27日	死亡
164	90	男	平成21年11月26日	無	心不全、低血圧、認知症、虚血性心疾患	死亡	平成21年11月27日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月27日	死亡
165	60	男	平成21年11月17日	無	胃癌全摘、食欲不振、低蛋白症	肺炎	平成21年11月22日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月27日	死亡
166	60	男	平成21年11月25日	無	肺がん	死亡	平成21年11月27日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月27日	死亡

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
167	80	男	平成21年11月26日	不明	肺炎、リンパ腫(キャスルマン病疑い)	死亡	平成21年11月27日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月27日	死亡
168	80	女	平成21年11月25日	無	脳梗塞、肺炎、胃瘻	死亡	平成21年11月27日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月27日	死亡
169	60	男	平成21年11月24日	無	糖尿病、慢性心不全、陈旧性心筋梗塞	突然死	平成21年11月27日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月27日	死亡
170	70	男	平成21年11月27日	無	慢性心疾患、多発性脳梗塞、前立腺癌、高血圧、当日の状況には著変はみとめず	急性心臓疾患	平成21年11月28日	関連無し	重篤(死亡)	不明	死亡
171	80	男	平成21年11月17日	無	肺気腫、気管支喘息	出血性大腸炎	平成21年11月20日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月27日	死亡
172	30	男	平成21年11月26日	無	心筋梗塞(冠動脈狭窄(3肢病変))	ショック状態	平成21年11月30日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月30日	死亡
173	60	女	平成21年11月12日	無	成人スティル病(免疫抑制剤使用)	不整脈死	平成21年11月29日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月29日	死亡
174	70	男	平成21年11月26日	無	糖尿病性腎症:透析通院加療中 軽度感冒症状有り	死亡	平成21年11月30日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月30日	死亡
175	90	男	平成21年11月27日	無	心不全、COPD、Ⅲ度房室ブロック、誤嚥性肺炎	死亡	平成21年11月29日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月29日	死亡
176	70	男	平成21年11月20日	無	難治性気胸(両側)、慢性呼吸不全、季節性インフルエンザワクチン接種	慢性呼吸不全急性増悪	平成21年11月29日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年11月30日	死亡
177	50	男	平成21年11月25日	無	2型糖尿病インスリン使用、アルコール性肝硬変、季節性インフルエンザワクチン接種	変死	平成21年12月1日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年12月1日	死亡
178	70	男	平成21年11月19日	不明	間質性肺炎、糖尿病、高血圧	発熱	平成21年11月26日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月29日	死亡
179	70	男	平成21年11月16日	無	脳梗塞、腎障害	全身性発疹	平成21年11月21日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月27日	死亡
180	80	男	平成21年11月20日	無	慢性腎不全、季節性インフルエンザワクチン接種	39℃以上の発熱	平成21年11月27日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月28日	死亡
181	60	女	平成21年11月27日	無	B型肝炎、肝硬変、肝不全	吐血	平成21年11月30日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年12月2日	死亡
182	60	男	平成21年11月17日	無	急性骨髄性白血病	感染症死	平成21年12月2日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年12月2日	死亡
183	80	男	平成21年11月20日	無	慢性間質性肺炎 不安定狭心症:ステント留置有り、季節性インフルエンザワクチン接種	注1(1)死亡した者に該当	平成21年11月20日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年12月3日	死亡
184	60	女	平成21年11月20日	無	卵巣癌	全身のけいれん	平成21年12月1日	関連無し	重篤(死亡)	不明	死亡
185	90	女	平成21年12月3日	無	脳出血、糖尿病	死亡	平成21年12月4日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年12月4日	死亡
186	70	男	平成21年11月18日	無	慢性腎不全、脳梗塞後左半身不全麻痺、季節性インフルエンザワクチン接種	発熱38.1℃	平成21年11月19日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年12月2日	死亡
187	10	男	平成21年11月27日	無	自己免疫疾患(腸炎、溶血性貧血):プレドニン5mg/日継続内服中 気管支喘息(軽症間欠型):インターバル吸入のみ 季節性インフルエンザワクチン接種	突然死	平成21年12月1日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年12月1日	死亡
188	70	男	平成21年12月3日	無	肺がん、狭心症	呼吸不全	平成21年12月4日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年12月7日	死亡
189	70	女	平成21年11月26日	無	関節リウマチ、慢性呼吸不全	慢性呼吸不全急性増悪	平成21年11月29日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月30日	死亡
190	60	男	平成21年11月20日	無	肝細胞癌 TS-1内服中	呼吸不全	平成21年11月27日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年11月27日	死亡
191	90	女	平成21年12月4日	無	基礎疾患:慢性腎不全(詳細不明09.7.29 BUN37、慢性心不全)	急性腎不全	平成21年12月7日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年12月8日	死亡
192	70	女	平成21年12月3日	無	肝癌(病氣Ivb)、肝硬変(HCV,Child B)、最近のワクチン接種なし	急性多臓器不全	平成21年12月6日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年12月6日	死亡
193	70	男	平成21年11月16日	無	基礎疾患:糖尿病(3大合併症有り)、透析、肺結核既往、肺気腫、大腸癌術後	基礎疾患増悪	平成21年11月17日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年12月6日	死亡
194	10歳未満	男	平成21年11月25日	無	日脳ワクチン接種(2回目)、1才5ヶ月~3才まで熱性けいれん4、5回、EEGにて軽度異常認めている。特に投薬加療行わず経過観察中であった。	不明	不明	関連無し	重篤(死亡)	平成21年12月1日	死亡

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
195	70	男	平成21年11月20日	不明	慢性閉塞性肺疾患	意識障害、呼吸不全	平成21年11月20日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年12月6日	死亡
196	80	男	平成21年12月3日	無	基礎疾患:慢性肺気腫、季節性インフルエンザワクチン接種	低酸素血症	平成21年12月7日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年12月7日	死亡
197	80	男	平成21年11月26日	無	11月12日:新型インフルエンザワクチン接種1回目 間質性肺炎(PSL12mg)内服中	間質性肺炎の急性増悪	平成21年11月28日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年12月8日	死亡
198	90	女	平成21年12月4日	無	慢性心不全、大動脈弁狭窄症、慢性腎臓病、季節性インフルエンザワクチン接種	心肺停止	平成21年12月8日	評価不能	重篤(死亡)	平成21年12月8日	死亡
199	70	男	平成21年12月9日	無	心筋梗塞、糖尿病、心房細動		平成21年12月10日	関連無し	重篤(死亡)	平成21年12月10日	死亡
200	40	女	平成21年10月19日	無	狭心症、気管支喘息	アナフィラキシーショック	平成21年10月19日	関係有り	非重篤	平成21年10月19日	回復
201	40	女	平成21年10月19日	無	無	動悸、気分不良、血圧上昇	平成21年10月19日	関係有り	非重篤	平成21年10月19日	回復
202	30	女	平成21年10月19日	無	無	発熱37.6℃	平成21年10月19日	評価不能	非重篤	平成21年10月20日	不明
203	30	女	平成21年10月21日	無	無	じんましん	平成21年10月21日	関係有り	非重篤	平成21年10月21日	回復
204	40	女	平成21年10月20日	無	無	インフルエンザ様症状	平成21年10月20日	関係有り	非重篤	平成21年10月21日	軽快
205	30	男	平成21年10月21日	無	抗生物質、NSAIDアレルギー	皮膚紅斑、掻痒感	平成21年10月21日	関係有り	非重篤	平成21年10月20日	回復
206	30	女	平成21年10月20日	無	ビリン系アレルギー	呼吸困難、SpO2低下	平成21年10月20日	関係有り	非重篤	平成21年10月20日	回復
207	20	女	平成21年10月20日	無	無	じんましん	平成21年10月20日	関係有り	非重篤	平成21年10月20日	回復
208	30	女	平成21年10月20日	無	季節性インフルエンザワクチン接種 10/10	意識消失、吐気	平成21年10月20日	関連無し	非重篤	平成21年10月23日	軽快
209	50	女	平成21年10月20日	無	無	アナフィラキシー	平成21年10月20日	関係有り	非重篤	平成21年10月20日	回復
210	40	女	平成21年10月21日	無	アレルギー	じんましん	平成21年10月21日	関係有り	非重篤	平成21年10月21日	回復
211	60	男	平成21年10月19日	無	鼻炎、蕁麻疹	じんましん	平成21年10月20日	関係有り	非重篤	平成21年10月20日	回復
212	50	女	平成21年10月20日	無	無	右手手関節疼痛腫脹	平成21年10月20日	関係有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
213	30	女	平成21年10月21日	無	季節性インフルエンザワクチン接種 10/9	アナフィラキシーショック	平成21年10月21日	関係有り	非重篤	平成21年10月21日	軽快
214	30	女	平成21年10月22日	無	無	じんましん	平成21年10月22日	関係有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
215	30	女	平成21年10月22日	無	果物アレルギー、花粉症	じんましん	平成21年10月22日	関係有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
216	40	女	平成21年10月20日	無	季節性ワクチンで局所腫脹	全身の発疹	平成21年10月20日	評価不能	非重篤	平成21年10月22日	軽快
217	30	女	平成21年10月20日	無	無	発疹	平成21年10月20日	関係有り	非重篤	平成21年10月21日	回復
218	50	女	平成21年10月21日	無	季節性ワクチン蕁麻疹(15年前)	じんましん	平成21年10月22日	関係有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
219	50	女	平成21年10月19日	有	アレルギー(湿疹)	頭痛	平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月22日	回復
220	30	女	平成21年10月19日	無	無	じんましん	平成21年10月19日	関係有り	非重篤	平成21年10月21日	回復
221	40	女	平成21年10月19日	無	季節性ワクチンで腫脹	肘を超える腫脹、発赤	平成21年10月20日	関係有り	非重篤	平成21年10月21日	回復
222	30	女	平成21年10月22日	無	卵白アレルギー	じんましん	平成21年10月22日	関係有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
223	40	女	平成21年10月21日	無	季節性ワクチンにて接種部位発赤 膀胱炎にてクラビット服用中	アナフィラキシー様反応	平成21年10月21日	関係有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
224	30	女	平成21年10月21日	有	鎮痛剤で蕁麻疹	アナフィラキシー	平成21年10月21日	評価不能	非重篤	平成21年10月22日	軽快
225	20	女	平成21年10月19日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年10月20日	関係有り	非重篤	平成21年10月23日	未回復

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
226	40	女	平成21年10月20日	無	無	体熱感	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月21日	回復
227	40	男	平成21年10月20日	無	無	ぜんそく様発作	平成21年10月21日	評価不能	非重篤	平成21年10月22日	回復
228	30	女	平成21年10月20日	無	ぜんそく、卵アレルギー、予防接種で麻疹あり	じんましん様発疹、めまい	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月21日	回復
229	40	女	平成21年10月21日	無	無	のどの違和感、顔面体幹発赤	平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月23日	回復
230	20	女	平成21年10月23日	無	花粉症、既往の気管支ぜんそく	全身のかゆみ、胸部発赤	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月23日	未回復
231	50	女	平成21年10月21日	無	無	発疹、かゆみ、悪寒	平成21年10月21日	評価不能	非重篤	平成21年10月23日	未回復
232	20	女	平成21年10月22日	有	無	発熱39℃	平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月23日	回復
233	30	女	平成21年10月22日	無	甲状腺機能亢進症 投薬は受けていない	発熱39℃以上	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月26日	回復
234	30	女	平成21年10月21日	無	無	頸部リンパ節腫大、嚔下痛	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	軽快
235	40	女	平成21年10月22日	無	無	薬疹	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
236	20	女	平成21年10月21日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	嘔吐症	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	軽快
237	20	男	平成21年10月20日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	頭痛、発熱	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	未回復
238	30	女	平成21年10月20日	無	甲状腺乳頭癌	嘔吐、発熱	平成21年10月20日	評価不能	非重篤	平成21年10月22日	回復
239	50	男	平成21年10月21日	無	無	じんましん	平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月22日	軽快
240	40	男	平成21年10月19日	無	無	鼻汁、頭痛、関節痛、呼吸困難	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	軽快
241	30	女	平成21年10月23日	無	無	めまい	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	軽快
242	20	女	平成21年10月23日	無	無	頭痛	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
243	20	女	平成21年10月23日	無	アーモンドアレルギー	全身倦怠感、咽頭違和感	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
244	40	男	平成21年10月20日	有	無	緊張型頭痛	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	軽快
245	40	女	平成21年10月20日	無	無	緊張型頭痛	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	軽快
246	30	女	平成21年10月23日	無	無	吐気、倦怠感、冷や汗	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	軽快
247	20	女	平成21年10月23日	無	無	腫脹、発赤、しびれ、疼痛	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	不明	不明
248	20	男	平成21年10月23日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月24日	不明
249	30	女	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	軽快
250	50	女	平成21年10月24日	無	無	じんましん	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	軽快
251	40	女	平成21年10月23日	無	無	じんましん	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	軽快
252	40	女	平成21年10月21日	有	無	著大な頭痛	平成21年10月21日	評価不能	非重篤	平成21年10月23日	回復
253	50	女	平成21年10月21日	無	無	じんましん	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
254	40	女	平成21年10月23日	無	無	アナフィラキシー？	平成21年10月23日	不明	非重篤	平成21年10月28日	回復
255	40	女	平成21年10月21日	無	無	吐気	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月26日	回復
256	30	男	平成21年10月21日	無	HAワクチン投与	発熱、頭痛、嘔吐	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	軽快
257	20	男	平成21年10月19日	無	無	発熱、頭痛、嘔吐、下痢	平成21年10月19日	評価不能	非重篤	平成21年10月22日	回復

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重症度	転帰日	転帰内容
258	50	男	平成21年10月21日	無	無	じんましん	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
259	20	女	平成21年10月23日	無	無	吐気、嘔吐、顔面紅潮、悪寒	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	軽快
260	40	女	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年10月25日	評価不能	非重篤	平成21年10月25日	回復
261	40	女	平成21年10月23日	無	無	局所の異常	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	軽快
262	30	男	平成21年10月20日	無	無	下痢、嘔吐、倦怠感、悪寒、微熱	平成21年10月26日	評価不能	非重篤	平成21年10月26日	未回復
263	20	女	平成21年10月24日	無	無	じんましん	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
264	30	女	平成21年10月21日	無	無	血尿、微熱、倦怠感	平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月24日	回復
265	50	女	平成21年10月21日	無	無	嘔吐、下痢	平成21年10月21日	評価不能	非重篤	平成21年10月21日	回復
266	40	女	平成21年10月21日	無	無	発熱	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	軽快
267	50	女	平成21年10月20日	無	無	湿疹、吐気、腹痛、下痢	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月21日	軽快
268	50	女	平成21年10月20日	無	無	寒気、くしゃみ、咽頭痛、軽度の頭痛	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月21日	軽快
269	30	女	平成21年10月20日	無	無	発熱、頭痛、嘔気	平成21年10月20日	評価不能	非重篤	平成21年10月21日	軽快
270	50	女	平成21年10月26日	無	喘息	気分不良	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
271	30	男	平成21年10月21日	有	無	肘を超える局所の異常腫脹	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
272	40	男	平成21年10月24日	無	アレルギー	じんましん	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月25日	軽快
273	40	女	平成21年10月22日	無	無	体熱感、動機、めまい	平成21年10月25日	関連有り	非重篤	平成21年10月25日	回復
274	30	女	平成21年10月21日	無	無	頭痛、耳鳴り	平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月26日	軽快
275	40	女	平成21年10月20日	無	無	頭痛、冷や汗、吐気、四肢しびれ感	平成21年10月20日	評価不能	非重篤	平成21年10月20日	回復
276	40	女	平成21年10月22日	無	じんましん	じんましん、下痢	平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月25日	回復
277	50	女	平成21年10月20日	無	無	発熱39.1℃	平成21年10月26日	評価不能	非重篤	不明	不明
278	30	女	平成21年10月24日	無	抗生剤、造影剤でアレルギー歴あり	嘔吐、動悸	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
279	20	女	平成21年10月22日	無	無	吐気、嘔吐、熱感	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月25日	回復
280	40	女	平成21年10月20日	無	無	高熱	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	未回復
281	20	女	平成21年10月23日	無	タミフルアレルギー、山芋アナフィラキシー	掻痒感、吐気、めまい、血圧低下	平成21年10月23日	不明	非重篤	平成21年10月24日	回復
282	30	女	平成21年10月21日	無	無	神経障害	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	軽快
283	40	女	平成21年10月20日	無	無	湿疹	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月20日	未回復
284	30	女	平成21年10月26日	無	無	発赤	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
285	50	男	平成21年10月21日	無	無	右下肢筋肉痛	平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月22日	軽快
286	40	男	平成21年10月21日	無	無	顔の火照り、全身倦怠	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
287	40	女	平成21年10月23日	無	無	右上腕の発赤	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月24日	回復
288	20	女	平成21年10月24日	無	無	高熱、扁桃腺海	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月24日	回復
289	20	女	平成21年10月23日	無	既往にじんましんあり	じんましん	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	軽快

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
290	20	女	平成21年10月20日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん以外の発疹	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
291	40	女	平成21年10月23日	無	無	吐気	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	軽快
292	20	女	平成21年10月23日	無	無	1:顔面じんましん、2:顔面アレルギー性浮腫	1:平成21年10月24日 2:平成21年10月26日	関連有り	非重篤	不明	不明
293	30	女	平成21年10月23日	無	無	血管迷走神経反射、復視	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	軽快
294	40	女	平成21年10月26日	無	無	じんましん	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
295	40	男	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種 10/17	ショック	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
296	40	女	平成21年10月20日	無	今まで内服薬で嘔吐経験あり・眼瞼浮腫 5年前インフルエンザワクチン接種で39度の発熱ほか。全身症状みられ三日間で回復	発熱、記憶低下、嘔吐	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
297	50	女	平成21年10月23日	無	無	ふらふら、吐き気、頭ぼーとする	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月23日	回復
298	40	女	平成21年10月23日	無	無	軽度の悪寒、頭重感、軽度倦怠感	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月24日	回復
299	40	女	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザワクチン接種 10/6	軽い吐き気、ぼーとする、軽い立ちくらみ	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月23日	回復
300	50	女	平成21年10月23日	無	有り	嘔気、頭重感、手足発疹	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
301	50	女	平成21年10月22日	無	無	じんましん以外・前進発疹	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	未回復
302	50	女	平成21年10月23日	無	無	その他の神経障害	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
303	40	女	平成21年10月19日	無	無	体の浮動感、貧血が起きた感じ	平成21年10月19日	評価不能	非重篤	平成21年10月19日	回復
304	40	女	平成21年10月19日	無	無	体の浮動感、不整脈が起きた感じ	平成21年10月19日	評価不能	非重篤	平成21年10月19日	回復
305	20	女	平成21年10月27日	無	ロキタンスキー症候群	頭痛、嘔吐、顔のこわばり、顎の痛み	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年10月27日	回復
306	30	女	平成21年10月19日	無	気管支ぜんそく	非特異的アレルギー反応	平成21年10月19日	関連有り	非重篤	平成21年10月20日	回復
307	40	女	平成21年10月26日	無	革蓋腫瘍症、金属アレルギー、セフェム系抗生剤アレルギー	発熱、悪寒、じんましん	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	未回復
308	30	女	平成21年10月26日	無	無	じんましん	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
309	30	女	平成21年10月23日	無	無	アナフィラキシー	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	軽快
310	40	女	平成21年10月26日	無	無	じんましん以外の発疹	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年10月27日	回復
311	60	男	平成21年10月19日	無	貝アレルギー	めまい、下肢脱力、健忘	平成21年10月19日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	軽快
312	50	女	平成21年10月19日	無	ペニシリンアレルギー、慢性肝炎	下肢脱力、めまい、頭重感、健忘	平成21年10月19日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	回復 軽快
313	40	女	平成21年10月19日	無	花粉症(スギ)	下肢脱力、めまい、ふらつき、思考力低下	平成21年10月19日	関連有り	非重篤	平成21年10月21日	回復 軽快
314	20	男	平成21年10月21日	無	無	熱39度	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	軽快
315	20	女	平成21年10月22日	無	有り	耳鳴り、頸部リンパ筋腫脹	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	後遺症 (症状持続)
316	20	女	平成21年10月19日	無	無	全身倦怠感、頭痛	平成21年10月19日	関連有り	非重篤	平成21年10月20日	軽快
317	30	男	平成21年10月21日	有	無	頭痛、筋肉痛、倦怠感	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	軽快
318	40	女	平成21年10月23日	無	無	喉頭痛、頭痛、めまい、嘔気、咳、倦怠感	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月27日	軽快
319	40	女	平成21年10月22日	無	無	じんましん	平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月23日	回復

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重症度	転帰日	転帰内容
320	30	女	平成21年10月27日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年10月27日	関連無し	非重篤	平成21年10月27日	軽快
321	60	男	平成21年10月26日	無	無	神経障害	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
322	20	女	平成21年10月22日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	消化器症状	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	軽快
323	30	女	平成21年10月22日	無	無	消化器症状	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
324	40	女	平成21年10月22日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	顔面紅潮、眼球充血、体熱感	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
325	30	女	平成21年10月22日	無	子宮体がん術後、異所性内膜症治療中	肝機能異常	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
326	20	女	平成21年10月22日	無	無	頭痛・消化器症状	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	軽快
327	20	女	平成21年10月22日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	血管迷走神経反射、局所腫脹	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
328	30	女	平成21年10月26日	無	花粉症	頭痛、嘔気、口渇感	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	軽快
329	40	女	平成21年10月23日	無	基礎疾患:SLE、プレドニゾン5mg内服中	じんましん	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
330	30	男	平成21年10月26日	有	無	発疹	平成21年10月26日	評価不能	非重篤	不明	不明
331	30	女	平成21年10月23日	無	無	嘔気	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
332	50	女	平成21年10月24日	無	無	全身の筋肉痛	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
333	40	女	平成21年10月27日	無	アレルギー性鼻炎	全身痛痒、体動による息切れ	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	不明	未回復
334	50	女	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	アナフィラキシー	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
335	30	女	平成21年10月26日	無	無	じんましん以外の全身の発疹	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	不明	軽快
336	20	女	平成21年10月21日	無	季節性インフルエンザワクチン接種により、39度の発熱あり(3年前)	じんましん	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	軽快
337	50	女	平成21年10月26日	無	花粉症(スギ)	水疱	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	未回復
338	20	女	平成21年10月27日	無	無	皮疹	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	不明	不明
339	30	女	平成21年10月21日	無	季節性インフルエンザで発熱あり	肘を超える局所の異常反応	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	未回復
340	30	女	平成21年10月22日	無	無	じんましん以外の発疹、浮腫	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月28日	回復
341	40	男	平成21年10月26日	無	高脂血症	発熱、インフルエンザ様症状	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年10月28日	未回復
342	30	女	平成21年10月22日	無	アレルギー性鼻炎	頭痛、発汗、顔面蒼白	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月24日	軽快
343	20	女	平成21年10月26日	無	無	発熱、嘔吐、発疹	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
344	40	女	平成21年10月23日	無	アレルギー:キシロカイン、発熱・下痢にて内服服用中	アナフィラキシー	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
345	50	女	平成21年10月28日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	局所腫脹、血管迷走神経反射	平成21年10月28日	関連無し	非重篤	平成21年10月28日	未回復
346	20	女	平成21年10月26日	有	有り	発熱、鼻汁、咳	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	不明	不明
347	40	男	平成21年10月26日	無	無	全身倦怠感・頭痛・体熱感	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
348	50	女	平成21年10月23日	無	無	嘔気、頭痛、穿刺部発赤	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月25日	回復
349	40	女	平成21年10月23日	無	無	嘔気	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
350	40	女	平成21年10月27日	無	アトピー性皮膚炎、季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん、発熱	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
351	30	女	平成21年10月27日	無	慢性じんましん、毎年の接種で膨張と微熱を生じることが多い	倦怠感、熱感、顔面紅潮	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	軽快

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
352	20	女	平成21年10月26日	無	無	発熱39度	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
353	20	女	平成21年10月26日	無	エビ、カニ、魚介系アレルギー有り、季節性インフルエンザワクチン	嘔気	平成21年10月26日	不明	非重篤	平成21年10月27日	回復
354	30	女	平成21年10月21日	有	無	発熱39度	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
355	20	女	平成21年10月22日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	軽快
356	20	女	平成21年10月24日	無	無	じんましん	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	不明	軽快
357	50	女	平成21年10月25日	無	無	下痢	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
358	40	女	平成21年10月26日	無	無	薬疹	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	不明	不明
359	40	女	平成21年10月23日	無	ときどき咳嗽あり	発熱、倦怠感	平成21年10月25日	評価不能	非重篤	平成21年10月28日	軽快
360	40	女	平成21年10月28日	無	今年春に顔面皮膚アレルギー症状有り、原因不明Ige陰性	全身の浮腫、のどの詰まった感じ	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	軽快
361	50	女	平成21年10月26日	無	無	じんましん様	平成21年10月26日	評価不能	非重篤	平成21年10月27日	回復
362	30	女	平成21年10月22日	無	無	呼吸苦	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
363	50	女	平成21年10月22日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
364	40	女	平成21年10月26日	無	無だが9月27日まで、甲状腺炎で内服治療	じんましん	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	軽快
365	50	女	平成21年10月26日	無	無	発熱、左半身の疼痛	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
366	50	女	平成21年10月26日	無	無	下肢筋痛、浮動感	平成21年10月26日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	回復
367	30	女	平成21年10月26日	無	無	下肢筋肉痛	平成21年10月26日	評価不能	非重篤	平成21年10月28日	回復
368	30	女	平成21年10月24日	無	無	嘔吐、下痢、頭痛	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	軽快
369	60	男	平成21年10月27日	無	無	じんましん(薬疹)	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	軽快
370	40	女	平成21年10月20日	無	無	局所発赤、腫れ	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
371	30	女	平成21年10月20日	無	アレルギー	局所発赤、腫れ	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
372	30	女	平成21年10月27日	無	無	頭痛(激痛)	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
373	20	女	平成21年10月28日	無	無	じんましん以外の全身の発疹	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	軽快
374	30	女	平成21年10月21日	無	無	接種日夜に咳止まらず。激しい頭痛	平成21年10月21日	不明	非重篤	平成21年10月22日	回復 軽快
375	30	女	平成21年10月21日	無	無	直後に目が回るような感覚	平成21年10月21日	不明	非重篤	平成21年10月21日	軽快
376	30	女	平成21年10月21日	無	無	発疹、かゆみ	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月25日	回復
377	30	女	平成21年10月21日	無	無	頭がぼんやり、やや呼吸苦	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
378	40	女	平成21年10月27日	無	無	腫れ、発疹、かゆみ	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
379	40	女	平成21年10月28日	有	無	じんましん、動悸	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
380	40	不明	平成21年10月26日	無	さば、いわしアレルギー	腫脹、硬結、熱感、リンパ節腫脹、水疱	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
381	60	男	平成21年10月21日	無	無	筋肉痛としびれ	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	未回復
382	30	女	平成21年10月28日	無	無	アナフィラキシー	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	回復
383	30	女	平成21年10月23日	不明	インソジン、造影剤、抗生剤にて 7日前に季節性インフルエンザにて発疹出現有り/抗生使用 HT.SLE	じんましん	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月25日	回復

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
384	40	女	平成21年10月28日	無	気管支喘息、薬物アレルギー(シプロキサ):じんましん、喉頭浮腫の既往あり	アナフィラキシー	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
385	40	女	平成21年10月29日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	アナフィラキシー	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	軽快
386	20	女	平成21年10月28日	無	無	発熱	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	回復
387	40	女	平成21年10月29日	無	甲状腺機能低下	舌しびれ	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
388	20	男	平成21年10月22日	無	無	頭痛、倦怠感	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	軽快
389	30	女	平成21年10月29日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	血管迷走反射	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
390	30	女	平成21年10月27日	無	無	発熱、関節痛、眼瞼・口唇腫脹	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年11月1日	回復
391	20	女	平成21年10月27日	無	アレルギー性鼻炎	アレルギー	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	軽快
392	30	女	平成21年10月29日	無	無	嘔気、嘔吐、熱感、しびれ感、感覚鈍麻、表情筋けいれん	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	軽快
393	40	女	平成21年10月23日	無	無	ふるえ、脱力	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	軽快
394	50	女	平成21年10月22日	無	無	咽頭痛・息苦しさ・嘔声	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月30日	軽快
395	60	女	平成21年10月26日	無	ポスタールで湿疹、ロキソニンで全身浮腫	下腿・前腕筋痛(両側)	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	回復
396	30	女	平成21年10月26日	無	咳喘息	発熱	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
397	30	女	平成21年10月21日	無	無	微熱、倦怠感、頭痛、関節痛	平成21年10月22日	不明	非重篤	平成21年10月25日	回復
398	20	女	平成21年10月26日	無	無	発熱、筋肉痛	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	未回復
399	20	男	平成21年10月28日	無	無	発熱、筋肉痛、倦怠感	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	未回復
400	60	女	平成21年10月30日	無	無	血管迷走反射	平成21年10月30日	評価不能	非重篤	平成21年10月30日	回復
401	30	女	平成21年10月26日	無	無	発熱	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	不明
402	40	女	平成21年10月22日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	血管迷走反射、胃痛、嘔気、間接痛、下痢、腹痛	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	軽快
403	20	女	平成21年10月30日	無	無	薬物アレルギー	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
404	40	女	平成21年10月24日	無	数年前インフルエンザワクチンで頭がぼーっとした	血管迷走反射	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
405	30	女	平成21年10月27日	無	無	嘔吐	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
406	40	女	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	掻痒感	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	不明	軽快
407	30	女	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	アナフィラキシー、皮膚アレルギー	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	不明	軽快
408	30	女	平成21年10月27日	無	無	発赤	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
409	50	女	平成21年10月26日	無	無	発赤、腫脹	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
410	30	女	平成21年10月28日	無	無	発赤	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	不明	回復
411	80	男	平成21年10月23日	無	無	眩暈、吐気、全身倦怠感	平成21年10月25日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
412	20	男	平成21年10月27日	無	無	腫脹、発熱	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	不明	不明
413	30	女	平成21年10月23日	無	無	じんましん	平成21年10月23日	不明	非重篤	平成21年10月30日	回復
414	40	女	平成21年10月29日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	軽快

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
415	20	女	平成21年10月22日	無	無	アナフィラキシー	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
416	40	女	平成21年10月21日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	アレルギー反応	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
417	20	女	平成21年10月23日	無	無	じんましん	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	軽快
418	40	男	平成21年10月19日	不明	小児喘息	局所の異常腫脹	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
419	30	女	平成21年10月28日	無	強皮症・局所性	眩暈、倦怠感、関節痛、頭痛	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
420	20	女	平成21年10月29日	無	無	じんましん	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	軽快
421	20	女	平成21年10月22日	無	無	かゆみ	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
422	30	女	平成21年10月21日	無	無	乾性咳	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月27日	回復
423	20	女	平成21年10月21日	無	無	気分不良、めまい	平成21年10月22日	不明	非重篤	平成21年10月25日	回復
424	20	女	平成21年10月26日	無	無	発熱	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
425	20	女	平成21年10月19日	無	無	全身発疹	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	軽快
426	40	女	平成21年10月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	動悸	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
427	20	女	平成21年10月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	倦怠感、ふらつき、眠気	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
428	30	女	平成21年10月23日	無	無	発疹、発熱、嘔吐	平成21年10月29日	不明	非重篤	平成21年10月29日	軽快
429	20	男	平成21年10月28日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
430	60	女	平成21年10月23日	無	原病 糖尿病	腹痛、頭痛、悪心、下痢	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	軽快
431	40	女	平成21年10月26日	無	アトピー性皮膚炎、喘息	吐気、発熱、発疹	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
432	20	女	平成21年10月28日	無	無	血管迷走反射	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
433	30	女	平成21年10月28日	無	無	血管迷走反射	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
434	30	女	平成21年10月30日	無	アレルギー体質、エビカニアレルギー	じんましん	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
435	80	男	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
436	30	女	平成21年10月22日	無	無	発赤、かゆみ	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
437	20	女	平成21年10月23日	無	無	吐気	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
438	40	男	平成21年10月21日	無	無	発赤	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
439	20	女	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	紫斑様皮疹	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年10月31日	回復
440	60	男	平成21年10月28日	無	無	じんましん	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	軽快
441	30	女	平成21年10月28日	無	喘息	嘔気、疼痛	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	未回復
442	30	女	平成21年10月30日	無	卵アレルギー	発熱	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
443	30	女	平成21年10月30日	無	鼻汁	脱力感、悪寒	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	軽快
444	40	女	平成21年10月24日	有	季節性インフルエンザワクチン接種(北研FC028A)	動悸、吐気	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月25日	回復
445	40	女	平成21年10月21日	無	アレルギー性鼻炎	倦怠感	平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月22日	回復
446	40	女	平成21年10月21日	無	高血圧症	嘔気、嘔吐	平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月22日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重症度	転帰日	転帰内容
447	30	女	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	血管迷走反射	平成21年10月26日	評価不能	非重篤	平成21年10月26日	回復
448	30	女	平成21年10月26日	無	アレルギー性鼻炎、薬疹	激しい悪寒、戦慄、激しい頭痛、激しい嘔吐	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	軽快
449	50	女	平成21年10月19日	無	季節性インフルエンザワクチン接種(北研FB014B 10/27接種)	アナフィラキシー様症状	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年11月2日	回復
450	30	女	平成21年10月30日	無	無	発熱	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
451	40	女	平成21年10月29日	無	喘息既往	頭痛、腹痛、下痢	平成21年10月29日	不明	非重篤	平成21年10月31日	回復
452	40	女	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	頭痛、めまい、嘔吐	平成21年10月27日	不明	非重篤	平成21年10月30日	軽快
453	50	女	平成21年10月23日	無	薬、食品でじんましん、体調不良	めまい、ふらつき	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
454	40	男	平成21年10月26日	無	無	めまい、ふらつき、悪心	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
455	40	女	平成21年10月26日	無	無	めまい、ふらつき	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
456	50	女	平成21年10月28日	無	クラリシッド等抗菌剤等の薬剤アレルギーあり	アナフィラキシー様症状	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	軽快
457	40	女	平成21年10月28日	無	無	吐気、頭痛	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
458	20	女	平成21年10月28日	無	喘息	気分不快、吐気、呼吸苦、頻脈、熱感、疼痛、腫れ	平成21年10月29日	不明	非重篤	平成21年10月29日	回復
459	50	女	平成21年10月28日	無	無	発赤、腫脹、痛み	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
460	40	女	平成21年10月26日	無	無	疼痛、熱感、腫脹、筋肉痛、倦怠感	平成21年10月27日	不明	非重篤	平成21年10月28日	回復
461	20	女	平成21年10月28日	無	無	じんましん	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
462	40	女	平成21年10月19日	無	無	肝機能異常	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	未回復
463	20	女	平成21年10月29日	無	無	発熱	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	軽快
464	30	女	平成21年10月23日	無	有	頭痛、嘔気	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月25日	回復
465	50	女	平成21年10月30日	無	無	掻痒、発疹	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	軽快
466	20	男	平成21年10月28日	無	無	発熱、嘔気、倦怠感	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	不明	不明
467	50	女	平成21年10月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
468	60	女	平成21年10月29日	無	高血圧症、プリンペランによるじんましん、季節性インフルエンザワクチン接種	下痢、腹痛、嘔気	平成21年10月31日	不明	非重篤	平成21年11月2日	軽快
469	60	女	平成21年10月23日	無	無	全身倦怠感	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
470	40	女	平成21年10月30日	無	無	動悸、胸苦感	平成21年10月30日	評価不能	非重篤	平成21年10月30日	軽快
471	30	女	平成21年10月30日	無	生たまごでじんましん	上半身皮膚紅潮	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
472	60	女	平成21年10月19日	無	無	頭痛	平成21年10月19日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
473	30	女	平成21年10月27日	無	無	発熱、嘔気、嘔吐	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	軽快
474	50	女	平成21年10月23日	無	無	嘔気、咽頭痛	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	軽快
475	40	女	平成21年10月29日	無	花粉症	局所発赤、発熱	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
476	20	女	平成21年10月28日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年11月1日	回復
477	40	女	平成21年10月26日	無	じんましん、喘息	発疹、痒み、微熱	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	軽快
478	30	女	平成21年10月21日	無	薬剤アレルギーあり	全身浮腫、じんましん	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
479	50	女	平成21年10月30日	無	じんましん(アスピリン不耐症)、喘息	じんましん	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
480	30	女	平成21年10月30日	有	季節性インフルエンザワクチン接種(アステラスY51B)、B型肝炎接種歴	じんましん、口腔内しびれ感	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
481	40	女	平成21年10月27日	無	無	じんましん	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
482	20	女	平成21年10月30日	無	無	全身発疹	平成21年10月30日	評価不能	非重篤	平成21年10月30日	軽快
483	40	女	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	脱力感、倦怠感、頭痛	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
484	40	女	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発赤、痛み、しびれ	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
485	50	女	平成21年10月24日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	頭重感、胸苦感	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
486	40	女	平成21年10月24日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	頭重感、体熱感、咽頭痛	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
487	50	男	平成21年10月22日	無	無	じんましん以外の全身発疹	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	未回復
488	40	女	平成21年10月30日	無	異型狭心症、偏頭痛、咳喘息	嘔吐、頭痛、倦怠感	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	未回復
489	50	女	平成21年10月30日	無	無	血圧上昇	平成21年10月30日	不明	非重篤	平成21年10月31日	回復
490	40	女	平成21年10月28日	無	無	熱感	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
491	40	女	平成21年10月28日	無	無	ショック	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
492	50	女	平成21年10月27日	無	アレルギー	全身掻痒感	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
493	40	女	平成21年10月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年11月1日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	軽快
494	60	女	平成21年10月28日	無	無	頭重感、胸部不快、息苦しい	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
495	40	男	平成21年10月27日	無	花粉症軽度	インフルエンザ様症状	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	未回復
496	30	女	平成21年10月29日	無	無	頭痛、発熱、下痢	平成21年10月30日	評価不能	非重篤	平成21年11月1日	軽快
497	20	女	平成21年11月2日	無	無	両下肢神経障害	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	回復
498	30	女	平成21年10月27日	有	季節性インフルエンザワクチンで微熱、下痢反応あり	咽頭違和感、呼吸狭窄	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月3日	軽快
499	30	女	平成21年11月2日	無	無	紫斑(アナフィラキシー)	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	軽快
500	30	男	平成21年10月22日	無	無	頭痛、体が重い	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月28日	軽快
501	30	女	平成21年10月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種(10/19)、クラビットで薬疹	動悸、血圧上昇	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
502	40	女	平成21年10月30日	無	無	動悸、血圧上昇	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
503	30	女	平成21年10月29日	無	季節性インフルエンザワクチンで発熱	発熱、発疹	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
504	30	女	平成21年10月30日	無	無	微熱、味覚障害	平成21年10月31日	評価不能	非重篤	平成21年11月4日	微熱:回復 味覚:未回復
505	50	女	平成21年10月26日	無	薬物アレルギー	じんましん	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	不明	不明
506	40	女	平成21年10月26日	無	多発単神経炎、気管支喘息	アナフィラキシー	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	未回復
507	30	女	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種(10/20)	血管迷走反射	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
508	30	女	平成21年10月23日	無	無	筋肉痛	平成21年10月25日	不明	非重篤	平成21年10月25日	軽快
509	30	女	平成21年10月23日	無	乳幼児期の予防接種で発熱	全身掻痒	平成21年10月23日	不明	非重篤	平成21年10月27日	軽快
510	30	女	平成21年10月28日	無	季節性インフルエンザワクチン接種、抗生物質でショック症状あり	アナフィラキシーショック	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
511	40	女	平成21年10月20日	無	無	発赤、腫脹、熱感	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月21日	回復
512	50	女	平成21年10月31日	無	無	発熱、関節痛	平成21年11月1日	不明	非重篤	平成21年11月2日	回復
513	40	男	平成21年10月29日	無	季節性インフルエンザワクチン接種(10/22)	頭痛、嘔気、全身倦怠感、食欲減退、両眼鈍痛	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	軽快
514	20	女	平成21年10月23日	無	無	局所及び全身のリンパ節腫脹	不明	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	軽快
515	40	女	平成21年10月23日	無	無	局所の異常腫脹、疼痛、腋窩リンパ節腫脹	平成21年10月22日	不明	非重篤	平成21年10月26日	回復
516	40	女	平成21年10月30日	無	くだものアレルギー、感冒薬で薬疹、季節性インフルエンザワクチン接種	アナフィラキシー	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
517	40	男	平成21年10月23日	無	無	全身倦怠感	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
518	40	女	平成21年11月2日	無	慢性じんましん	全身のほてり、胃部不快感、左顔面から後頭部に ビリビリ	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	未回復
519	20	女	平成21年11月2日	無	無	全身発疹	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
520	40	女	平成21年11月2日	無	無	アナフィラキシー	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	軽快
521	50	女	平成21年10月30日	無	無	高血圧、動悸など	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
522	30	女	平成21年10月28日	無	無	気分不快、吐き気、嘔吐	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月28日	回復
523	10	女	平成21年10月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	軽快
524	30	女	平成21年11月4日	無	無	アナフィラキシー	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	軽快
525	30	女	平成21年10月26日	無	無	膨張(硬結)、だるさ(筋肉痛のような感じ)	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	軽快
526	30	女	平成21年10月24日	無	無	倦怠感、頭痛	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月25日	回復
527	60	女	平成21年10月29日	無	無	血圧症状、冷や汗、呼吸苦、倦怠感、頸部発赤	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
528	20	男	平成21年11月3日	無	無	アナフィラキシー	平成21年11月3日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	不明
529	30	女	平成21年10月22日	無	無	発赤、かゆみ	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
530	30	女	平成21年10月21日	無	無	嘔吐	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
531	50	女	平成21年10月21日	無	無	腫れ、かゆみ、倦怠感、頭重感	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
532	20	女	平成21年10月21日	無	無	腫れ、かゆみ	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月25日	回復
533	30	女	平成21年10月31日	無	無	上腕全体の腫脹、発赤、微熱	平成21年10月31日	不明	非重篤	平成21年11月2日	回復
534	40	女	平成21年11月4日	無	季節性インフルエンザワクチンで発熱、季節性イン フルエンザワクチン接種	アナフィラキシー	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	不明	不明
535	20	男	平成21年10月26日	無	無	じんましん	平成21年10月26日	評価不能	非重篤	平成21年10月27日	回復
536	50	男	平成21年10月20日	無	無	顔面紅潮、ほてり	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月20日	回復
537	20	女	平成21年10月28日	無	無	両脚発疹、顔面浮腫	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	回復
538	20	女	平成21年11月2日	無	無	アナフィラキシー様症状	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	回復
539	20	女	平成21年11月2日	無	無	急性耳下腺炎	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	軽快
540	30	女	平成21年10月21日	無	無	じんましん以外の全身の発疹	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
541	30	男	平成21年10月20日	無	無	めまい	平成21年10月20日	評価不能	非重篤	平成21年10月27日	軽快
542	30	女	平成21年10月21日	無	無	悪心、発熱	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	軽快

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
543	30	女	平成21年10月20日	無	無	局部発赤腫	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月21日	回復
544	60	女	平成21年10月29日	無	無	発疹	平成21年10月30日	評価不能	非重篤	不明	不明
545	30	男	平成21年11月4日	無	housedust ほかに花粉に対するアレルギーあり	頭痛、吐き気	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	軽快
546	20	女	平成21年10月23日	有	アトピー性皮膚炎、ペニシリンアレルギー	じんましん	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	回復
547	10	女	平成21年11月2日	無	神経芽腫	嘔吐、頭痛	平成21年11月2日	評価不能	非重篤	平成21年11月5日	回復
548	30	女	平成21年11月4日	無	無	嘔気	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	未回復
549	40	女	平成21年10月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	けいれん、その他の神経症状	平成21年11月3日	評価不能	非重篤	平成21年11月3日	回復
550	30	女	平成21年10月21日	無		発疹	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月24日	軽快
551	40	不明	平成21年10月28日	無	不整脈・季節性インフルエンザワクチン接種	顔面紅潮、嘔気	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月28日	回復
552	40	男	平成21年10月19日	無	無	嘔吐、下痢	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月20日	回復
553	20	男	平成21年10月30日	不明	無	発熱	平成21年11月1日	評価不能	非重篤	平成21年11月2日	回復
554	40	男	平成21年10月29日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	腹満感、下痢	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年10月31日	回復
555	20	女	平成21年10月28日	無	8歳の頃ひきつけ既往あり、ひきつけ時に発熱	カゼ様症状	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	未回復
556	30	女	平成21年10月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	不整脈	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年11月1日	回復
557	50	女	平成21年10月22日	無	アレルギー性鼻炎	アナフィラキシー様症状	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	軽快
558	60	男	平成21年10月22日	無	無	全身倦怠感、悪寒、発熱(37度9分)、頭痛	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
559	20	女	平成21年10月31日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん、薬剤性アレルギー	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月1日	回復
560	30	女	平成21年10月30日	無	無	じんましん	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	軽快
561	40	女	平成21年10月29日	無	アレルギー(花粉症)(ミノマイシン)	局所の発赤腫脹、全身症状	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	軽快
562	30	女	平成21年10月23日	無	無	頭痛、嘔気	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月27日	回復
563	40	女	平成21年11月4日	無	骨のついた鶏肉でじんましん	喉頭違和感、しゃがれ声	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
564	30	女	平成21年10月26日	無	右手腱鞘炎にて内服中、ひきつけ(一オごろ)	嘔吐	平成21年10月26日	不明	非重篤	平成21年10月26日	回復
565	20	女	平成21年10月30日	有	喘息	喘息	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月1日	回復
566	30	女	平成21年11月4日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	全身の痛痒感	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	軽快
567	30	女	平成21年10月27日	無	無	頭痛	平成21年10月30日	評価不能	非重篤	平成21年10月30日	回復
568	50	女	平成21年10月26日	無	無	発熱(関節痛)	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	回復
569	50	女	平成21年11月4日	無	無	関節痛、めまい	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	軽快
570	40	女	平成21年10月27日	無	高脂血症、慢性副鼻腔炎	局所の紅斑	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
571	30	女	平成21年10月22日	無	無	発熱、じんましん	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
572	50	男	平成21年11月4日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
573	40	女	平成21年11月2日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	喘息様発作	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
574	30	女	平成21年11月5日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
575	50	女	平成21年10月28日	有	無	上記症状に伴う後遺症	平成21年10月29日	不明	非重篤	平成21年11月5日	回復
576	50	女	平成21年10月22日	無	高血圧・高脂血症 10月3日に季節性インフルエンザワクチン接種でじんましん(-)	じんましん	平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月23日	回復
577	20	女	平成21年10月29日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	アナフィラキシー	平成21年10月30日	不明	非重篤	平成21年11月11日	軽快
578	30	女	平成21年10月29日	無	無	皮膚の発赤	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
579	20	女	平成21年10月29日	無	無	関節痛、筋肉痛	平成21年10月29日	不明	非重篤	平成21年11月5日	回復
580	40	女	平成21年10月28日	無	気管支喘息、慢性気管支炎、僧帽弁閉鎖不全、季節性インフルエンザワクチン接種	発熱、じんましん	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
581	30	女	平成21年10月30日	不明		じんましん	平成21年10月27日	不明	非重篤	不明	不明
582	20	女	平成21年11月2日	無	多のう胎性卵巣症候群有り、インフルエンザHAワクチン接種	めまい	平成21年11月2日	評価不能	非重篤	平成21年11月2日	回復
583	30	女	平成21年10月28日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱、頭痛、インフルエンザ様症状	平成21年10月28日	不明	非重篤	平成21年10月30日	軽快
584	50	女	平成21年11月5日	無	無	下痢	平成21年11月5日	評価不能	非重篤	平成21年11月5日	回復
585	30	女	平成21年11月2日	無	無	喘息、接種部発赤	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	未回復
586	40	女	平成21年10月26日	無		腫脹膨張	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	回復
587	50	女	平成21年10月26日	無		膨張	平成21年10月27日	不明	非重篤	平成21年11月4日	回復
588	30	男	平成21年10月27日	無	無	左腕けいれん	平成21年11月1日	評価不能	非重篤	平成21年11月4日	回復
589	20	男	平成21年10月28日	無	無	発熱	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年11月1日	軽快
590	40	女	平成21年11月5日	無	無	じんましん	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
591	30	女	平成21年10月23日	無	無	胃のむかむか、下痢	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
592	20	女	平成21年10月23日	無	無	体がふわふわした	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月23日	回復
593	50	女	平成21年10月23日	無	高コレステロール血症、陈旧性心筋梗塞、本能的な高血圧	嘔吐、嘔気	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
594	30	女	平成21年10月27日	無	シプロキサンの薬疹(3、4年前)	皮膚発赤	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月	回復
595	20	女	平成21年10月30日	無	鶏の肉や卵アレルギー	両上腕全体に発疹	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年11月9日	軽快
596	40	女	平成21年10月26日	無	無	舌・喉頭違和感、下肢筋肉痛	平成21年10月26日	不明	非重篤	平成21年10月27日	回復
597	30	女	平成21年10月26日	無	無	浮腫	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年11月3日	軽快
598	60	女	平成21年10月23日	無	無	じんましん	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年11月1日	軽快
599	50	女	平成21年11月2日	無	無	気管支炎	平成21年11月3日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	回復
600	60	女	平成21年11月2日	無	無	気管支炎	平成21年11月3日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	回復
601	30	女	平成21年10月22日	無		かゆみ	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
602	40	女	平成21年10月29日	無		かゆみ	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
603	30	女	平成21年11月4日	無	既往:気管支喘息;接種6ヶ月異常服薬無し 疾患名:アレルギー性鼻炎;接種実施前1ヶ月より服薬(抗ヒスタミン剤)中	喘息発作	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	軽快
604	60	不明	平成21年11月5日	無	無	血管迷走神経反射	平成21年11月5日	評価不能	非重篤	平成21年11月5日	回復
605	30	女	平成21年11月5日	無	無	嘔気	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月11日	不明

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
606	40	男	平成21年10月26日	無		39度異常の発熱、下痢	平成21年11月1日	評価不能	非重篤	平成21年11月4日	回復
607	40	女	平成21年10月28日	無	ピリン系で発疹歴あり	その他の神経障害	平成21年11月2日	評価不能	非重篤	平成21年11月4日	不明
608	20	女	平成21年11月4日	無	無	接種部位の発赤疼痛	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	軽快
609	40	女	平成21年10月30日	無	無	発熱	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年11月3日	回復
610	30	女	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	嘔吐、嘔気	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月24日	回復
611	30	女	平成21年10月23日	無	無	じんましん	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
612	30	女	平成21年10月28日	無	無	発熱	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
613	50	女	平成21年10月28日	無	無	発疹	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年11月1日	回復
614	40	女	平成21年11月2日	無		じんましん	平成21年11月3日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	軽快
615	20	女	平成21年11月4日	無	無	悪寒、頭痛	平成21年11月4日	不明	非重篤	平成21年11月6日	回復
616	50	女	平成21年10月30日	無	薬や食品で皮膚に発疹(ケブラール)	施注部位の発赤、硬結	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年11月1日	回復
617	30	女	平成21年10月30日	無	無	下痢、腹痛、頭痛	平成21年11月1日	評価不能	非重篤	平成21年11月2日	回復
618	40	女	平成21年10月30日	無	無	頭痛、倦怠感	平成21年10月31日	評価不能	非重篤	平成21年11月1日	回復
619	30	女	平成21年10月27日	無	無	発疹	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	軽快
620	50	女	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年10月28日	軽快
621	30	女	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	37度8~38度代の熱発、頭痛	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年10月30日	回復
622	30	女	平成21年10月27日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	頭痛、全身倦怠感	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	回復
623	20	女	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	鼻風邪症状	平成21年10月26日	評価不能	非重篤	平成21年10月28日	回復
624	40	女	平成21年10月26日	無	不整脈とアレルギー性じんましんあり(主治医より接種の許可済み)、季節性インフルエンザワクチン接種	咳、頭痛	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年10月30日	回復
625	20	女	平成21年10月27日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	回復
626	50	女	平成21年10月27日	無	喘息	頭痛	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年11月2日	軽快
627	30	女	平成21年10月28日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	喉頭痛、鼻閉感、関節痛	平成21年11月1日	評価不能	非重篤	不明	未回復
628	30	女	平成21年10月28日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	喉頭痛、関節痛	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	不明	未回復
629	20	女	平成21年10月28日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	下痢、嘔気、頭痛、発熱	平成21年10月31日	評価不能	非重篤	平成21年11月2日	軽快
630	40	女	平成21年10月29日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	悪寒、発熱、鼻汁	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年10月31日	軽快
631	40	女	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	気分不快、食欲不振	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年10月28日	回復
632	40	女	平成21年10月28日	無	鼻炎にてアレロワクオノン内服中、以前パンスポリン内服により薬疹あり、季節性インフルエンザワクチン接種	悪寒、頭痛、発赤、赤熱、硬結	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	回復
633	30	女	平成21年10月27日	不明		頭痛	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	回復
634	30	女	平成21年10月28日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	頭痛、風邪症状	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年11月4日	軽快
635	30	女	平成21年10月26日	無	副鼻腔炎	39度以上の熱	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年11月5日	回復

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
636	30	女	平成21年10月30日	無	無	じんましん	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	軽快
637	20	男	平成21年10月22日	無	無	39度以上の発熱	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年10月30日	回復
638	40	女	平成21年11月2日	無	無(気分悪くなった、注射部位のしびれかん:翌日には回復)		平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月3日	回復
639	20	女	平成21年11月6日	無	無	嘔気	平成21年11月6日	評価不能	非重篤	平成21年11月7日	回復
640	60	男	平成21年10月22日	無	無	全身倦怠感、頭痛	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
641	30	女	平成21年11月2日	有	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱、悪寒、倦怠感、頭痛、嘔気、下痢	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	軽快
642	20	女	平成21年10月21日	無	無	かゆみ	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
643	40	女	平成21年10月29日	無	アレルギー:ケブラール、リファンピシン(肝障害)	倦怠感、眼周囲の腫れ、かゆみ	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
644	50	男	平成21年10月21日	無	無	発疹、かゆみ	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月21日	回復
645	50	女	平成21年10月29日	無	無	注射部位周囲発赤	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
646	20	男	平成21年11月6日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	全身倦怠感(全身の皮疹、1週間後感冒症状)	平成21年11月6日	評価不能	非重篤	平成21年11月26日	軽快
647	30	女	平成21年11月4日	無	無	嘔気、嘔吐、水溶性下痢	平成21年11月5日	評価不能	非重篤	平成21年11月6日	軽快
648	40	女	平成21年10月22日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん様湿疹	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
649	50	女	平成21年11月4日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	頭痛	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
650	30	女	平成21年11月6日	無	薬、食品で発疹、体調不良記憶	じんましん	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	回復
651	30	女	平成21年11月6日	無	無	胸部圧迫感	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	回復
652	50	女	平成21年10月27日	無	無	筋肉痛	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	軽快
653	30	女	平成21年10月30日	無	無	発熱	平成21年11月1日	関連有り	非重篤	平成21年11月1日	回復
654	30	男	平成21年10月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	掻痒感、上肢発疹	平成21年10月30日	評価不能	非重篤	平成21年10月30日	回復
655	30	男	平成21年10月28日	無	無	じんましん	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
656	50	女	平成21年11月6日	無	局所麻酔薬アレルギー	アナフィラキシー	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	軽快
657	30	女	平成21年10月31日	無	無	発熱	平成21年11月1日	不明	非重篤	平成21年11月1日	回復
658	40	女	平成21年10月31日	無	桃・メロン アレルギー	発熱	平成21年10月31日	不明	非重篤	平成21年11月2日	回復
659	30	女	平成21年11月6日	無	ブタ・牛肉アレルギー、季節性インフルエンザワクチン接種	めまい、嘔吐、皮膚発赤	平成21年11月6日	評価不能	非重篤	平成21年11月9日	回復
660	30	女	平成21年10月31日	無	無	頭痛、嘔気	平成21年10月31日	評価不能	非重篤	平成21年11月3日	回復
661	20	女	平成21年11月5日	無	無	嘔吐、下痢	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	未回復
662	20	女	平成21年11月4日	無	喘息	喘息発作	平成21年11月4日	不明	非重篤	平成21年11月5日	回復
663	40	女	平成21年11月5日	無	無	頭痛	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	回復
664	10	女	平成21年10月27日	無	咽頭痛・発熱あるも予防接種	接触部位が赤くなりはれた	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
665	40	女	平成21年10月31日	無	季節性インフルエンザ	アナフィラキシー	平成21年10月31日	不明	非重篤	平成21年11月6日	軽快
666	40	女	平成21年10月26日	無	アトピー	局所異常 発赤、腫脹、熱感	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
667	40	女	平成21年10月19日	無	軟体甲殻類アレルギー、喘息	じんましん	平成21年10月20日	不明	非重篤	平成21年10月23日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
668	30	女	平成21年10月27日	有	無	じんましん以外の全身の発疹	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年11月4日	未回復
669	20	女	平成21年11月6日	無	10月7日ピームゲン接種、21日季節性インフルエンザワクチン接種	嘔気、ふわふわ感	平成21年11月6日	評価不能	非重篤	不明	不明
670	40	女	平成21年11月5日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	局所の発赤	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月7日	軽快
671	40	女	平成21年10月20日	無	喘息	じんましん	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月25日	回復
672	30	女	平成21年11月7日	無	無	発熱	平成21年11月9日	評価不能	非重篤	平成21年11月10日	未回復
673	40	女	平成21年10月20日	無	無	じんましん	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
674	30	女	平成21年10月28日	無	無	嘔吐、頭重感、関節痛	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月3日	回復
675	60	男	平成21年11月2日	無	糖尿病性腎症、血液透析施行中、陳旧性心筋梗塞	じんましん	平成21年11月5日	不明	非重篤	平成21年11月9日	軽快
676	20	女	平成21年10月30日	無	無	発熱(38.5℃)、嘔吐、咳	平成21年10月31日	不明	非重篤	平成21年11月2日	軽快
677	20	女	平成21年11月5日	無	無	悪心、発熱	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
678	40	女	平成21年10月30日	無	卵の生食	口周囲痛痒感	平成21年10月30日	評価不能	非重篤	平成21年10月31日	回復
679	30	女	平成21年10月27日	無	無	手指のしびれ、胸部締め付け感、耳圧迫感、むかつき	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
680	40	女	平成21年11月5日	無	無	全身脱力感、四肢関節痛	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月9日	回復
681	50	女	平成21年11月7日	無	喘息、花粉症、慢性じんましん	気分不良、口渇、胸内苦悶	平成21年11月7日	関連有り	非重篤	平成21年11月7日	回復
682	50	男	平成21年10月19日	無	無	発熱、嘔吐、局所発赤	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
683	50	女	平成21年11月2日	無	無	発熱37.2℃、倦怠感有り	平成21年11月2日	不明	非重篤	平成21年11月4日	回復
684	20	男	平成21年10月26日	無	無	発熱、発赤	平成21年10月26日	評価不能	非重篤	平成21年11月2日	軽快
685	30	女	平成21年11月4日	無	アボカドによるじんましん 既往:3歳頃に総胆管拡張症で手術	その他の神経障害	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
686	40	女	平成21年10月28日	無	無	軽いめまい、頭痛後に回転性めまいと両下肢脱力感	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	不明	回復
687	50	女	平成21年11月6日	無	無	頭痛、吐気	平成21年11月6日	評価不能	非重篤	平成21年11月7日	回復
688	20	女	平成21年10月23日	無	無	頭痛	平成21年10月25日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
689	60	男	平成21年10月23日	無	無	頭痛	平成21年10月25日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
690	30	女	平成21年10月23日	無	無	頭痛	平成21年10月25日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
691	20	女	平成21年11月6日	無	無	中毒疹(紅斑)	平成21年11月7日	不明	非重篤	平成21年11月13日	軽快
692	20	男	平成21年11月6日	無	無	インフルエンザA陽性	平成21年11月8日	評価不能	非重篤	平成21年11月13日	軽快
693	10	男	平成21年11月5日	無	ダウン症候群、急性骨髄性白血病治療終了11年	発熱	平成21年11月6日	評価不能	非重篤	平成21年11月8日	回復
694	70	男	平成21年10月31日	無	降圧剤による中毒疹、季節性インフルエンザワクチン接種(副作用無し)	じんましん	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	軽快
695	50	女	平成21年11月6日	無	アレルギー性鼻炎、季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年11月8日	不明	非重篤	平成21年11月10日	軽快
696	60	男	平成21年11月5日	無	無	発熱	平成21年11月5日	評価不能	非重篤	平成21年11月9日	軽快
697	80	女	平成21年11月2日	無	糖尿病	微熱	平成21年11月4日	評価不能	非重篤	平成21年11月5日	回復
698	30	男	平成21年11月3日	無	既往:季節性インフルエンザワクチンにて過去発熱の副反応1回	発熱	平成21年11月5日	不明	非重篤	平成21年11月8日	回復
699	20	女	平成21年10月23日	無	糸球体硬化症(腎疾患)、喘息有り、H21.7外食時じんましん	感冒、喘息	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月26日	回復

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
700	60	女	平成21年11月2日	無	無	消化器症状	平成21年11月3日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	回復
701	50	男	平成21年10月22日	無	無	局所症状	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
702	60	女	平成21年10月22日	無	無	感冒症状	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
703	20	男	平成21年11月2日	無	無	消化器症状など	平成21年11月3日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	回復
704	40	女	平成21年10月22日	無	無	発赤、腫脹	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
705	50	女	平成21年11月2日	無	無	感冒症状	平成21年11月3日	関連有り	非重篤	平成21年11月9日	軽快
706	50	女	平成21年11月2日	無	無	感冒症状	平成21年11月3日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
707	40	女	平成21年11月6日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱、関節痛	平成21年11月7日	不明	非重篤	平成21年11月9日	軽快
708	10歳未満	女	平成21年11月9日	無	無	発熱	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	回復
709	30	女	平成21年11月4日	無	季節性インフルエンザワクチン接種、アレルギー性 鼻炎	全身の発疹、悪寒、鼻汁、頬の疼痛、頻脈、呼吸苦	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	回復
710	20	女	平成21年10月27日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	39℃以上の発熱	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年11月1日	回復
711	20	男	平成21年10月27日	無	季節性インフルエンザワクチン接種、気管支喘息	39℃以上の発熱	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年11月10日	回復
712	20	女	平成21年10月22日	無	有	めまい、ふらつき、寒気	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
713	20	女	平成21年10月27日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
714	30	女	平成21年11月8日	無	無	腹痛、下痢、嘔吐、発熱	平成21年11月8日	評価不能	非重篤	平成21年11月10日	軽快
715	30	女	平成21年11月9日	無	無	血管迷走神経反射	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	軽快
716	30	男	平成21年10月20日	無	無	胸部違和感	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	回復
717	20	男	平成21年10月21日	無	喘息	喘息発作誘発	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	回復
718	30	女	平成21年11月9日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発赤、痛痒感	平成21年11月9日	評価不能	非重篤	平成21年11月10日	軽快
719	30	女	平成21年11月4日	無	10年前季節性インフルエンザワクチンでアレルギー 症状	じんましん	平成21年11月4日	評価不能	非重篤	平成21年11月7日	回復
720	30	女	平成21年11月4日	無	海老アレルギー	発疹	平成21年11月4日	評価不能	非重篤	平成21年11月5日	回復
721	20	男	平成21年10月26日	無	無	顔面頭部の腫脹、発赤疹	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
722	40	女	平成21年10月22日	有	アレルギー性鼻炎有り	動悸発作	平成21年10月22日	不明	非重篤	平成21年10月23日	回復
723	50	女	平成21年10月22日	有	喘息、薬剤アレルギー(タリビット)	振戦(ふるえ)	平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月22日	回復
724	40	女	平成21年10月27日	無	無	熱発	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
725	50	女	平成21年11月6日	無	そばアレルギー、腸チフス・パラチフスの予防接種 でむくみ	注射部位の発赤、かゆみ	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	不明	軽快
726	50	男	平成21年11月4日	無	無	発熱、発疹	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	未回復
727	30	男	平成21年11月9日	無	無	アナフィラキシー	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	回復
728	20	女	平成21年11月9日	無	無	その他の通常では見られない異常反応	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	回復
729	60	男	平成21年10月26日	無	無	急性下痢症	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	軽快
730	50	女	平成21年10月28日	無	無	めまい、胸部圧迫感、嘔気、発熱	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
731	50	女	平成21年11月6日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	軽度の心季亢進	平成21年11月6日	評価不能	非重篤	平成21年11月6日	回復
732	30	女	平成21年11月5日	無	ニューキノロン系薬剤(ジェニナック)	アナフィラキシーアレルギー反応	平成21年11月5日	評価不能	非重篤	平成21年11月7日	回復
733	60	男	平成21年10月26日	無	無	血管迷走神経反射	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
734	40	女	平成21年11月5日	無	無	発熱	平成21年11月6日	評価不能	非重篤	平成21年11月9日	回復 軽快
735	30	女	平成21年10月28日	無	無	嘔吐	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	軽快
736	30	女	平成21年10月28日	無	無	嘔吐、発疹、四肢のしびれ	平成21年10月28日	不明	非重篤	平成21年10月31日	軽快
737	20	女	平成21年10月28日	無	下垂体膨張	じんましん	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月31日	軽快
738	50	女	平成21年11月4日	無	無	嘔吐、発熱(最大37.5℃)下痢	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	回復
739	50	女	平成21年10月22日	無	無	発熱	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
740	20	女	平成21年10月29日	無	無	発熱、腰痛	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年11月4日	回復
741	40	女	平成21年11月6日	無	とくに病気がないが、下痢あり	発熱、咽、喉頭腫脹、出血	平成21年11月7日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	回復
742	10歳未満	女	平成21年11月2日	無	無	全身痛痒感	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月9日	軽快
743	50	女	平成21年10月26日	無	無	咽のはれた感じ	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
744	20	女	平成21年10月30日	無	喘息、慢性じんましん、卵アレルギー	じんましん	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	軽快
745	30	女	平成21年10月30日	無	無	嘔気、下痢	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
746	30	女	平成21年10月30日	無	無	下痢、嘔吐	平成21年10月31日	不明	非重篤	平成21年11月3日	回復
747	40	男	平成21年10月30日	無	無	軟便	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
748	20	女	平成21年11月6日	無	無	動悸、手の振戦、微熱	平成21年11月6日	不明	非重篤	平成21年11月9日	回復
749	20	男	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種にて2~3日いつも全身倦怠感と熱感出現	その他の異常反応	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年11月9日	軽快
750	30	女	平成21年10月20日	無	無	全身症状	平成21年10月20日	評価不能	非重篤	平成21年10月22日	回復
751	50	女	平成21年10月30日	無	無	肝機能障害	平成21年11月1日	関連有り	非重篤	平成21年11月9日	回復
752	10歳未満	男	平成21年11月10日	無	無	じんましん	平成21年11月10日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	回復
753	30	女	平成21年10月30日	無	無	じんましん	平成21年10月31日	評価不能	非重篤	平成21年11月11日	軽快
754	30	女	平成21年10月28日	有	無	嘔気、嘔吐	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	回復
755	40	女	平成21年11月4日	無	青魚、かに	局所の異常腫脹	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月12日	軽快
756	50	女	平成21年10月28日	無	無	5回か6回の下痢、腹部ニヤニヤ感	平成21年11月7日	評価不能	非重篤	平成21年11月9日	軽快
757	40	女	平成21年10月29日	無	HT,HL	全身倦怠感、関節痛	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年11月5日	回復
758	30	女	平成21年10月27日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	気道閉塞感、倦怠感と接種部位の発赤・腫脹	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年11月1日	回復
759	30	女	平成21年11月5日	無	そば、メロン、ピリン	発疹(全身)、発赤、腫脹、かゆみ	平成21年11月5日	評価不能	非重篤	平成21年11月10日	回復
760	50	女	平成21年10月30日	無	高血圧症(内服中)	頭部発疹	平成21年10月30日	評価不能	非重篤	平成21年11月7日	回復
761	30	女	平成21年11月9日	無	喘息、花粉症、季節性インフルエンザワクチン接種	微熱、関節痛、筋肉痛、倦怠感	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	平成21年11月14日	回復
762	40	女	平成21年11月9日	無	無	湿疹	平成21年11月10日	評価不能	非重篤	平成21年11月18日	軽快

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
763	30	女	平成21年11月5日	無	インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年11月8日	評価不能	非重篤	平成21年11月11日	未回復
764	30	男	平成21年10月27日	無	無	発熱	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	回復
765	30	女	平成21年10月21日	無	無	胸部圧迫感、両手しびれ、脱力感	平成21年10月21日	不明	非重篤	平成21年11月16日	未回復
766	30	女	平成21年11月5日	無	無	左上肢しびれおよび疼痛	平成21年11月5日	評価不能	非重篤	平成21年11月9日	回復
767	30	女	平成21年10月28日	無	カニ、海老アレルギー	発熱	平成21年10月28日	不明	非重篤	不明	後遺症(症状)
768	20	女	平成21年10月20日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	喉頭痛、発熱38度9分(2日間続いた)	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年11月1日	回復
769	20	女	平成21年11月4日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	眼痛、目の充血、脱力感、ぼんやりとした感じ	平成21年11月4日	評価不能	非重篤	平成21年11月5日	回復
770	20	女	平成21年11月4日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	嘔気、脱力感、集中力低下	平成21年11月4日	評価不能	非重篤	平成21年11月6日	回復
771	20	男	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザ	関節痛、喉頭痛	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	軽快
772	40	女	平成21年10月28日	無	無	アナフィラキシー	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
773	90	男	平成21年11月2日	無	無	じんましん	平成21年11月3日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	軽快
774	40	男	平成21年11月2日	無	無	じんましん	平成21年11月3日	関連有り	非重篤	不明	不明
775	30	男	平成21年10月20日	無	無	じんましん	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月21日	回復
776	50	女	平成21年10月29日	無	アレルギー	感冒様症状、顔面腫脹	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
777	20	女	平成21年11月9日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発疹、息苦しさ	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	平成21年11月11日	回復
778	70	男	平成21年10月30日	無	無	くしゃみ多発、その後鼻汁あり	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月1日	回復
779	40	女	平成21年11月11日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	手足のしびれ	平成21年11月11日	関連有り	非重篤	平成21年11月14日	回復
780	30	男	平成21年11月7日	無	無	発熱(37.5℃)、全身倦怠感	平成21年11月7日	関連有り	非重篤	平成21年11月9日	回復
781	40	女	平成21年10月29日	無	無	腫れ、痛み	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
782	50	女	平成21年10月24日	無	無	全身倦怠感、熱感	平成21年10月25日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
783	20	男	平成21年10月29日	無	無	発疹、かゆみ	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
784	20	男	平成21年10月29日	無	無	かゆみ	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
785	30	女	平成21年10月29日	無	無	かゆみ	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
786	10歳未満	男	平成21年11月9日	無	ウエスト症候群にて治療中	局所の腫脹	平成21年11月11日	関連有り	非重篤	平成21年11月13日	回復
787	20	男	平成21年11月4日	無	無	じんましん	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月8日	軽快
788	30	女	平成21年11月4日	無	無	発熱小、嘔吐	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月8日	回復
789	50	女	平成21年11月6日	無	無	感冒症状、消化器症状	平成21年11月9日	評価不能	非重篤	平成21年11月11日	回復
790	40	女	平成21年10月24日	無	無	頭痛、喉頭痛、倦怠感	平成21年10月25日	評価不能	非重篤	平成21年10月26日	軽快
791	40	女	平成21年10月24日	無	無	頭痛	平成21年10月25日	評価不能	非重篤	平成21年10月26日	軽快
792	40	女	平成21年11月6日	無	喘息様気管支炎	発熱、頭痛、倦怠感	平成21年11月8日	不明	非重篤	平成21年11月11日	軽快
793	30	女	平成21年10月30日	無	無	アナフィラキシー様症状	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
794	20	女	平成21年11月4日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱(最大39℃)	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月16日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
795	20	女	平成21年11月5日	無	アレルギー体質、アトピー、クローン病、季節性インフルエンザワクチン接種後発疹	発熱(最大39.2°C)、じんましん様症状	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月11日	回復 軽快
796	30	女	平成21年11月9日	無	SLEにてプレドニゾン5mg服用	肘を超える局所の異常腫脹	平成21年11月12日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	軽快
797	40	女	平成21年10月29日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	腫脹、発熱、全身倦怠感	平成21年10月29日	不明	非重篤	平成21年10月31日	回復
798	30	女	平成21年10月29日	無	無	発赤、腫脹、倦怠感、喉頭痛、耳鳴り	平成21年10月29日	不明	非重篤	平成21年11月5日	回復
799	30	女	平成21年10月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	かぜ症状	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年11月3日	回復
800	50	男	平成21年10月30日	無	無	アナフィラキシー、じんましん	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	軽快
801	30	男	平成21年11月11日	無	無	発疹	平成21年11月12日	評価不能	非重篤	平成21年11月19日	不明
802	20	女	平成21年10月30日	無	無	薬疹	平成21年10月31日	関連無し	非重篤	平成21年11月6日	軽快
803	50	女	平成21年10月26日	無	無	嘔気、嘔吐	平成21年10月26日	評価不能	非重篤	平成21年10月27日	回復
804	30	女	平成21年11月11日	無	喘息	頭痛、嘔吐、発熱(37.8)	平成21年11月11日	不明	非重篤	平成21年11月12日	軽快
805	30	女	平成21年10月27日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	口内炎	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	軽快
806	40	女	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	口内炎	平成21年10月27日	不明	非重篤	平成21年11月5日	軽快
807	20	女	平成21年11月6日	無	無	頭重感、めまい、全身倦怠感	平成21年11月6日	評価不能	非重篤	不明	不明
808	40	女	平成21年10月23日	無	無	発疹、かゆみ	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
809	20	女	平成21年10月21日	無	無	腫れ、かゆみ、めまい	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月25日	回復
810	30	女	平成21年10月21日	無	無	腫れ、かゆみ	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
811	40	女	平成21年10月28日	無	無	チクチクと感ずる痛み	平成21年10月28日	不明	非重篤	平成21年10月29日	回復
812	30	女	平成21年10月28日	無	無	動悸、気分不良	平成21年10月28日	不明	非重篤	平成21年10月28日	回復
813	20	女	平成21年11月5日	不明	アレルギー：ロキソニンで喘息出現、10/15季節性インフルエンザワクチン接種、10/28インフルエンザ陽性(6日間自宅療養)10/29内科外来受診 小児喘息有りでぜんそく薬を投与される		平成21年11月6日	不明	非重篤	不明	回復
814	60	女	平成21年11月10日	無	気管支喘息：加療中、既往：薬剤アレルギー、季節性インフルエンザワクチン接種	発熱、頭肩痛	平成21年11月11日	関連有り	非重篤	平成21年11月12日	回復
815	40	女	平成21年11月2日	無	ビリン系薬品で薬疹、造影剤でショック、季節性インフルエンザワクチン接種	39度異常の発熱	平成21年11月4日	評価不能	非重篤	平成21年11月9日	軽快
816	30	女	平成21年11月2日	無	無	激しい頭痛	平成21年11月2日	評価不能	非重篤	平成21年11月3日	回復
817	50	女	平成21年11月2日	無	無	倦怠感、頭重感、右手指むくみ・痛み	平成21年11月2日	評価不能	非重篤	平成21年11月5日	軽快
818	40	女	平成21年11月2日	不明	季節性インフルエンザワクチン接種、卵巣が	頭痛、嘔気、嘔吐、発熱、風邪症状	平成21年11月3日	評価不能	非重篤	平成21年11月6日	軽快
819	30	女	平成21年11月2日	無	喘息	じんましん	平成21年11月3日	評価不能	非重篤	平成21年11月6日	回復
820	40	女	平成21年11月2日	無	無	発熱、タンパク尿、心電図異常	平成21年11月3日	評価不能	非重篤	平成21年11月10日	軽快
821	40	女	平成21年10月29日	無	無	腫れ、かゆみ	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
822	30	男	平成21年11月6日	無	じんましん、HBワクチン(ビームゲン)接種：一回目	急性散在性脳脊髄炎の疑	平成21年11月9日	評価不能	非重篤	平成21年12月3日	軽快
823	50	女	平成21年11月5日	無	高血圧、高脂血症、慢性C型肝炎、深部静脈血栓症	発熱37.4°C、両下肢脱力感	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月9日	回復
824	60	男	平成21年11月9日	無	無	皮疹	平成21年11月10日	不明	非重篤	不明	不明

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
825	40	男	平成21年10月22日	無		発疹、かゆみ	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月25日	回復
826	30	女	平成21年11月5日	無	無	まぶたの浮腫	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月9日	軽快
827	30	男	平成21年10月27日	無	ビリン系、ロルフェナミン	半眠気	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
828	40	女	平成21年10月27日	無	ビリン系、花粉症、体調により食べ物でも湿疹が出る こと有り	微熱、頭痛	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	軽快
829	20	女	平成21年10月27日	無	花粉症、アルコール綿花、アトピー性皮膚炎	発赤、腫脹、熱感(接種部位)	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
830	60	女	平成21年10月26日	無	バファリン	ねむけ、関節痛	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
831	40	女	平成21年10月29日	無	高血圧、不整脈	頭痛、倦怠感	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
832	20	女	平成21年10月27日	無	無	ねむけ	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
833	20	女	平成21年10月26日	無	無	眠気、腫脹、発赤	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
834	50	女	平成21年11月6日	無	無	頭痛、眼圧感	平成21年11月6日	不明	非重篤	平成21年11月8日	回復
835	50	女	平成21年10月24日	不明		頭痛、吐き気、動悸、ふらつき、倦怠感	平成21年10月24日	不明	非重篤	平成21年10月25日	回復
836	30	男	平成21年11月6日	無	無	皮疹	平成21年11月7日	関連有り	非重篤	平成21年11月13日	軽快
837	10歳未満	男	平成21年11月10日	無	気管支喘息	じんましん	平成21年11月10日	関連有り	非重篤	平成21年11月11日	回復
838	20	女	平成21年11月2日	無	無	全身発疹	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月11日	回復
839	40	女	平成21年10月23日	無	無	発疹	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月16日	軽快
840	30	女	平成21年11月4日	無	無	頭痛、嘔気	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	回復
841	40	女	平成21年10月21日	無	無	体灼熱感	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月21日	軽快
842		女	平成21年10月21日	無	無	体灼熱感	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月21日	軽快
843	70	男	平成21年11月11日	無	無	肝機能障害	平成21年11月12日	評価不能	非重篤	平成21年11月13日	不明
844	20	女	平成21年11月7日	無	無	発熱	平成21年11月7日	関連有り	非重篤	平成21年11月8日	回復
845	30	女	平成21年11月6日	無	季節性インフルエンザワクチン接種時、腫れ軽感あり	発疹	平成21年11月7日	関連有り	非重篤	平成21年11月13日	軽快
846	50	女	平成21年10月23日	無	無	両眼周囲の発赤、腫脹、痛み	平成21年10月25日	評価不能	非重篤	平成21年10月31日	回復
847	30	女	平成21年10月29日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	頭痛	平成21年10月31日	評価不能	非重篤	平成21年11月1日	回復
848	30	女	平成21年10月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	嘔声、喉頭痛	平成21年11月1日	評価不能	非重篤	平成21年11月10日	軽快
849	10歳未満	男	平成21年11月10日	無	基礎疾患:気管支喘息、以前卵アレルギー、前年の季節性インフルエンザワクチンはアレルギーなし	発疹(体幹)	平成21年11月12日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	不明
850	30	女	平成21年11月9日	無	IgA腎症	じんましん	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	平成21年11月12日	回復
851	50	女	平成21年10月21日	無	無	ジベル型薬疹の疑い	平成21年10月23日	不明	非重篤	不明	軽快
852	20	女	平成21年11月10日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年11月10日	評価不能	非重篤	平成21年11月13日	回復
853	50	女	平成21年11月9日	無	無	じんましん	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	平成21年11月16日	軽快
854	30	女	平成21年11月6日	無	接触アレルギーあり	アナフィラキシー	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月11日	回復
855	10	男	平成21年11月7日	無	気管支喘息あり、季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年11月8日	関連有り	非重篤	平成21年11月11日	回復
856	10歳未満	女	平成21年11月7日	無	気管支喘息あり、季節性インフルエンザワクチン1回目接種	じんましん	平成21年11月8日	関連有り	非重篤	平成21年11月11日	回復

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
857	50	女	平成21年11月11日	無	無	発熱、悪寒、関節痛	平成21年11月11日	不明	非重篤	平成21年11月17日	回復
858	20	女	平成21年11月9日	無	無	嘔気、めまい、手振戦	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	回復
859	50	女	平成21年10月30日	有	無	右リンパ腺腫脹、嘔吐	平成21年10月30日	不明	非重篤	平成21年11月6日	回復
860	30	女	平成21年11月13日	無	一週間前季節性インフルエンザ	めまい	平成21年11月13日	関連有り	非重篤	平成21年11月14日	回復
861	30	女	平成21年11月5日	無	アトピー性皮膚炎	頻脈	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
862	50	女	平成21年11月4日	無	季節性インフルエンザワクチン接種、アレルギー性鼻炎	アナフィラキシー	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
863	40	女	平成21年11月4日	無	無	急性腸炎	平成21年11月4日	不明	非重篤	平成21年11月5日	回復
864	30	女	平成21年11月2日	無	無		平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月7日	回復
865	60	女	平成21年10月23日	無	気管支喘息	全身の発疹	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年11月9日	回復
866	30	女	平成21年10月28日	無	無	嘔気、嘔吐、悪寒	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
867	50	女	平成21年10月29日	無	無	頭部～顔面の発疹	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
868	50	女	平成21年11月6日	無	無	じんましん	平成21年11月6日	評価不能	非重篤	平成21年11月10日	軽快
869	60	女	平成21年11月4日	無	無	動悸、嘔気、左回転がした様な感じ	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	回復
870	30	女	平成21年11月4日	無	無	めまい、ふらつき、嘔気、動悸、悪寒、冷や汗、関節痛、痒み	平成21年11月4日	不明	非重篤	平成21年11月6日	回復
871	60	女	平成21年10月23日	無	無	咳	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月26日	回復
872	50	女	平成21年10月23日	無	無	発熱、下痢、嘔吐	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
873	50	女	平成21年10月23日	無	無	咳	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月24日	回復
874	40	男	平成21年10月23日	無	無	幻覚	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月24日	回復
875	30	女	平成21年10月24日	無	無	血管迷走神経反射	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
876	10歳未満	女	平成21年11月11日	無		39℃の高熱	平成21年11月11日	関連有り	非重篤	平成21年11月14日	回復
877	30	女	平成21年10月26日	無	有り	嘔吐、下痢、接種部位にじんましん様	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	軽快
878	30	女	平成21年10月23日	無	無	嘔気、食欲不振	平成21年10月25日	評価不能	非重篤	平成21年10月25日	回復
879	30	女	平成21年10月29日	無	無	接種部位：発赤、腫脹、熱感 接種側上肢：疼痛、感覚異常	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年11月1日	回復
880	20	女	平成21年11月12日	無	無	胸部の発疹	平成21年11月12日	関連有り	非重篤	平成21年11月12日	軽快
881	80	女	平成21年11月11日	無	無	下顎けいれん	平成21年11月12日	評価不能	非重篤	平成21年11月12日	回復
882	20	女	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	胃痛、嘔気	平成21年10月26日	評価不能	非重篤	平成21年10月27日	回復
883	30	女	平成21年10月29日	無		腫れ→かゆみ	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年11月3日	回復
884	40	女	平成21年10月24日	無		発赤	平成21年10月25日	関連有り	非重篤	平成21年10月26日	回復
885	30	女	平成21年11月4日	無	ダンリッチで膨腫疹 季節性インフルエンザワクチン接種	その他の神経障害	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	軽快
886	10	男	平成21年11月13日	無	有り	じんましん	平成21年11月14日	関連有り	非重篤	平成21年11月15日	軽快
887	20	女	平成21年11月4日	無	無	局所(注射部位)の発赤、腫脹	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月12日	回復
888	20	女	平成21年11月5日	有	既往：ボルタレン錠にてじんましん	じんましん	平成21年11月5日	評価不能	非重篤	平成21年11月7日	軽快

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
889	20	女	平成21年11月10日	無	無	多形滲出性紅斑	平成21年11月11日	関連有り	非重篤	平成21年11月25日	未回復
890	40	女	平成21年11月10日	無		39.5℃の発熱	平成21年11月12日	評価不能	非重篤	平成21年11月13日	回復
891	40	女	平成21年10月31日	不明	ビリ系	発熱、喉頭痛	平成21年11月1日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	未回復
892	20	女	平成21年11月11日	無		関節痛、微熱、のどの痛み、倦怠感	平成21年11月13日	評価不能	非重篤	平成21年11月14日	軽快
893	20	男	平成21年10月31日	不明		咳嗽	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	未回復
894	10歳未満	女	平成21年11月10日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発疹	平成21年11月10日	評価不能	非重篤	平成21年11月13日	回復
895	50	女	平成21年10月26日	不明	無	頭重感、注射部:腫脹、発赤	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
896	40	女	平成21年10月26日	無	無	頭重感、乾性咳嗽、鼻閉感、注射部位の痛痒感、発赤	平成21年10月27日	不明	非重篤	平成21年10月28日	回復
897	40	女	平成21年10月26日	無	無	発赤、腫脹、痛痒感、上肢が重い感じ	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
898	40	女	平成21年10月26日	無	無	接種部の発赤、かゆみ	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
899	50	女	平成21年10月26日	無	無	頭重感、体熱感、接種部位の痛痒感、鼻閉	平成21年10月27日	不明	非重篤	平成21年11月3日	未回復
900	50	女	平成21年10月26日	無		接種部のかゆみ、軽度発赤	平成21年10月30日	不明	非重篤	平成21年11月1日	回復
901	30	女	平成21年11月12日	無	インフルエンザHAワクチン接種	その他の通常ではみられない異常反応	平成21年11月12日	評価不能	非重篤	平成21年11月12日	回復
902	40	女	平成21年11月12日	無	高血圧、インフルエンザHAワクチン接種	その他の通常ではみられない異常反応	平成21年11月12日	評価不能	非重篤	平成21年11月12日	回復
903	30	女	平成21年10月29日	無		腫れ、かゆみ	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
904	60	女	平成21年11月6日	無		発熱、全身倦怠感	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月9日	回復
905	40	女	平成21年11月5日	無	無	高熱、倦怠感	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月9日	回復
906	40	女	平成21年10月27日	無	そばアレルギー	じんましん	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	回復
907	40	女	平成21年11月11日	無	甲状腺キノウ低F症、鉄欠乏性貧血、高血圧、季節性インフルエンザワクチン接種	胃と食道の境あたりに熱感があり、喉に熱が移動。めまい。翌日口唇とはぐきが異常に湿く	平成21年11月11日	関連有り	非重篤	平成21年11月11日	回復
908	30	女	平成21年11月11日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	全身倦怠感、頭痛。翌日口唇とはぐきが異常に湿く	平成21年11月11日	不明	非重篤	平成21年11月13日	回復
909	40	女	平成21年11月13日	無	無	じんましん	平成21年11月13日	関連有り	非重篤	平成21年11月13日	回復
910	20	女	平成21年11月13日	無	無	発熱	平成21年11月14日	評価不能	非重篤	平成21年11月16日	軽快
911	30	女	平成21年10月26日	無	10年前季節性インフルエンザワクチンで高熱、翌年も高熱出る。その為その後のワクチン接種していない	その他の神経障害	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	不明	不明
912	50	女	平成21年11月2日	不明		顔面紅潮、動悸尾、ふらつき、両上肢脱力しびれ感	平成21年11月3日	評価不能	非重篤	平成21年11月3日	回復
913	50	女	平成21年10月27日	無	ヨードアレルギー、季節性インフルエンザワクチン接種	接種後、3日ほどだるさあり	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月30日	回復
914	50	女	平成21年11月9日	無	透析患者(慢性腎不全)	湿疹(発疹)	平成21年11月11日	不明	非重篤	平成21年11月14日	軽快
915	50	女	平成21年11月13日	無	喘息	じんましん	平成21年11月13日	関連有り	非重篤	平成21年11月15日	回復
916	50	男	平成21年10月26日	無	無	血尿	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年11月12日	回復
917	10歳未満	男	平成21年11月11日	無	喘息の基礎疾患あり。軽度の咳があった	発熱(39℃)	平成21年11月12日	評価不能	非重篤	平成21年11月14日	回復
918	30	女	平成21年10月28日	無	無	鼻汁、喉頭腫脹、嘔声	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年11月12日	軽快
919	70	男	平成21年11月14日	無	高血圧	39℃以上の発熱	平成21年11月15日	評価不能	非重篤	平成21年11月16日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
920	40	男	平成21年11月9日	有	ヨード過敏	腫れ、37°Cの発熱、全身倦怠感、手のしびれ	平成21年11月10日	不明	非重篤	平成21年11月11日	回復
921	40	男	平成21年11月10日	無	4歳の時にひきつけあり	発熱、関節痛、および頭痛	平成21年11月10日	不明	非重篤	平成21年11月12日	回復
922	30	女	平成21年10月27日	無	気管支喘息 薬や薬品でじんましん発生や体調不良経験あり	下痢	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月28日	回復
923	20	男	平成21年10月30日	無	無	肘を超える局所の異常	平成21年11月2日	不明	非重篤	平成21年11月4日	回復
924	80	男	平成21年11月16日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年11月16日	評価不能	非重篤	平成21年11月17日	回復 軽快
925	30	女	平成21年10月22日	無	無	じんましん	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年11月16日	軽快
926	20	女	平成21年10月23日	無	無	じんましん	平成21年10月25日	関連有り	非重篤	平成21年11月16日	軽快
927	20	女	平成21年10月27日	無	季節性インフルエンザワクチン接種、既往:アстма十、卵アレルギー十	頭痛、嘔気	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	回復
928	20	女	平成21年11月9日	無	10/19に外傷後、破傷風トキソイド筋注	急性扁桃腺炎	平成21年11月10日	評価不能	非重篤	平成21年11月12日	回復
929	50	女	平成21年11月13日	無	無	発熱、嘔吐	平成21年11月15日	不明	非重篤	平成21年11月16日	回復
930	20	女	平成21年10月28日	無		嘔気、嘔吐	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年11月1日	回復
931	20	女	平成21年11月10日	無	有り:アレルギー	発熱、左腋窩リンパ筋炎	平成21年11月11日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	不明
932	30	女	平成21年11月5日	無	無	発熱、関節痛	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月9日	回復
933	30	女	平成21年11月2日	無	無	その他通常ではみられない異常反応	平成21年11月2日	不明	非重篤	平成21年11月3日	回復 軽快
934	20	女	平成21年11月10日	無	アトピー性皮膚炎	発熱	平成21年11月10日	評価不能	非重篤	平成21年11月16日	回復
935	20	女	平成21年11月13日	無	食物依存症、運動誘発、アナフィラキシー	アナフィラキシー	平成21年11月13日	関連有り	非重篤	平成21年11月13日	軽快
936	30	女	平成21年11月16日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	上肢脱力感、微熱、ふらつき	平成21年11月16日	関連有り	非重篤	平成21年11月17日	回復
937	50	男	平成21年10月26日	不明	無	全身倦怠感	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
938	20	女	平成21年11月10日	有	アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、扁桃炎	じんましん	平成21年11月13日	評価不能	非重篤	平成21年11月13日	軽快
939	70	女	平成21年11月17日	無	慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパシー	アナフィラキシー	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	平成21年11月17日	軽快
940	20	女	平成21年11月16日	無	ピリン系でじんましん	嘔気	平成21年11月16日	評価不能	非重篤	平成21年11月17日	回復
941	30	男	平成21年10月26日	無	アトピー性皮膚炎	じんましん	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	軽快
942	50	女	平成21年11月5日	無	無	薬疹	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
943	10歳未満	女	平成21年11月16日	無	アレルギー性鼻炎、気管支喘息、季節性インフルエンザワクチン接種	発熱(39°C以上)	平成21年11月16日	評価不能	非重篤	平成21年11月17日	回復
944	40	女	平成21年10月22日	無	神経性サルコイドーシス、下垂体機能低下症、中枢性尿崩症		平成21年10月22日	評価不能	非重篤	平成21年10月23日	回復
945	20	男	平成21年11月10日	無	無	アレルギー性発熱	平成21年11月10日	関連有り	非重篤	平成21年11月11日	回復
946	40	女	平成21年11月13日	無	無	じんましん様症状	平成21年11月14日	評価不能	非重篤	平成21年11月17日	軽快
947	20	女	平成21年11月4日	無	無	じんましん(頭部のみ)	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
948	10	女	平成21年11月17日	無	気管支喘息 吸入スラロイド 吸入中キュバル	気分不快(アナフィラキシー様症状)	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	平成21年11月17日	回復
949	50	女	平成21年10月30日	無	無	喉頭痛	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	軽快
950	30	女	平成21年11月13日	無	ミノマイシンで皮疹が出たこと有り	じんましん	平成21年11月13日	関連有り	非重篤	平成21年11月15日	軽快
951	50	女	平成21年11月2日	不明		アナフィラキシー	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	未回復

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
952	70	女	平成21年11月10日	無	無	幻視	平成21年11月10日	評価不能	非重篤	平成21年11月17日	未回復
953	70	女	平成21年11月10日	無	無	後頭部痛、嘔気	平成21年11月12日	評価不能	非重篤	平成21年11月17日	未回復
954	30	女	平成21年10月29日	無	無	感冒症状	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年11月4日	軽快
955	20	女	平成21年11月6日	無	無	じんましん、微熱	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	軽快
956	50	女	平成21年10月20日	無	無	湿疹	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月22日	回復
957	20	女	平成21年10月26日	有	無	頭痛	平成21年10月27日	不明	非重篤	平成21年10月28日	回復
958	50	男	平成21年10月29日	無	無	微熱、全身倦怠感	平成21年10月29日	不明	非重篤	平成21年11月2日	回復
959	20	男	平成21年10月26日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年10月30日	評価不能	非重篤	平成21年11月2日	回復
960	40	女	平成21年10月29日	無	無	接種部位の腫脹	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年11月7日	軽快
961	40	女	平成21年11月13日	無	季節性インフルエンザワクチン接種(発熱あり)、毎回インフルワクチン時に発熱有り	発熱	平成21年11月14日	関連有り	非重篤	平成21年11月14日	軽快
962	10歳未満	女	平成21年11月17日	無		発熱	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	回復
963	30	女	平成21年10月26日	無	無	じんましん	平成21年10月26日	不明	非重篤	平成21年11月14日	回復
964	20	女	平成21年11月18日	無	無	発疹	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	回復
965	70	女	平成21年11月18日	無	薬、食品でのじんましん	嘔気、気分不快	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月18日	回復
966	50	男	平成21年11月16日	無	慢性腎不全(透析中)、季節性インフルエンザワクチン接種	皮疹	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	平成21年11月18日	軽快
967	20	女	平成21年10月21日	無	無	下痢、腹痛、食欲低下	平成21年10月22日	不明	非重篤	平成21年10月25日	回復
968	80	女	平成21年11月18日	無	動脈硬化あり、元々過性の失神は起こしていた	湿疹発作	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月19日	回復
969	10歳未満	男	平成21年11月13日	不明	卵白アレルギークラス3	じんましん	平成21年11月13日	関連有り	非重篤	平成21年11月13日	回復
970	20	女	平成21年10月26日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
971	20	女	平成21年11月18日	無	気管支喘息にて加療中	嘔吐	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	軽快
972	10	女	平成21年11月18日	無	喘息、コントロールは良好	アナフィラキシー	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	回復
973	20	女	平成21年10月26日	無	無	両下肢発疹、左眼	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年10月28日	軽快
974	20	女	平成21年10月23日	無		中毒疹	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	軽快
975	10歳未満	女	平成21年11月17日	無	有り	頭痛	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	平成21年11月18日	回復
976	10歳未満	男	平成21年11月13日	無	川崎病 経過観察中(県立病院にて経過観察中。最優先対象者として今回予防接種? ?となっている)	発熱(39℃以上)	平成21年11月13日	関連無し	非重篤	平成21年11月15日	回復
977	30	女	平成21年11月9日	無	ロキソニン	じんましん	平成21年11月9日	評価不能	非重篤	平成21年11月11日	回復
978	40	女	平成21年10月23日	無	有り	軽度の発疹、かゆみ	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
979	20	女	平成21年11月9日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	関節痛、喉頭痛、発熱(39℃前後)	平成21年11月10日	不明	非重篤	平成21年11月11日	回復
980	40	男	平成21年10月27日	無	高血圧、高脂血症	関節痛、筋肉痛	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
981	20	女	平成21年11月13日	無	無	熱発	平成21年11月14日	評価不能	非重篤	平成21年11月18日	軽快
982	40	女	平成21年11月2日	無	無	熱発	平成21年11月16日	評価不能	非重篤	平成21年11月17日	軽快

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
983	20	女	平成21年11月11日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年11月11日	関連有り	非重篤	平成21年11月12日	回復
984	10歳未満	男	平成21年11月15日	無	喘息	発熱	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月25日	回復
985	40	女	平成21年11月13日	無	狭心症、季節性インフルエンザワクチン接種	めまい、嘔気、頭重感	平成21年11月14日	不明	非重篤	平成21年11月21日	回復
986	40	女	平成21年11月17日	無	無	じんましん	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	平成21年11月17日	回復
987	30	女	平成21年11月2日	無	無	頭痛、嘔吐	平成21年11月2日	評価不能	非重篤	平成21年11月3日	回復
988	20	女	平成21年10月21日	無	無	発熱(39℃以上)、口内炎	平成21年10月26日	評価不能	非重篤	平成21年11月16日	軽快
989	10歳未満	男	平成21年11月18日	無	基礎疾患:ネフローゼ、ステロイド投与中	アナフィラキシー	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	回復
990	70	男	平成21年11月17日	無	慢性腎不全	ふらつき	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月18日	回復
991	40	女	平成21年11月18日	無	全身性エリテマトーデスにて当院治療中 アレルギ一歴なし	発熱(39℃)	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	軽快
992	10	女	平成21年11月16日	無	気管支喘息	かぜ症状	平成21年11月16日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	回復
993	30	女	平成21年11月11日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	嘔気	平成21年11月12日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	軽快
994	70	女	平成21年11月18日	無	基礎疾患:狭心症、季節性インフルエンザワクチン接種	動機	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	回復
995	50	女	平成21年11月10日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱、接種部位の発赤・腫脹	平成21年11月10日	関連有り	非重篤	平成21年11月14日	回復
996	60	男	平成21年11月2日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	しびれ、筋肉緊張性疼痛	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	回復
997	30	女	平成21年10月26日	無	サワシリンで下痢、発疹 マクドナルドのハンバーガーで水疱様発疹	発疹	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
998	30	女	平成21年11月11日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱、頭痛、倦怠感、注射部位の痛み	平成21年11月11日	関連有り	非重篤	平成21年11月13日	回復
999	40	女	平成21年11月11日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発赤、腫脹、四肢ふるえ、発熱	平成21年11月11日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	回復
1000	40	女	平成21年10月26日	無	サワシリンで下痢、発疹 マクドナルドのハンバーガーで水疱様発疹	発疹	平成21年10月26日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
1001	30	男	平成21年11月18日	無	無	湿疹	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	不明	不明
1002	50	女	平成21年11月19日	無	少し風邪気味	息苦しさ、発汗、ふるえ	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	回復
1003	80	女	平成21年11月17日	無	10/18転倒し、恥骨骨折 10/19~2138℃の発熱あり 10/31~11/337℃~35℃発熱あり(膀胱系)	39℃以上の発熱	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	不明	不明
1004	80	男	平成21年11月19日	無	糖尿病、糖尿病性腎症	高血圧性脳症	平成21年11月19日	不明	非重篤	平成21年11月19日	軽快
1005	30	女	平成21年11月17日	無	無	筋力低下、しびれ感	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	不明	不明
1006	10歳未満	女	平成21年11月17日	無	アレルギー一性鼻炎、喘息。10/20発熱、肺炎にて加療。二週間以上、変化無し。	じんましん	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月20日	回復
1007	50	女	平成21年11月13日	無	薬や食品でのじんましん歴あり	発熱(39℃以上)	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	平成21年11月18日	回復
1008	70	男	平成21年11月19日	無	無	ショックの疑	平成21年11月19日	評価不能	非重篤	平成21年11月19日	回復
1009	30	女	平成21年11月5日	無	無	紅斑	平成21年11月8日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	回復
1010	10歳未満	女	平成21年11月17日	無	気管支喘息あり、前日夜喘息が出て吸入をした	じんましん	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	不明	不明
1011	20	女	平成21年11月5日	無	無	じんましん	平成21年11月6日	評価不能	非重篤	平成21年11月8日	回復
1012	40	女	平成21年11月4日	無	無	腹痛、下痢	平成21年11月5日	不明	非重篤	平成21年11月6日	軽快
1013	80	男	平成21年11月19日	無	糖尿病、糖尿病性腎症	高血圧性脳症	平成21年11月19日	不明	非重篤	平成21年11月19日	軽快
1014	10歳未満	女	平成21年11月19日	無	気管支喘息、季節性インフルエンザワクチン接種	血管神経迷走反射、アナフィラキシー	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月20日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1015	10歳未満	女	平成21年11月18日	無	11月2日(北研)FB0180×0.2ml接種	発熱	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	不明	不明
1016	50	男	平成21年10月20日	無	無	腕の痛み(左上腕)	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月27日	未回復
1017	10	女	平成21年11月19日	無	腎移植	アナフィラキシー	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	軽快
1018	30	女	平成21年10月30日	無	インフルエンザやそれ以外の予防接種をうけて具合が悪くなったことがある	頭痛、ふらふら感、嘔気	平成21年10月30日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
1019	10歳未満	男	平成21年11月19日	無	生後6ヶ月で兩大血管右室起始症で手術	発熱	平成21年11月20日	評価不能	非重篤	平成21年11月21日	軽快
1020	20	女	平成21年11月19日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	体熱感、発熱	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	回復
1021	20	女	平成21年11月13日	無	母親がインフルエンザワクチン接種後、ギランバレー症候群になったことあり	めまい、ふらつき、全身倦怠感	平成21年11月14日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	軽快
1022	30	女	平成21年10月24日	無	無	じんましん	平成21年10月25日	関連有り	非重篤	平成21年10月28日	回復
1023	60	女	平成21年10月24日	無	無	痛痒	平成21年10月24日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	回復
1024	30	女	平成21年11月4日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	39℃以上の発熱	平成21年11月7日	評価不能	非重篤	平成21年11月12日	回復
1025	60	女	平成21年10月29日	無	無	眩暈、嘔吐	平成21年10月31日	評価不能	非重篤	平成21年11月3日	回復
1026	40	男	平成21年11月11日	無	高血圧、糖尿病、高脂血症	39℃以上の発熱	平成21年11月12日	評価不能	非重篤	平成21年11月16日	回復
1027	70	男	平成21年11月18日	無	無	不整脈	平成21年11月18日	関連無し	非重篤	不明	不明
1028	70	女	平成21年11月18日	無	無	気分不良、発汗、熱感	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	回復
1029	20	男	平成21年11月18日	無	喘息	39℃以上の発熱、肘を超える腫脹	平成21年11月19日	関連有り(10) 評価不能(7)	非重篤	不明	不明
1030	50	女	平成21年11月20日	無	糖尿病	動機	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月20日	回復
1031	50	男	平成21年11月10日	無	無	体幹の発疹	平成21年11月10日	関連有り	非重篤	平成21年11月11日	軽快
1032	30	女	平成21年11月2日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年11月7日	評価不能	非重篤	平成21年11月8日	軽快
1033	60	男	平成21年11月16日	無	11/4季節性インフルエンザワクチン接種、11/16新型ワクチン接種	嘔吐、下痢	平成21年11月16日	評価不能	非重篤	平成21年11月16日	軽快
1034	30	女	平成21年11月6日	無	有り	体幹部発疹	平成21年11月7日	評価不能	非重篤	平成21年11月12日	回復
1035	10	女	平成21年11月14日	無	無	発熱、関節痛、A型インフルエンザ(+)	平成21年11月15日	評価不能	非重篤	平成21年11月16日	回復
1036	10歳未満	女	平成21年11月14日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱、A型インフルエンザ(+)	平成21年11月15日	評価不能	非重篤	平成21年11月16日	回復
1037	40	男	平成21年10月30日	無	無	倦怠感	平成21年10月31日	不明	非重篤	不明	回復
1038	40	男	平成21年10月30日	無	ワインでじんましん歴あり、現在IgA腎症の治療中	倦怠感、手足熱感	平成21年10月31日	評価不能	非重篤	平成21年11月2日	回復
1039	40	男	平成21年11月17日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	回復
1040	70	男	平成21年11月18日	無	慢性腎不全	口内の不快感	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月18日	回復
1041	30	女	平成21年11月17日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発疹	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	不明	不明
1042	50	男	平成21年11月16日	無	慢性腎不全で透析中。季節性インフルエンザワクチン接種	嘔吐、嘔気	平成21年11月16日	評価不能	非重篤	平成21年11月20日	未回復
1043	20	女	平成21年11月16日	無	無	発赤腫脹	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月25日	軽快
1044	10歳未満	男	平成21年11月17日	無	喘息、卵アレルギー	発赤、発熱	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月20日	回復
1045	80	男	平成21年11月16日	無	慢性心不全、季節性インフルエンザワクチン接種	両手指のしびれ	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	平成21年11月17日	回復
1046	50	男	平成21年11月18日	無	成人T細胞白血病、同種骨髄移植後慢性GVHD	発熱、肺炎	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	軽快

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重症度	転帰日	転帰内容
1047	70	女	平成21年11月19日	無	Ⅱ型糖尿病、高血圧、脳梗塞後遺症、冠動脈バイパス術後、脂質異常症、慢性心不全	顔面紅潮、血圧上昇、全身倦怠感	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	軽快
1048	40	女	平成21年11月17日	無	無	じんましん	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	軽快
1049	60	男	平成21年11月16日	無	肺炎腫	下痢	平成21年11月16日	評価不能	非重篤	平成21年11月25日	不明
1050	50	女	平成21年11月11日	無	糖尿病にてインスリン治療	血圧高値、倦怠感、関節痛	平成21年11月12日	関連有り	非重篤	平成21年11月17日	軽快
1051	10	男	平成21年11月19日	無	気管支喘息	頭痛、顔面紅潮、鼻汁	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	回復
1052	10	女	平成21年11月17日	有	急性リンパ性白血病、白質脳症、てんかん、アスバラギナーゼによるアナフィラキシー既往、季節性ワクチン化血・L36B	けいれん	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	回復
1053	10歳未満	女	平成21年11月17日	無	無	発熱、A型インフルエンザ(+)	平成21年11月21日	評価不能	非重篤	平成21年11月21日	不明
1054	10歳未満	女	平成21年11月20日	無	無	じんましん	平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月22日	回復
1055	10歳未満	女	平成21年11月20日	無	無	けいれん	平成21年11月20日	評価不能	非重篤	平成21年11月20日	回復
1056	60	女	平成21年11月14日	無	気管支喘息	じんましん	平成21年11月15日	評価不能	非重篤	平成21年11月15日	回復
1057	30	女	平成21年11月21日	無	無	血管迷走神経反射	平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	回復
1058	70	女	平成21年11月19日	不明	糖尿病、高血圧、脂質異常症、季節性インフルエンザワクチン接種	顔面紅潮、血圧上昇	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	回復
1059	60	女	平成21年11月18日	無	慢性腎不全にて透析中	嘔吐	平成21年11月18日	不明	非重篤	平成21年11月18日	回復
1060	50	女	平成21年11月18日	無	慢性腎不全にて透析中	悪心、疼痛	平成21年11月19日	不明	非重篤	平成21年11月19日	回復
1061	10歳未満	女	平成21年11月22日	無	気管支喘息で抗アレルギー薬内服、季節性インフルエンザワクチン接種、副反応無し	じんましん	平成21年11月22日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	回復
1062	20	女	平成21年10月27日	無	アレルギー	じんましん	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	未回復
1063	10歳未満	男	平成21年11月19日	無	気管支喘息	39℃の発熱	平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月26日	不明
1064	10歳未満	男	平成21年11月20日	無	無	発熱、局所の腫れ熱感	平成21年11月20日	不明	非重篤	平成21年11月22日	回復
1065	40	女	平成21年10月28日	無	無	頭痛	平成21年10月30日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	軽快
1066	80	女	平成21年11月20日	無	慢性関節リウマチ、季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	回復
1067	10歳未満	女	平成21年11月17日	無	食品、薬品でじんましんあり	発赤	平成21年11月20日	評価不能	非重篤	平成21年11月17日	回復
1068	30	男	平成21年11月10日	無	無	頭痛、発熱	平成21年11月11日	関連有り	非重篤	平成21年11月12日	回復
1069		女	平成21年11月2日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	右橈骨神経麻痺、尺骨神経麻痺	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	軽快後遺症
1070	10歳未満	男	平成21年11月18日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	血管迷走神経反射	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	回復
1071	10歳未満	女	平成21年11月21日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	嘔吐	平成21年11月21日	評価不能	非重篤	平成21年11月22日	回復
1072	10歳未満	女	平成21年11月20日	無	無	39℃以上の高熱	平成21年11月23日	評価不能	非重篤	不明	不明
1073	20	女	平成21年11月20日	無	無	発熱	平成21年11月20日	関連無し	非重篤	平成21年11月24日	回復
1074	40	女	平成21年11月18日	無	卵にじんましん	じんましん、下痢、腹痛	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	軽快
1075	30	男	平成21年11月13日	無	無	全身性皮疹	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	不明	不明
1076	20	女	平成21年11月19日	無	卵白アレルギー	じんましん	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	軽快
1077	50	女	平成21年10月20日	無	季節性インフルエンザワクチン接種にて当日38℃の発熱有り	頭痛、悪寒、発熱	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	平成21年10月29日	軽快

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1078	20	女	平成21年10月30日	無	無	湿疹	平成21年11月4日	不明	非重篤	平成21年11月9日	軽快
1079	20	女	平成21年11月4日	無	無	じんましん	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	軽快
1080	60	女	平成21年11月19日	無	気管支喘息、季節性インフルエンザワクチン接種	その他通常では見られない異常反応	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	回復
1081	10歳未満	女	平成21年11月20日	無	無	微熱、感冒症状	平成21年11月21日	評価不能	非重篤	不明	不明
1082	70	男	平成21年11月20日	無	無	落屑を伴う顔面の皮疹	平成21年11月22日	関連有り	非重篤	不明	不明
1083	60	男	平成21年11月18日	無	無	腹部、臀部あたりにじんましん	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	軽快
1084	70	女	平成21年11月16日	無	気管支喘息で加療中	発熱(38.4℃)	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	平成21年11月17日	未回復
1085	50	女	平成21年11月9日	無	アレルギー性鼻炎	更新腫脹、口腔内違和感	不明	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	軽快
1086	50	女	平成21年11月16日	無	関節リウマチ	皮疹、皮膚の知覚異常	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	未回復
1087	10歳未満	女	平成21年11月19日	無	無し:喘息あるが落ち着いている	アナフィラキシーショック	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	回復
1088	10歳未満	女	平成21年11月17日	有	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	平成21年11月17日	回復
1089	10歳未満	男	平成21年11月11日	無	5年前にインフル接種でえきこう○●で入院	肘を超える腫脹	平成21年11月11日	関連有り	非重篤	平成21年11月16日	回復
1090	10	男	平成21年11月18日	無	脳性麻痺	嘔吐(頻回)	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	軽快
1091	30	女	平成21年11月14日	無	無	発熱	平成21年11月14日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	軽快
1092	40	男	平成21年11月20日	無	無	目が回る	平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	不明
1093	30	女	平成21年11月4日	無	薬疹ボルタレン、ロキソニン、ケブラール	寒気と吐き気	平成21年11月4日	評価不能	非重篤	平成21年11月5日	回復
1094	20	女	平成21年11月10日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年11月10日	関連有り	非重篤	平成21年11月10日	回復
1095	10	男	平成21年11月10日	無	抗ヒスタミン:じんましん出たことあり 基礎疾患:頭部外傷後遺症で重度心身障害(身体障害者手帳1級)	発熱、嘔吐、けいれん	平成21年11月15日	評価不能	非重篤	平成21年11月16日	回復
1096	70	男	平成21年11月16日	無	高血圧	めまい	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	回復
1097	60	男	平成21年11月24日	無	無	体幹発赤	平成21年11月24日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	軽快
1098	10歳未満	女	平成21年11月20日	不明		じんましん	平成21年11月22日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	回復
1099	60	女	平成21年11月18日	無	子宮頸がん、放射線性腸炎	発熱	平成21年11月19日	評価不能	非重篤	平成21年11月20日	回復
1100	70	女	平成21年11月20日	無	無	熱感	平成21年11月22日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	軽快
1101	80	女	平成21年11月17日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月17日	回復
1102	40	女	平成21年10月22日	無	タマゴ	膨隆疹、微熱	平成21年10月22日	不明	非重篤	平成21年10月23日	回復
1103	70	女	平成21年11月19日	無	気管支喘息	じんましん	平成21年11月21日	評価不能	非重篤	平成21年11月21日	未回復
1104	20	女	平成21年11月21日	無	気管支喘息	発熱、喘息発作出現	平成21年11月21日	不明	非重篤	平成21年11月30日	軽快
1105	10歳未満	男	平成21年11月19日	無		発熱	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	軽快
1106	50	女	平成21年11月12日	無	アレルギー:ピリン、サバ 季節性インフルエンザワクチン接種	動悸、めまい、嘔吐、下痢、倦怠感	平成21年11月12日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	回復
1107	70	男	平成21年11月20日	無	薬剤アレルギー有り	発熱(38.5℃)	平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月22日	回復
1108	100	女	平成21年11月17日	無		高熱	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	軽快

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1109	10歳未満	女	平成21年11月18日	無	熱性けいれん	39℃以上の発熱	平成21年11月18日	不明	非重篤	平成21年11月25日	回復
1110	30	女	平成21年11月13日	無	クローン病	発熱、じんましん	平成21年11月13日	関連有り	非重篤	平成21年11月16日	回復
1111	10	女	平成21年11月20日	無	有り	発熱(38.8℃) 鼻汁	平成21年11月24日	不明	非重篤	平成21年11月25日	軽快
1112	30	男	平成21年11月25日	無	ファブリ病、花粉症	全身掻痒感	平成21年11月25日	不明	非重篤	平成21年11月25日	回復
1113	30	女	平成21年11月5日	無	無	嘔吐、眩暈、微熱(37.8℃)	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
1114	30	女	平成21年10月22日	無	無	吐き気、嘔吐	平成21年10月23日	評価不能	非重篤	平成21年10月26日	軽快
1115	30	女	平成21年10月23日	無	無	発熱、体のだるさ	平成21年10月24日	不明	非重篤	平成21年10月25日	軽快
1116	30	女	平成21年11月4日	無	子供2週間前にインフルエンザにかかった	発熱	平成21年11月5日	不明	非重篤	平成21年11月6日	軽快
1117	50	女	平成21年10月23日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	めまい、沈降感	平成21年10月23日	不明	非重篤	平成21年10月23日	回復
1118	30	女	平成21年10月28日	無	無	アナフィラキシー	平成21年10月29日	関連無し	非重篤	平成21年10月29日	回復
1119	30	女	平成21年10月27日	無	無	両眼浮腫	平成21年10月28日	関連無し	非重篤	平成21年10月28日	回復
1120	30	女	平成21年10月27日	無	無	上半身発疹	平成21年10月28日	関連無し	非重篤	平成21年10月28日	回復
1121	10歳未満	男	平成21年11月16日	無	無	発熱	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	平成21年11月20日	回復
1122	40	女	平成21年11月17日	無	無	全身倦怠感と喉頭痛→全身倦怠感	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	回復
1123	30	女	平成21年11月19日	無	無	下痢、嘔吐	平成21年11月20日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	回復
1124	20	女	平成21年11月17日	無	無	筋肉痛	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	回復
1125	30	女	平成21年11月17日	無	無	下痢、頭痛	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	回復
1126	10歳未満	男	平成21年11月20日	無	喘息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎	通常の接種では見られない異常反応	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月20日	回復
1127	50	女	平成21年11月4日	無	無		平成21年11月10日	関連有り	非重篤	平成21年11月16日	回復
1128	50	男	平成21年11月18日	不明	アレルギー：青魚 高血圧症：アタラートー日2回服用中		平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	軽快
1129	40	男	平成21年10月30日	無	無		平成21年11月1日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	回復
1130	20	女	平成21年11月19日	無	無	その他通常では見られない異常反応	平成21年11月19日	評価不能	非重篤	平成21年11月21日	回復
1131	70	女	平成21年11月25日	無	間質性肺炎、慢性腎不全呼吸不全()、高血圧、季節性インフルエンザワクチン接種	気管支喘息発作	平成21年11月25日	関連有り	非重篤	平成21年11月25日	回復
1132	80	女	平成21年11月20日	無	慢性うっ血性心不全、季節性インフルエンザワクチン接種	全身の疼痛、気分不良	平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月22日	回復
1133	10歳未満	男	平成21年11月21日	無	喘息	皮疹	平成21年11月21日	評価不能	非重篤	平成21年11月25日	軽快
1134	60	男	平成21年11月16日	無	狭心症()、両内、糖尿病()、高血圧症	めまい	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	平成21年11月17日	軽快
1135	70	女	平成21年11月25日	無	かにアレルギー、喘息	アナフィラキシー	平成21年11月25日	関連有り	非重篤	不明	回復
1136	20	女	平成21年11月24日	無	無	嘔気、嘔吐、一過性発熱	平成21年11月24日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	回復
1137	80	男	平成21年11月18日	無	基礎疾患：狭心症	発熱	平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月22日	軽快
1138	80	男	平成21年11月18日	無	基礎疾患：糖尿病、慢性	発熱	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月22日	軽快
1139	50	女	平成21年11月18日	無	無	発熱	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	回復
1140	20	女	平成21年11月19日	無	無	嘔気、目がチカチカする感じ	平成21年11月19日	不明	非重篤	不明	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1141	50	女	平成21年10月23日	無	無	発赤、痛痒	平成21年10月24日	不明	非重篤	平成21年10月28日	回復
1142	40	女	平成21年10月21日	無	無	微熱(37.4℃)	平成21年10月21日	不明	非重篤	不明	回復
1143	30	女	平成21年11月5日	有	無	じんましん	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	回復
1144	70	男	平成21年11月20日	無	季節性インフルエンザワクチン11/6接種、基礎疾患：陳旧性結核、肺炎	発熱	平成21年11月22日	評価不能	非重篤	平成21年12月4日	軽快
1145	10歳未満	男	平成21年11月24日	無	季節性インフルエンザワクチン接種、アレルギー：卵、小麦で発疹	じんましん	平成21年11月25日	関連有り	非重篤	平成21年11月25日	軽快
1146	60	男	平成21年11月16日	無	慢性肝炎、胃潰瘍(基礎疾患)	その他の神経障害	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年12月7日	未回復
1147	10	女	平成21年11月21日	有	無	発熱	平成21年11月24日	評価不能	非重篤	平成21年11月25日	軽快
1148	10歳未満	女	平成21年11月25日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年11月25日	関連有り	非重篤	平成21年11月26日	回復
1149	70	女	平成21年11月17日	無		筋痛	平成21年11月17日	関連無し	非重篤	平成21年11月24日	未回復
1150	40	女	平成21年11月2日	無		喉頭痛、咳嗽	平成21年11月8日	不明	非重篤	平成21年11月26日	回復
1151	30	女	平成21年11月2日	無	有り	湿性咳嗽	平成21年11月2日	不明	非重篤	平成21年11月2日	回復
1152	10	男	平成21年11月24日	無	1型糖尿病で加療中、季節性インフルエンザワクチン接種	回転性めまい	平成21年11月25日	関連有り	非重篤	平成21年11月25日	回復
1153	10歳未満	男	平成21年11月19日	無	無	全身性発赤疹	平成21年11月19日	関連有り 評価不能	非重篤	平成21年11月20日	回復
1154	10歳未満	女	平成21年11月19日	無	無	じんましん	平成21年11月20日	関連有り 評価不能	非重篤	平成21年11月21日	回復
1155	10	女	平成21年11月20日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年11月20日	評価不能	非重篤	平成21年11月22日	回復
1156	70	不明	平成21年11月16日	無	拡張型心筋症	頭痛	平成21年11月16日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	軽快
1157	70	女	平成21年11月20日	無	既往：喘息発作(現在はなし)	悪寒	平成21年11月20日	評価不能	非重篤	平成21年11月20日	軽快
1158	40	男	平成21年11月4日	不明	無	軀幹、発疹、発赤	平成21年11月15日	関連有り	非重篤	平成21年11月17日	回復
1159	30	女	平成21年11月20日	無	無	じんましん	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月23日	回復
1160	40	女	平成21年11月12日	無	無	発熱39℃、下肢発疹(両側)	平成21年11月23日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	軽快
1161	20	女	平成21年11月6日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年11月7日	関連有り	非重篤	平成21年11月13日	回復
1162	50	女	平成21年11月20日	無	慢性活動性C型肝炎(インターフェロン治療中)、糖尿病(インシュリン治療中)	皮下出血、興奮	平成21年11月20日	評価不能	非重篤	平成21年11月23日	回復
1163	50	女	平成21年11月10日	無	喘息、季節性インフルエンザワクチン接種	頭痛、呼吸苦、倦怠感、喘息、右上腕：発赤と硬結	平成21年11月10日	関連有り	非重篤	平成21年11月13日	軽快
1164	50	男	平成21年11月13日	無	下喉頭癌の根治手術：甲状腺摘出 小腸による食道再建術：現在セラージ(50)一日2丁服用中	発熱、呼吸苦	平成21年11月14日	評価不能	非重篤	平成21年11月19日	回復
1165	60	男	平成21年11月16日	無	慢性腎不全で、血液透析施行中	じんましん以外の全身の発疹	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月25日	回復
1166	30	女	平成21年11月24日	無	無	倦怠感、発熱、嘔吐	平成21年11月24日	関連有り	非重篤	平成21年11月25日	軽快
1167	10	男	平成21年11月21日	無	アトピー性皮膚炎	頭痛	平成21年11月21日	評価不能	非重篤	平成21年11月22日	回復
1168	10歳未満	女	平成21年11月18日	無	2歳半頃までアレルギー：牛乳、ヨーグルト 以後卵、ゼリーなどアレルギー無し	急性じんましん	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月20日	軽快
1169	30	女	平成21年11月2日	無	無	じんましん	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月16日	軽快
1170	30	女	平成21年11月18日	無	アレルギー：アレグラ セフゾン 基礎疾患：喘息治療中 H21 7~6月メニエールにて治療、入院、加療中	じんましん	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月26日	不明
1171	60	女	平成21年11月25日	無	胆管癌あり	発熱	平成21年11月25日	評価不能	非重篤	平成21年11月26日	不明

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1172	50	女	平成21年11月19日	無	基礎疾患:気管支喘息 季節性インフルエンザワクチン接種 アレルギー反応:バクトラミン、ホスミン、クラビット、アレロア、パキシル	しびれ	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	回復
1173	70	女	平成21年11月24日	無	慢性腎不全	嘔気、顔色不良	平成21年11月25日	評価不能	非重篤	平成21年11月26日	回復
1174	60	男	平成21年11月19日	無	無	その他通常では見られない異常反応	平成21年11月20日	評価不能	非重篤	平成21年11月21日	回復
1175	50	女	平成21年11月18日	無		微熱、倦怠感	平成21年11月19日	不明	非重篤	平成21年11月23日	回復
1176	70	男	平成21年11月17日	無	気管支喘息、糖尿病、心不全	39℃以上の発熱	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	平成21年11月18日	回復
1177	10	男	平成21年11月20日	無	無	嘔気、倦怠感	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月20日	回復
1178	10	男	平成21年11月18日	無	無	嘔気、全身倦怠感	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月19日	回復
1179	30	女	平成21年11月24日	無	小麦粉	アナフィラキシー様症状	平成21年11月24日	評価不能	非重篤	不明	回復
1180	30	男	平成21年11月26日	無	無	嘔気、嘔吐	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年11月26日	回復
1181	10	女	平成21年11月26日	無	基礎疾患:精神運動発達遅滞、てんかん	けいれん	平成21年11月26日	評価不能	非重篤	平成21年11月26日	不明
1182	30	女	平成21年11月18日	無	季節性インフルエンザワクチン接種、皮疹・アレルギー(-)、リトドリン点滴中による皮疹((11/14)	四肢膨疹	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月20日	軽快
1183	40	女	平成21年11月19日	無	関節リウマチ:プレドニゾン、	全身の紅斑	平成21年11月23日	評価不能	非重篤	平成21年11月30日	未回復
1184	10歳未満	女	平成21年11月18日	無	アレルギー:鶏の肉・卵 薬、食品でじんましん	じんましん	平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	回復
1185	10歳未満	男	平成21年11月19日	無	1~2歳時:軽度の卵白アレルギー、現在はなし 毎年の季節性インフルエンザワクチン接種:今まで以上はなかった	発熱	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	回復
1186	10歳未満	女	平成21年11月12日	無	てんかん、脳性麻痺	発熱、けいれん	平成21年11月14日	関連有り	非重篤	平成21年11月15日	回復
1187	80	女	平成21年11月24日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	両上肢の筋肉痛	平成21年11月24日	評価不能	非重篤	平成21年11月26日	回復
1188	50	女	平成21年11月9日	無	無	接種部の発赤	平成21年11月10日	関連有り	非重篤	平成21年11月12日	回復
1189	40	女	平成21年11月9日	無	無	倦怠感	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	平成21年11月16日	回復
1190	30	女	平成21年11月9日	無	無	嘔気、接種部の疼痛	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	平成21年11月16日	回復
1191	40	女	平成21年11月9日	無	無	注射部位の疼痛	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	平成21年11月16日	回復
1192	10歳未満	女	平成21年11月20日	無	無	発熱、多型紅斑様全身性蕁麻疹	平成21年11月22日	関連有り	非重篤	平成21年11月27日	回復
1193	80	女	平成21年11月26日	無	慢性呼吸器疾患	湿疹	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	不明	不明
1194	70	男	平成21年11月26日	無	慢性呼吸器疾患	湿疹	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	不明	不明
1195	70	男	平成21年11月26日	無	慢性呼吸器不全、糖尿病	湿疹	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	不明	不明
1196	70	女	平成21年11月26日	無	喘息	湿疹、血管神経迷走反射	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年11月26日	軽快
1197	70	女	平成21年11月20日	無	糖尿病	多発関節痛(肩・肘・膝、足関節など)	平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月25日	回復
1198	40	女	平成21年11月10日	有	無	右頭部リンパ腫脹、39℃熱	平成21年11月11日	評価不能	非重篤	平成21年11月16日	回復
1199	90	女	平成21年11月17日	無	陳旧性心筋梗塞、高血圧症	低血圧	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	平成21年11月18日	軽快
1200	20	女	平成21年11月18日	無	無	めまい	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月26日	軽快
1201	30	女	平成21年11月19日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1202	40	女	平成21年11月18日	無	僧帽弁置き換え術々後(僧帽弁閉鎖不全及び狭心症)、IgA腎症	脱毛	平成21年11月20日	評価不能	非重篤	平成21年11月25日	未回復
1203	60	女	平成21年11月7日	無	無	頭痛、血圧上昇	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月20日	回復
1204	10歳未満	男	平成21年11月16日	無	ITP	39℃以上の発熱	平成21年11月17日	関連無し	非重篤	平成21年11月21日	回復
1205	60	男	平成21年11月17日	無	糖尿病	扁桃腺炎	平成21年11月20日	評価不能	非重篤	平成21年11月27日	軽快
1206	80	女	平成21年11月19日	無	慢性心不全治療中	嘔吐	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月26日	回復
1207	70	女	平成21年11月17日	無	乾癬	乾癬の悪化により発赤が強まる	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月25日	軽快
1208	70	女	平成21年11月20日	無	全身性エリテマトーデスにステロイド内服中	全身の発疹	平成21年11月21日	評価不能	非重篤	平成21年11月22日	回復
1209	40	男	平成21年11月25日	無	無	頭痛、倦怠感	平成21年11月25日	評価不能	非重篤	平成21年12月9日	回復
1210	30	女	平成21年11月27日	無	無	血管迷走神経反射	平成21年11月27日	評価不能	非重篤	平成21年11月27日	回復
1211	40	男	平成21年11月17日	無	無	前頸部じんましん及び	平成21年11月27日	関連有り	非重篤	不明	不明
1212	30	女	平成21年11月27日	無	大動脈固症候群	アナフィラキシー	平成21年11月27日	評価不能	非重篤	平成21年11月27日	回復
1213	40	女	平成21年11月27日	無	既往:気管支喘息	血管迷走神経反射	平成21年11月27日	関連有り	非重篤	不明	軽快
1214	50	女	平成21年11月26日	無	無	局所・顔面発赤	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年11月26日	回復
1215	10歳未満	女	平成21年11月24日	無	MRIにて発熱、発疹有り	じんましん	平成21年11月24日	評価不能	非重篤	平成21年11月27日	軽快
1216	10歳未満	女	平成21年11月26日	無	有り	異常腫脹	平成21年11月27日	関連有り	非重篤	不明	不明
1217	70	男	平成21年11月26日	無		じんましん	平成21年11月27日	関連無し	非重篤	不明	不明
1218	40	男	平成21年11月21日	無	季節性インフルエンザワクチン接種、基礎疾患:気管支喘息	喘息発作	平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月28日	回復
1219	80	女	平成21年11月19日	無	基礎疾患:肺線維症	発熱、悪寒、嘔吐	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月20日	回復
1220	60	女	平成21年11月26日	無	気管支喘息:加療中(フルタイド、テオロング、オンコントロールできていた)	気管支喘息発作誘発	平成21年11月27日	評価不能	非重篤	平成21年11月28日	回復
1221	10	男	平成21年11月20日	無	小児喘息	心悸亢進、平衡感覚障害	平成21年11月20日	評価不能	非重篤	平成21年11月20日	軽快
1222	10歳未満	男	平成21年11月27日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	紅斑	平成21年11月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月27日	回復
1223	80	女	平成21年11月25日	無	慢性気管支炎	発熱	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年11月28日	回復
1224	70	女	平成21年11月24日	無	基礎疾患:慢性心不全	接種部周囲の腫脹、関節痛(肩、肘)	平成21年11月25日	関連有り 評価不能	非重篤	不明	軽快
1225	40	女	平成21年11月27日	無	優先接種対象証明書:呼吸	呼吸困難	平成21年11月27日	評価不能	非重篤	平成21年11月30日	不明
1226	10歳未満	男	平成21年11月22日	無	ポリオ(10/22)	じんましん	平成21年11月23日	評価不能	非重篤	平成21年11月26日	回復
1227	50	女	平成21年11月14日	無	無	発疹	平成21年11月15日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	回復
1228	10歳未満	女	平成21年11月27日	無	無	低血圧(自律神経反射疑)	平成21年11月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月27日	回復
1229	40	女	平成21年11月20日	無	卵など食品アレルギー	じんましん、ふらつき	平成21年11月22日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	回復
1230	30	女	平成21年11月29日	無	季節性インフルエンザワクチン接種後:呼吸困難、頭痛 局所の腫脹、発赤、疼痛。喘息は偶発性かどうか分からないので注射		平成21年11月29日	関連有り	非重篤	平成21年11月29日	軽快
1231	40	女	平成21年11月16日	無		頭痛	平成21年11月16日	不明	非重篤	平成21年11月20日	回復
1232	10歳未満	女	平成21年11月26日	無	無	発熱	平成21年11月26日	評価不能	非重篤	平成21年11月28日	回復

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1233	60	女	平成21年11月12日	無	無	のど痛、水鼻	平成21年11月13日	関連有り	非重篤	平成21年11月15日	回復
1234	40	女	平成21年11月29日	無	無	じんましん	不明	関連有り	非重篤	不明	不明
1235	10歳未満	女	平成21年11月27日	無	無	じんましん	平成21年11月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月30日	軽快
1236	10歳未満	女	平成21年11月19日	無	無	発熱	平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月27日	軽快
1237	20	女	平成21年11月19日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年11月22日	評価不能	非重篤	平成21年11月23日	回復
1238	60	男	平成21年10月28日	無	無	頭痛、寒気、筋肉痛、虚脱感	平成21年10月28日	不明	非重篤	不明	回復
1239	60	女	平成21年10月29日	無	無一有(季節性インフルエンザワクチン接種3週間前)	なし(軽度発赤のみ)	平成21年11月1日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
1240	30	男	平成21年11月5日	不明	無	関節痛	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	不明	回復
1241	30	男	平成21年11月4日	不明	無	下痢	平成21年11月4日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	回復
1242	40	女	平成21年11月6日	無	無	発熱(38℃)鼻水	平成21年11月7日	関連有り	非重篤	不明	回復
1243	50	女	平成21年10月27日	不明	無	発赤	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	不明	回復
1244	60	女	平成21年11月6日	不明	無	両頬部発赤、痛痒有り	不明	不明	非重篤	不明	回復
1245	50	女	平成21年11月6日	不明	無	動悸	平成21年11月6日	不明	非重篤	不明	回復
1246	60	男	平成21年11月24日	無	無	発熱	平成21年11月24日	評価不能	非重篤	平成21年11月25日	回復
1247	10歳未満	男	平成21年11月27日	無	一週間前に水疱瘡	肘を超える局所の異常腫脹	平成21年11月28日	関連有り	非重篤	平成21年11月30日	軽快
1248	30	女	平成21年11月26日	無	無	発疹(じんましん)	平成21年11月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月30日	未回復
1249	70	女	平成21年11月25日	無	無	全身の痒疹	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年11月30日	軽快
1250	50	女	平成21年11月24日	無	肺線維症	気管支喘息発作	不明	関連有り	非重篤	平成21年11月29日	回復
1251	10歳未満	女	平成21年11月25日	無	無	急性じんましん	平成21年11月25日	関連有り	非重篤	平成21年11月29日	回復
1252	10歳未満	男	平成21年11月24日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	39℃以上の発熱	平成21年11月26日	評価不能	非重篤	平成21年11月29日	回復
1253	80	女	平成21年11月25日	無	認知症、便秘症、皮膚痛痒症、骨粗鬆症、(てんかん発作疑H15.7.21~26)、10/28季節性インフルエ	発熱39℃、下肢発疹(両側)悪寒戦りつ、	平成21年11月26日	関連無し	非重篤	平成21年11月27日	軽快
1254	80	女	平成21年11月27日	無	無	じんましん	平成21年11月28日	関連有り	非重篤	平成21年12月8日	回復
1255	10歳未満	男	平成21年11月16日	無	無	肘を超える局所の異常腫脹	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	平成21年11月26日	回復
1256	30	女	平成21年11月20日	無	無	じんましん	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	回復
1257	10歳未満	男	平成21年11月24日	無	アレルギー性鼻炎、気管支喘息	発疹	平成21年11月27日	不明	非重篤	平成21年11月30日	軽快
1258	30	女	平成21年11月21日	不明	無	四肢筋肉痛、感覚異常	平成21年11月21日	評価不能	非重篤	平成21年11月23日	回復
1259	10	女	平成21年11月30日	無	ミトコンドリア病	頭痛、倦怠感	平成21年11月30日	関連有り	非重篤	不明	不明
1260	60	女	平成21年11月16日	無	糖尿病	上肢発赤疹	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	平成21年11月17日	回復
1261	10歳未満	男	平成21年11月27日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	けいれん発作	平成21年11月28日	評価不能	非重篤	平成21年11月28日	回復
1262	30	女	平成21年10月26日	無	無	頭痛	平成21年10月27日	不明	非重篤	不明	不明
1263	30	女	平成21年10月26日	無	無	頭痛	平成21年10月26日	不明	非重篤	不明	不明
1264	50	女	平成21年10月29日	無	関節リウマチ(現在無治療、症状なし)	顔面紅潮、熱発	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重症度	転帰日	転帰内容
1265	80	男	平成21年10月29日	無	高血圧症	微熱KT37.2℃	平成21年10月29日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
1266	60	女	平成21年10月27日	無	骨粗鬆症にて内服中	寒気、顔面ほてり、紅潮	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
1267	20	女	平成21年11月25日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	頭痛	平成21年11月26日	評価不能	非重篤	不明	未回復
1268	30	男	平成21年11月18日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	頭痛	平成21年11月19日	不明	非重篤	不明	未回復
1269	70	男	平成21年11月27日	無	基礎疾患:心不全、陳旧性心筋梗塞	じんましん	平成21年11月28日	関連有り	非重篤	平成21年11月30日	回復
1270	60	女	平成21年11月25日	無	高血圧、気管支喘息	じんましん	平成21年11月25日	関連有り	非重篤	平成21年11月25日	軽快
1271	10歳未満	男	平成21年11月14日	無	無	吐き気、腹痛	平成21年11月14日	不明	非重篤	平成21年11月14日	回復
1272	10歳未満	女	平成21年11月11日	無	無	発熱、軽度の腹痛	平成21年11月12日	評価不能	非重篤	平成21年11月15日	回復
1273	50	女	平成21年11月26日	無	アレルギー:花粉(RA落ち着いている)	皮疹両下肢	平成21年11月27日	評価不能	非重篤	平成21年12月1日	回復
1274	70	男	平成21年11月18日	無	肺気腫	じんましん	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年12月1日	回復
1275	40	女	平成21年11月17日	無	無	発疹	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	平成21年11月19日	回復
1276	10歳未満	男	平成21年11月25日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年11月27日	関連無し	非重篤	平成21年12月1日	未回復
1277	10歳未満	女	平成21年11月29日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年11月29日	評価不能	非重篤	平成21年12月1日	回復
1278	70	男	平成21年11月17日	無	肺気腫、慢性心不全	下痢	平成21年11月19日	評価不能	非重篤	平成21年11月20日	回復
1279	70	女	平成21年11月30日	無	狭心症(PTCAの既往あり)	狭心痛	平成21年12月1日	評価不能	非重篤	平成21年12月1日	軽快
1280	70	女	平成21年11月14日	無	気管支喘息	39℃以上の発熱	平成21年11月15日	評価不能	非重篤	平成21年11月17日	軽快
1281	70	男	平成21年11月24日	無	後腹膜線維症	発熱	平成21年11月25日	関連有り	非重篤	平成21年12月1日	未回復
1282	20	女	平成21年11月27日	無		A型インフルエンザ	平成21年11月29日	評価不能	非重篤	不明	未回復
1283	50	男	平成21年11月27日	無		細菌感染症の疑い	平成21年11月29日	評価不能	非重篤	不明	不明
1284	10	男	平成21年11月19日	無	気管支喘息、季節性インフルエンザワクチン接種	発熱(39℃以上)	平成21年11月20日	評価不能	非重篤	平成21年11月25日	回復
1285	10歳未満	男	平成21年11月17日	無	季節性インフルエンザワクチン接種1回目	じんましん	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年12月1日	軽快
1286	40	女	平成21年10月27日	無	エビ:アナフィラキシー起こしたことあり	血管迷走神経反射?	平成21年10月27日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	回復
1287	10歳未満	男	平成21年11月21日	無	脳性マヒ有り、下肢痙直強い。季節性インフルエンザワクチン接種。過去ワクチン接種でも腫れやすかった	肘を越える局所の異常腫脹	平成21年11月22日	関連有り	非重篤	平成21年11月28日	回復
1288	10歳未満	女	平成21年11月17日	無	気管支喘息	発熱	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	不明	不明
1289	10歳未満	男	平成21年11月14日	無	アレルギー:卵(軽度)加工品、つなぎは許可している	発熱	平成21年11月15日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	軽快
1290	40	男	平成21年11月6日	無	既往:じんましん	肝機能障害、発疹、関節痛、腫脹	平成21年11月9日	評価不能	非重篤	平成21年11月26日	軽快
1291	20	女	平成21年11月6日	不明	卵:じんましん	じんましん(四管浮腫)	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月8日	回復
1292	10歳未満	女	平成21年11月27日	無	気管支喘息、季節性インフルエンザワクチン	嘔吐、発熱	平成21年11月28日	関連無し	非重篤	不明	不明
1293	70	男	平成21年11月9日	無	無	下痢	平成21年11月10日	評価不能	非重篤	平成21年11月11日	回復
1294	50	男	平成21年11月9日	無	無	口内炎	平成21年11月10日	評価不能	非重篤	平成21年11月11日	回復
1295	50	男	平成21年11月9日	無	無	気分不快	平成21年11月9日	評価不能	非重篤	平成21年11月10日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1296	30	女	平成21年11月5日	有	無	発熱	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	回復
1297	70	女	平成21年11月16日	無	心房中隔欠損症(非手術症例)で高度の肺高血圧有り	中毒疹	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	平成21年12月1日	回復
1298	10歳未満	男	平成21年11月25日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年11月27日	関連無し	非重篤	平成21年12月1日	未回復
1299	80	男	平成21年11月12日	無	肺炎腫。難治性肺炎にて入院加療中で抗生剤投与を行っていたが、インフルエンザの危険性と症状(近々転院)によりワクチン接種行う。	呼吸困難増悪、発熱(37.4℃)	平成21年11月13日	関連無し	非重篤	平成21年11月26日	回復
1300	30	女	平成21年11月24日	無	高血圧	じんましん	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年11月28日	回復
1301	50	女	平成21年11月18日	無	気管支喘息、高脂血症	喘息発作増悪、耳鳴り、ふらつき	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	不明	未回復
1302	20	男	平成21年11月30日	無	無	喘息発作	平成21年12月1日	評価不能	非重篤	不明	不明
1303	20	女	平成21年12月1日	無	無	発疹	平成21年12月2日	評価不能	非重篤	不明	不明
1304	30	女	平成21年11月2日	無	無	手のしびれ、口唇の腫れ、局所異常腫脹	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月5日	回復
1305	30	女	平成21年11月17日	無	不明	自家感受性皮膚炎の増悪	平成21年11月30日	関連有り	非重篤	不明	不明
1306	70	女	平成21年11月20日	無	糖尿病、慢性関節リウマチ	頭痛他	平成21年11月21日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	回復
1307	20	女	平成21年11月24日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱、頭痛、咳嗽	平成21年11月24日	評価不能	非重篤	平成21年11月27日	回復
1308	40	女	平成21年11月24日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年11月27日	評価不能	非重篤	平成21年11月30日	軽快
1309	30	男	平成21年11月25日	無	無	倦怠感、気分不快	平成21年11月28日	評価不能	非重篤	平成21年12月1日	軽快
1310	80	男	平成21年11月26日	無	糖尿病、心房細動	皮膚壊死、皮下血栓	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年12月2日	未回復
1311	10歳未満	女	平成21年11月28日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年11月30日	関連無し	非重篤	不明	不明
1312	10歳未満	女	平成21年11月18日	無	気管支喘息	じんましん	平成21年11月24日	関連有り	非重篤	平成21年11月30日	回復
1313	80	男	平成21年11月18日	無	COPD、慢性気管支炎 在宅酸素療法	頭重感、倦怠感、呼吸苦	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年12月2日	不明
1314	10歳未満	男	平成21年11月30日	無	糖尿病Ⅰa	肘を越える局所の異常腫脹	平成21年12月1日	関連有り	非重篤	不明	不明
1315	50	女	平成21年11月17日	無	アレルギー	じんましん	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月27日	回復
1316	80	女	平成21年11月18日	無	無	血圧上昇	平成21年11月18日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	回復
1317	30	女	平成21年10月28日	無	無	類乾癬様皮疹	平成21年11月3日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	軽快
1318	10歳未満	男	平成21年11月26日	無	無	発熱、鼻汁、咳嗽	平成21年11月27日	評価不能	非重篤	不明	不明
1319	60	女	平成21年11月28日	無	糖尿病	発熱	平成21年11月30日	評価不能	非重篤	平成21年12月1日	回復
1320	10歳未満	男	平成21年11月28日	無	無	嘔吐、発熱	平成21年11月29日	評価不能	非重篤	不明	不明
1321	10歳未満	女	平成21年11月26日	無	熱性けいれん	発熱	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年11月27日	回復
1322	10	女	平成21年11月6日	無	無	じんましん、かゆみ	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月7日	回復
1323	80	女	平成21年11月27日	無	糖尿病(インスリン使用中)、脳梗塞(認知症有り)	じんましん、発熱	平成21年11月29日	評価不能	非重篤	平成21年12月1日	軽快
1324	70	女	平成21年11月17日	無	有り	アナフィラキシー	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	平成21年11月17日	軽快
1325	70	女	平成21年11月16日	無	気管支喘息	その他の異常反応	平成21年11月17日	評価不能	非重篤	平成21年11月20日	回復
1326	10歳未満	女	平成21年12月1日	無	てんかん		平成21年12月1日	評価不能	非重篤	平成21年12月2日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1327	40	女	平成21年11月21日	無	基礎疾患:MCTD	じんましん	平成21年11月23日	関連有り	非重篤	平成21年11月23日	回復
1328	30	女	平成21年10月29日	有	予防接種を受け具合が悪くなったことあり	ギラン・バレー症候群疑い	平成21年11月13日	関連有り	非重篤	平成21年12月9日	未回復
1329	20	女	平成21年11月20日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	多形滲出性紅斑	平成21年11月25日	評価不能	非重篤	不明	未回復
1330	30	男	平成21年11月5日	無	無	アカンジア、過行、嘔吐	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	平成21年11月11日	回復
1331	30	女	平成21年11月5日	無	無	発熱	平成21年11月9日	評価不能	非重篤	平成21年11月11日	回復
1332	20	女	平成21年11月25日	無	接種当日:喉の痛み、下痢ぎみ	接種部位の発赤、腫脹	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年12月2日	回復
1333	60	男	平成21年11月17日	無	糖尿病	じんましん	平成21年11月20日	不明	非重篤	不明	未回復
1334	10歳未満	女	平成21年11月29日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年12月2日	関連無し	非重篤	不明	不明
1335	30	男	平成21年11月5日	無	無	肝機能異常	平成21年11月5日	関連有り	非重篤	不明	不明
1336	30	女	平成21年10月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種 基礎疾患:SLE、橋本病、シェーグレン症候群	下痢、甲状腺機能亢進	平成21年10月27日	評価不能	非重篤	不明	未回復
1337	10歳未満	男	平成21年11月26日	無	気管支喘息加療中、季節性インフルエンザワクチン接種(防腐剤-でも)で腫脹	肘を越える局所の異常腫脹	平成21年11月27日	関連有り	非重篤	平成21年12月2日	回復
1338	10歳未満	男	平成21年12月2日	無	季節性インフルエンザワクチン接種:異常なし	じんましん、喘息	平成21年12月2日	関連有り	非重篤	平成21年12月2日	回復
1339	70	男	平成21年11月25日	無	無	倦怠感	平成21年11月27日	評価不能	非重篤	平成21年11月28日	回復
1340	30	女	平成21年11月19日	無	気管支喘息、季節性インフルエンザワクチン接種	局所腫脹発赤、発熱	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月23日	回復
1341	10歳未満	女	平成21年11月22日	有	気管支喘息	血管迷走神経反射	平成21年11月22日	関連無し	非重篤	平成21年11月22日	回復
1342	80	女	平成21年11月18日	無	気管支喘息	全身倦怠感	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月20日	回復
1343	10歳未満	女	平成21年11月27日	無	無	じんましん以外の四肢の発疹	平成21年11月29日	評価不能	非重篤	不明	未回復
1344	10歳未満	男	平成21年11月27日	無	有り	39℃以上の発熱	平成21年11月28日	関連有り	非重篤	平成21年12月2日	回復
1345	40	女	平成21年10月31日	無	喘息	発熱、関節痛、喘息症状	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月6日	回復
1346	10歳未満	男	平成21年11月30日	無	気管支喘息	発熱	平成21年12月1日	関連有り	非重篤	不明	不明
1347	10歳未満	男	平成21年11月19日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月20日	回復
1348	10歳未満	男	平成21年11月27日	無	気管支喘息	じんましん以外の発疹	平成21年12月3日	関連有り 評価不能	非重篤	平成21年12月3日	回復
1349	10歳未満	男	平成21年11月16日	無	小児喘息でシングレア服用中 季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年11月16日	不明	非重篤	平成21年11月18日	回復
1350	40	女	平成21年12月2日	無	無	膝、腰倦怠感	平成21年12月2日	評価不能	非重篤	平成21年12月8日	未回復
1351	30	女	平成21年10月28日	無	無	アレルギー反応	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
1352	30	女	平成21年10月28日	無	無	アレルギー反応	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年10月29日	回復
1353	30	女	平成21年11月10日	不明	無	じんましん(胸、頸部)	平成21年11月10日	評価不能	非重篤	平成21年11月11日	回復
1354	20	女	平成21年10月30日	無	無	アレルギー反応	平成21年10月31日	評価不能	非重篤	平成21年10月31日	回復
1355	30	女	平成21年10月29日	無	無	動悸	平成21年10月29日	評価不能	非重篤	平成21年10月30日	回復
1356	30	女	平成21年11月10日	無	無	大腿部に約10センチの膨隆疹	平成21年11月10日	不明	非重篤	平成21年11月11日	回復
1357	20	女	平成21年10月30日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱38.3℃	平成21年11月1日	評価不能	非重篤	平成21年11月5日	回復
1358	60	男	平成21年11月20日	不明	無	じんましん	平成21年11月23日	関連有り	非重篤	平成21年11月25日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1359	20	女	平成21年10月27日	無	無	アナフィラキシー	平成21年10月28日	評価不能	非重篤	平成21年10月30日	回復
1360	50	女	平成21年10月30日	無	無	アナフィラキシー	平成21年10月31日	評価不能	非重篤	平成21年11月15日	軽快
1361	50	女	平成21年10月30日	無	無	アナフィラキシー	平成21年10月31日	評価不能	非重篤	平成21年11月30日	回復
1362	90	女	平成21年11月24日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	アナフィラキシー	平成21年11月24日	評価不能	非重篤	平成21年12月3日	回復
1363		男	平成21年12月2日	無	気管支喘息、既往:じんましん、ポルタレンツ、ロキソニンでじんましん	全身の発疹(痛痒をとまう)	平成21年12月2日	関連有り	非重篤	平成21年12月2日	回復
1364	30	女	平成21年11月2日	不明	季節性インフルエンザワクチン接種、既往:1歳時にひきつけ(発熱あり)	頭痛	平成21年11月2日	評価不能	非重篤	平成21年11月3日	軽快
1365	10歳未満	男	平成21年11月24日	無	11/7と母がインフルエンザA、季節性インフルエンザワクチン接種、既往:肥厚性幽門狭窄症	じんましん	平成21年11月24日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	回復
1366	60	男	平成21年11月25日	無	現在腫れがあるが特別なことではない	末梢神経障害	平成21年11月26日	評価不能	非重篤	平成21年12月3日	未回復
1367	20	女	平成21年12月2日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	全身の痛痒感	平成21年12月2日	評価不能	非重篤	不明	不明
1368	60	男	平成21年11月16日	不明	気管支喘息	右橈骨神経麻痺	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	不明	不明
1369	30	女	平成21年10月29日	有	無	39℃以上の発熱	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
1370	60	男	平成21年10月20日	無	無	薬疹	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
1371	60	女	平成21年10月20日	無	無	接種部位発赤、微熱	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月21日	回復
1372	10歳未満	男	平成21年11月27日	無	昨年の季節性インフルエンザワクチン接種でも同様に腫脹有り 日本脳炎接種歴 ネフローゼ症候群	肘を越える局所の異常腫脹	平成21年11月28日	関連有り	非重篤	平成21年11月30日	未回復
1373	50	女	平成21年11月25日	無	無	感冒症状、接種部:腫脹、発赤	平成21年11月25日	関連有り 評価不能	非重篤	不明	未回復
1374	20	女	平成21年11月25日	無	無	神経障害、腫脹	平成21年11月25日	関連有り	非重篤	平成21年11月30日	軽快
1375	10歳未満	男	平成21年12月1日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年12月2日	評価不能	非重篤	平成21年12月3日	回復
1376	10歳未満	男	平成21年11月27日	無	無	(ワクチン接種後)高熱持続	平成21年11月28日	評価不能	非重篤	平成21年12月2日	回復
1377	10歳未満	女	平成21年11月28日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	39℃以上の発熱、けいれん	平成21年12月3日	評価不能	非重篤	不明	不明
1378	20	女	平成21年11月30日	無	無	ギランバレー症候群	平成21年12月3日	関連有り	非重篤	不明	不明
1379	10歳未満	女	平成21年12月1日	無	新型インフルエンザワクチン接種(11/24:デンカ生研(0.2接種)、S1-B、そのときは副反応無し)	発熱	平成21年12月2日	関連有り	非重篤	平成21年12月5日	回復
1380	30	女	平成21年11月18日	無	アレルギー	じんましん	平成21年11月18日	不明	非重篤	平成21年11月19日	回復
1381	60	男	平成21年12月2日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	不明	不明	非重篤	不明	軽快
1382	70	女	平成21年11月17日	無	無:過去のインフルエンザで異常なし	水疱性発疹症	平成21年11月19日	評価不能	非重篤	平成21年12月3日	未回復
1383	10歳未満	女	平成21年11月30日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年12月3日	評価不能	非重篤	不明	不明
1384	10歳未満	女	平成21年11月24日	無	季節性インフルエンザワクチン接種:2回	じんましん	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年12月1日	回復
1385	40	女	平成21年11月10日	無	無	リンパ節腫脹、浮腫、単純疱疹	平成21年11月12日	関連有り	非重篤	平成21年12月1日	軽快
1386	80	男	平成21年11月30日	無	甲状腺機能低下症、狭心症、前立腺癌	発熱	平成21年12月2日	評価不能	非重篤	不明	不明
1387	30	女	平成21年11月26日	無	無	下痢、嘔吐	平成21年11月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月28日	回復
1388	40	女	平成21年11月13日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	動悸、悪心	平成21年11月13日	関連有り	非重篤	平成21年11月13日	回復
1389	60	女	平成21年11月16日	無	無	全身倦怠感	平成21年11月16日	関連有り	非重篤	平成21年11月18日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1390	40	女	平成21年11月25日	無	無	頭痛、筋肉痛	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年11月29日	回復
1391	20	女	平成21年11月25日	無	無	頭痛、筋肉痛	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年11月29日	回復
1392	10歳未満	男	平成21年11月30日	無	卵、牛乳アレルギー(IgE-RASTクラス3)	発熱、せん妄	平成21年12月1日	評価不能	非重篤	平成21年12月2日	回復
1393	40	女	平成21年11月5日	無	無	左前腕尺側神経炎	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	不明	未回復
1394	50	男	平成21年12月3日	無	基礎疾患:関節リウマチ	発汗、気分不良	平成21年12月3日	関連有り	非重篤	平成21年12月3日	軽快
1395	80	男	平成21年11月27日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	39℃以上の発熱	平成21年11月28日	評価不能	非重篤	平成21年12月4日	回復
1396	60	女	平成21年11月25日	無		じんましん様発疹、全身のチクチク感	平成21年11月25日	評価不能	非重篤	平成21年12月4日	軽快
1397	10歳未満	女	平成21年12月4日	無	てんかん、季節性インフルエンザワクチン接種	呼吸困難、全身倦怠	平成21年12月4日	評価不能	非重篤	平成21年12月4日	回復
1398	10歳未満	男	平成21年12月4日	無	気管支喘息	喘息発作	平成21年12月4日	評価不能	非重篤	平成21年12月4日	回復
1399	50	女	平成21年11月16日	無	無	下痢症	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月19日	回復
1400	10歳未満	女	平成21年11月30日	有	無	臍幹(主に臀部)の発赤疹	平成21年12月2日	関連有り	非重篤	平成21年12月4日	未回復
1401	10歳未満	女	平成21年11月11日	無		顔面神経麻痺	平成21年11月11日	関連無し	非重篤	平成21年11月15日	未回復
1402	10歳未満	女	平成21年11月25日	無	喘息	アナフィラキシー	平成21年11月25日	関連有り	非重篤	平成21年11月25日	軽快
1403	10歳未満	男	平成21年11月25日	無	薬や食品によるじんましん	アナフィラキシー	平成21年11月25日	関連有り	非重篤	平成21年11月25日	軽快
1404	20	女	平成21年11月20日	無	無	発熱	平成21年11月21日	評価不能	非重篤	平成21年11月22日	回復
1405	50	女	平成21年12月2日	無	慢性心不全	じんましん	平成21年12月3日	関連有り	非重篤	不明	不明
1406	60	女	平成21年12月3日	無	ロキソニン錠、ボルタレン錠にてアレルギー歴あり	軽度アナフィラキシー反応	平成21年12月3日	関連有り	非重篤	平成21年12月3日	軽快
1407	30	女	平成21年11月11日	不明		発熱、肺炎	平成21年11月12日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	軽快
1408	10歳未満	男	平成21年11月20日	無	無	発疹	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	軽快
1409	10歳未満	女	平成21年12月4日	無	季節性インフル	じんましん	平成21年12月4日	評価不能	非重篤	不明	不明
1410	10歳未満	男	平成21年11月30日	有	急性リンパ性白血病 化学療法中	じんましん	平成21年11月30日	関連有り	非重篤	平成21年12月2日	回復
1411	10	男	平成21年11月28日	無	乳児期より食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息。ステロイド吸入療法でコントロール良好	39℃以上の発熱	平成21年11月29日	関連有り	非重篤	平成21年11月30日	回復
1412	60	男	平成21年10月29日	無	喘息、季節性インフルエンザワクチン接種	悪寒、戦慄、発熱、嘔吐	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年10月31日	回復
1413	10歳未満	女	平成21年12月4日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	同部腫脹、発熱	平成21年12月4日	関連有り(腫脹)	非重篤	不明	不明
1414	10歳未満	男	平成21年12月6日	無	H19:季節性インフルエンザワクチン接種により、じんましん出現	じんましん	平成21年12月6日	関連有り	非重篤	平成21年12月6日	回復
1415	10歳未満	男	平成21年11月19日	無	季節性インフルエンザワクチン接種 MRで発疹、熱合った	嘔吐	平成21年11月20日	関連有り	非重篤	平成21年11月20日	回復
1416	30	女	平成21年11月11日	無	アレルギー反応:スギ花粉、香辛料	その他通常では見られない異常反応	平成21年11月11日	評価不能	非重篤	不明	不明
1417	60	女	平成21年12月2日	無	無	じんましん	平成21年12月2日	関連有り	非重篤	平成21年12月2日	回復
1418	80	女	平成21年12月4日	無	気管支喘息	39℃以上の発熱	平成21年12月7日	関連有り	非重篤	平成21年12月7日	軽快
1419	50	女	平成21年11月25日	無	無	アナフィラキシー	平成21年11月25日	関連有り	非重篤	平成21年12月1日	回復
1420	40	女	平成21年11月6日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年11月6日	関連有り	非重篤	平成21年11月8日	回復
1421	10歳未満	女	平成21年11月21日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱(38℃台)	平成21年11月22日	評価不能	非重篤	平成21年11月30日	回復

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1422	10歳未満	女	平成21年11月21日	無	季節性インフルエンザワクチン接種(2回目)基礎疾患なし。	接種箇所腫脹、発赤	平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	回復
1423	20	女	平成21年12月4日	無	無	接種部位の発赤、鼻汁、倦怠感	平成21年12月5日	関連有り	非重篤	平成21年12月8日	未回復
1424	30	女	平成21年12月4日	無	有り→アレルギー性皮膚炎	接種部位の発赤、硬結	平成21年12月5日	関連有り	非重篤	平成21年12月8日	未回復
1425	60	男	平成21年11月26日	無	脳出血術後	意識混濁	平成21年11月26日	評価不能	非重篤	不明	回復
1426	80	男	平成21年11月19日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	熱感	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	回復
1427	20	女	平成21年11月30日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年12月1日	関連有り	非重篤	平成21年12月2日	回復
1428	30	男	平成21年11月17日	無	無	発熱(39.2℃)	平成21年11月17日	関連有り	非重篤	平成21年11月24日	回復
1429	40	男	平成21年11月13日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	軽度ショック様症状、呼吸障害	平成21年11月13日	関連有り	非重篤	平成21年11月14日	回復
1430	60	男	平成21年11月24日	無		39℃以上の発熱	平成21年11月26日	評価不能	非重篤	平成21年12月1日	回復
1431	70	女	平成21年11月18日	無	急性肺炎:現在は仮性のう胞を残しているものの治療、定期的に大学病院受診中。	肝機能障害	平成21年11月19日	関連有り	非重篤	不明	未回復
1432	30	女	平成21年12月4日	無	季節性インフルエンザワクチン接種:このときは問題なし	両目周囲の皮膚の発赤、腫脹、痛痒	平成21年12月4日	関連有り	非重篤	平成21年12月4日	回復
1433	70	男	平成21年11月19日	無	洞不全症候群、心不全	その他の神経障害	平成21年11月21日	評価不能	非重篤	平成21年11月26日	回復
1434	80	男	平成21年11月25日	無	便秘にてセンノサイドで使用中	下痢(軟便)	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年11月27日	回復
1435	20	女	平成21年12月7日	無	喘息、季節性インフルエンザワクチン接種:局部がいつも かゆみ(+)	アナフィラキシー(軽度)	平成21年12月7日	関連有り	非重篤	平成21年12月7日	軽快
1436	10歳未満	男	平成21年11月20日	無	無	熱発	平成21年11月20日	評価不能	非重篤	平成21年11月21日	軽快
1437	10歳未満	女	平成21年12月5日	無	11/21季節性インフルエンザワクチンと新型インフルエンザワクチン同時接種	じんましん	平成21年12月5日	関連有り	非重篤	平成21年12月7日	回復
1438	50	女	平成21年11月20日	無	基礎疾患:、肝硬変、糖尿病	発熱、下痢	平成21年11月21日	評価不能	非重篤	平成21年12月4日	回復
1439	10歳未満	女	平成21年12月3日	無	無	局所発赤 腫脹 熱感 疼痛	平成21年12月4日	評価不能	非重篤	不明	不明
1440	10歳未満	女	平成21年11月28日	無	アレルギー	皮疹	平成21年11月28日	関連有り	非重篤	平成21年12月5日	回復
1441	10歳未満	男	平成21年12月1日	無	気管支喘息	39℃以上の発熱	平成21年12月3日	評価不能	非重篤	平成21年12月7日	回復
1442	10歳未満	男	平成21年12月3日	無	季節性インフルエンザワクチン接種:一ヶ月以上経過しているが同院で行う	じんましん	平成21年12月4日	不明	非重篤	平成21年12月7日	未回復
1443	10歳未満	女	平成21年11月18日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年11月19日	評価不能	非重篤	平成21年11月19日	回復
1444	10歳未満	男	平成21年12月3日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年12月4日	評価不能	非重篤	平成21年12月7日	回復
1445	30	女	平成21年10月23日	無	無	発疹	平成21年10月23日	関連有り	非重篤	平成21年10月27日	軽快
1446	40	女	平成21年10月20日	無	無	局所の腫脹、かゆみ	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月24日	軽快
1447	20	女	平成21年12月3日	無	アレルギー性鼻炎	全身倦怠感、めまい	平成21年12月3日	関連有り	非重篤	平成21年12月4日	回復
1448	10歳未満	男	平成21年12月7日	無	1回目の新型インフルエンザワクチン接種では軽度の発赤、硬結あり	局所の異常腫脹	平成21年12月8日	関連有り	非重篤	平成21年12月8日	未回復
1449	30	女	平成21年11月5日	無	無		平成21年11月5日	関連有り	非重篤	不明	不明
1450	10歳未満	男	平成21年12月7日	有	11/14季節性・新型インフルエンザワクチン1回目同時接種	不明	平成21年12月7日	評価不能	非重篤	平成21年12月8日	回復
1451	20	女	平成21年12月5日	無	無	不詳	平成21年12月6日	関連有り	非重篤	平成21年12月8日	回復
1452	70	男	平成21年11月24日	無	アレルギー歴有り	吐き気	平成21年11月24日	評価不能	非重篤	平成21年11月24日	回復

NO.	年齢 (代)	性別	接種日	同時 接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による 因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1453	10歳未満	女	平成21年12月5日	無	アレルギー:ハウスダスト、ダニ、猫、犬、スギ、ヒノキ 他院:小児科(すぎた子どもクリニック)紹介にて接種する	嘔吐、発熱	平成21年12月7日	関連有り	非重篤	平成21年12月8日	回復
1454	70	女	平成21年11月26日	無	季節性インフルエンザワクチン接種、合併症:糖尿病:内服薬投与中	発疹	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年12月7日	軽快
1455	20	女	平成21年10月28日	無	無	両下肢の発疹	平成21年10月28日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
1456	20	女	平成21年10月30日	無	無	頭痛、倦怠感	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
1457	20	女	平成21年10月30日	無	無	倦怠感、感冒症状、頭痛	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	回復
1458	20	女	平成21年10月30日	無	無	頭痛、倦怠感	平成21年10月31日	関連有り	非重篤	平成21年11月2日	回復
1459	20	女	平成21年10月30日	無	無	発熱	平成21年11月1日	不明	非重篤	平成21年11月1日	回復
1460	20	女	平成21年10月30日	無	無	倦怠感、喉頭痛、頭痛、発熱	平成21年11月2日	評価不能	非重篤	平成21年11月5日	軽快
1461	20	女	平成21年11月2日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	発熱	平成21年11月2日	関連有り	非重篤	平成21年11月14日	回復
1462	20	女	平成21年11月2日	無	無	頭痛、倦怠感	平成21年11月3日	不明	非重篤	平成21年11月3日	回復
1463	20	女	平成21年11月2日	無	無	リンパ節腫脹、倦怠感、頭痛	平成21年11月3日	関連有り	非重篤	平成21年11月4日	回復
1464	10歳未満	女	平成21年12月5日	無	無	39℃以上の発熱	平成21年12月5日	関連有り	非重篤	平成21年12月7日	回復
1465	80	女	平成21年11月21日	無	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	顔面紅潮、霧現	平成21年11月21日	関連有り	非重篤	平成21年11月21日	回復
1466	30	女	平成21年12月4日	無		アナフィラキシー	不明	関連有り	非重篤	平成21年12月4日	回復
1467	40	女	平成21年12月4日	無	基礎疾患:MMK 季節性インフルエンザワクチン接種後の体調不良	発熱、胸苦、めまい	平成21年12月4日	関連有り	非重篤	平成21年12月5日	回復
1468	40	女	平成21年12月4日	無	無	発熱、関節痛、空咳	平成21年12月5日	評価不能	非重篤	平成21年12月7日	回復
1469	10	男	平成21年12月1日	無	てんかん、精神運動発達遅滞、喘息	けいれん	平成21年12月3日	評価不能	非重篤	平成21年12月3日	回復
1470	60	男	平成21年11月26日	無	アレルギー:薬、食品 季節性インフルエンザワクチン接種	顔面発赤	平成21年11月26日	関連有り	非重篤	平成21年12月8日	回復
1471	40	男	平成21年11月28日	無	既往:悪性リンパ腫	発熱	平成21年11月28日	関連有り	非重篤	平成21年12月1日	回復
1472	30	女	平成21年11月13日	無	無	発熱、接種部痛	平成21年11月13日	関連有り	非重篤	平成21年11月14日	回復
1473	30	女	平成21年10月22日	無	無	頭痛、倦怠感、鼻汁	平成21年10月22日	関連有り	非重篤	平成21年10月23日	回復
1474	70	男	平成21年11月25日	無	基礎疾患あり	発熱	平成21年11月25日	評価不能	非重篤	平成21年11月27日	回復
1475	30	女	平成21年10月23日	無	無	湿疹、乾燥(皮膚アレルギー様)	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月28日	回復
1476	50	女	平成21年12月1日	無	無	じんましん	平成21年12月1日	関連有り	非重篤	平成21年12月8日	回復
1477	20	女	平成21年11月27日	不明		じんましん	平成21年11月27日	関連有り	非重篤	平成21年11月30日	回復
1478	10歳未満	女	平成21年12月3日	無	新型インフルエンザワクチン接種:1回目 季節性インフルエンザワクチン接種	39℃以上の発熱	平成21年12月4日	関連有り	非重篤	平成21年12月7日	回復
1479	30	女	平成21年12月4日	無	無	発熱	平成21年12月5日	評価不能	非重篤	平成21年12月5日	回復
1480	10歳未満	男	平成21年12月4日	無	アレルギー	39℃以上の発熱	平成21年12月4日	評価不能	非重篤	不明	不明
1481	10	男	平成21年12月5日	無	基礎疾患	嘔吐(5回以上)	平成21年12月5日	不明	非重篤	平成21年12月6日	回復
1482	50	女	平成21年12月1日	無	気管支喘息	頭がぼーっとした、口唇のしびれ	平成21年12月1日	評価不能	非重篤	平成21年12月1日	回復
1483	40	女	平成21年12月1日	無		局所反応(発赤、腫脹、熱感)	平成21年12月3日	関連有り	非重篤	不明	不明

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1484	40	男	平成21年12月18日	無	無	嘔気	平成21年12月18日	評価不能	非重篤	平成21年12月19日	回復
1485	70	女	平成21年12月5日	無	高血圧	熱感、及び血圧上昇	平成21年12月5日	関連有り	非重篤	平成21年12月5日	回復
1486	50	女	平成21年11月25日	無	無	体がチクチクする	平成21年11月26日	評価不能	非重篤	平成21年12月7日	未回復
1487	40	女	平成21年12月4日	無	SLEで入院治療中(ステロイド+)	発熱、全身の発疹	平成21年12月4日	評価不能	非重篤	平成21年12月7日	未回復
1488	70	女	平成21年12月7日	無	無	発熱、呼吸困難	平成21年12月7日	関連有り	非重篤	平成21年12月9日	回復
1489	10歳未満	女	平成21年11月20日	無	10/28季節性インフルエンザワクチン接種 11/6日本脳炎ワクチン接種 11/13日本脳炎ワクチン接種	39℃以上の発熱、じんましん	平成21年11月21日	評価不能	非重篤	平成21年11月30日	軽快
1490	80	男	平成21年12月7日	無	無	膨疹、発赤、かゆみ	平成21年12月7日	関連有り	非重篤	平成21年12月7日	回復
1491	60	男	平成21年12月4日	無	無	注射部位の限局性の発赤、かゆみ	平成21年12月4日	関連有り	非重篤	平成21年12月4日	回復
1492	10歳未満	女	平成21年12月9日	無	無	一過性呼吸障害	平成21年12月9日	関連有り	非重篤	不明	回復
1493	10歳未満	男	平成21年12月2日	無	有り	じんましん	平成21年12月2日	関連有り	非重篤	平成21年12月2日	回復
1494	20	女	平成21年11月26日	無	無	インフルエンザA型	平成21年12月2日	評価不能	非重篤	不明	不明
1495	10歳未満	男	平成21年12月7日	無	無	急性じんましん	平成21年12月7日	評価不能	非重篤	平成21年12月8日	回復
1496	70	男	平成21年12月7日	無	慢性腎不全(血液透析施行中)、尺動脈弁逆流症	ショック(血圧低下)	平成21年12月7日	評価不能	非重篤	平成21年12月7日	回復
1497	10歳未満	男	平成21年12月5日	無	無	発熱38.5℃	平成21年12月5日	評価不能	非重篤	平成21年12月9日	回復
1498	10歳未満	男	平成21年12月8日	無	無	嘔気	平成21年12月9日	評価不能	非重篤	平成21年12月9日	回復
1499	60	男	平成21年12月5日	無	慢性腎不全	倦怠感	平成21年12月6日	関連有り	非重篤	平成21年12月6日	回復
1500	60	男	平成21年12月9日	無	アレルギー:ポリン系、ペニシリン系、造影剤	のぼせ感	平成21年12月9日	不明	非重篤	平成21年12月9日	軽快
1501	10歳未満	女	平成21年12月6日	無	ポリオ、下剤	発熱	平成21年12月9日	関連有り	非重篤	不明	不明
1502	50	女	平成21年10月22日	無	無	嘔吐、発熱	平成21年10月22日	不明	非重篤	平成21年10月23日	回復
1503	30	女	平成21年10月28日	無	無	めまい、嘔吐	平成21年10月28日	不明	非重篤	平成21年10月29日	回復
1504	30	女	平成21年10月26日	無	10/16ごろ子どもが新型インフルエンザにかかる	嘔吐、下痢	平成21年10月26日	不明	非重篤	平成21年10月27日	回復
1505	20	女	平成21年10月22日	不明	無	じんましん	平成21年10月24日	評価不能	非重篤	平成21年10月30日	回復
1506	10歳未満	男	平成21年12月8日	無	季節性インフルエンザ	発熱、咳	平成21年12月10日	関連無し	非重篤	不明	不明
1507	20	女	平成21年11月9日	有	無	じんましん	平成21年11月9日	関連有り	非重篤	不明	不明
1508	10歳未満	男	平成21年12月7日	無	11/301回目の新型インフルエンザワクチン接種、毎年の季節性インフルエンザワクチン接種では副反応無し。アレルギー:卵、卵白制限中	口周囲発疹、発赤	平成21年12月7日	関連有り	非重篤	平成21年12月9日	回復
1509	70	男	平成21年11月24日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	右上肢のこわばり感、右大腿の発疹	平成21年11月25日	関連有り	非重篤	不明	回復
1510	70	女	平成21年10月21日	無	鶏肉によるじんましん	じんましん	平成21年10月21日	関連有り	非重篤	平成21年10月30日	回復
1511	40	女	平成21年10月20日	無	C型慢性肝炎、糖尿病、高血圧症、アレルギー性鼻炎	じんましん	平成21年10月20日	関連有り	非重篤	平成21年10月25日	回復
1512	20	女	平成21年11月20日	無	気管支喘息	接種部位 発赤 痒みあり	平成21年11月23日	関連有り	非重篤	平成21年11月27日	回復
1513	10歳未満	女	平成21年12月9日	無	季節性インフルエンザワクチン接種 アレルギー、基礎疾患はなし	無熱性けいれん	平成21年12月9日	評価不能	非重篤	平成21年12月10日	回復
1514	60	女	平成21年12月9日	無	気管支喘息	喘息発作	平成21年12月9日	関連無し	非重篤	平成21年12月9日	軽快

NO.	年齢(代)	性別	接種日	同時接種	基礎疾患(持病)、他の予防接種など	副反応の内容	副反応発生日	医療機関による因果関係	重篤度	転帰日	転帰内容
1515	10歳未満	男	平成21年12月4日	無	気管支喘息	発熱	平成21年12月5日	不明	非重篤	平成21年12月7日	回復
1516	10歳未満	男	平成21年11月18日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましん	平成21年11月18日	評価不能	非重篤	平成21年11月19日	回復
1517	10歳未満	男	平成21年12月8日	無	12/7より鼻水 BT38.84℃ 心肺・口腔異常なし	39度以上の発熱	平成21年12月10日	評価不能	非重篤	不明	不明
1518	30	男	平成21年10月22日	無	無	神経障害	平成21年10月22日	関連有り	不明	平成21年11月5日	回復
1519	20	女	平成21年11月5日	無	アトピー性皮膚炎、腎盂腎炎、尿路結石	顔と両上腕に発赤疹	平成21年11月6日	不明	不明	平成21年11月8日	回復
1520	10歳未満	男	平成21年11月17日	不明	局在関連性てんかん、気管支喘息、だにアレルギー	じんましん	平成21年11月17日	不明	不明	平成21年11月17日	軽快
1521	40	女	平成21年11月4日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	じんましんと思われる症状	平成21年11月12日	関連有り	不明	平成21年11月25日	未回復
1522	50	女	平成21年11月24日	不明		下痢	不明	関連無し	不明	不明	不明
1523	80	男	平成21年11月17日	無	うつ血性心不全、腎不全 季節性インフルエンザワクチン接種	39℃以上の発熱	平成21年11月18日	評価不能	不明	平成21年11月20日	軽快
1524	30	女	平成21年11月11日	無	季節性インフルエンザワクチン接種	肝機能障害	平成21年11月13日	評価不能	不明	平成21年12月3日	不明
1525	70	女	平成21年11月21日	無	慢性腎不全(維持透析)、季節性インフルエンザワクチン接種	痒疹	平成21年11月21日	関連有り	不明	平成21年12月1日	軽快
1526	10歳未満	男	平成21年11月30日	無	無	発熱	平成21年12月1日	関連無し	不明	平成21年12月4日	回復
1527	70	女	平成21年11月25日	無	高血圧症、弁膜症、皮膚に薬・食品で発疹・じんましんがでたり、体調が悪くなったことあり	体調不良、鼻水、喘鳴	平成21年11月26日	評価不能	不明	不明	不明
1528	30	女	平成21年10月29日	無	10/7B型肝炎ワクチンの接種、アレルギー体質(カニ、トロピカルフレッシュフルーツ)	アナフィラキシー様症状	平成21年10月29日	関連有り	不明	平成21年10月30日	回復
1529	10歳未満	女	平成21年11月30日	無	気管支喘息、アレルギー性鼻炎	皮下血腫、眼窩リンパ節腫脹	平成21年12月1日	関連有り	不明	平成21年12月8日	未回復
1530	70	女	平成21年11月27日	無	基礎疾患:非結核性抗酸菌症(既往)1年以内の肺炎(既往) 高血圧	全身発疹	平成21年11月30日	評価不能	不明	不明	不明
1531	70	女	平成21年12月1日	無	脳梗塞、糖尿病(インスリン投与有り)、洞不全症候群(H21.722.ペースメーカー植込み)		平成21年12月2日	関連無し	不明	不明	不明
1532	10歳未満	女	平成21年12月4日	無	無	アレルギー反応	平成21年12月4日	関連有り	不明	平成21年12月5日	回復
1533	10歳未満	女	平成21年12月5日	無	無	肘関節を超える腫脹	平成21年12月6日	不明	不明	不明	不明
1534	20	女	平成21年11月9日	無	無	発汗、喉頭痛、咳嗽、倦怠感、鼻汁	平成21年11月10日	不明	不明	平成21年11月11日	軽快
1535	10歳未満	男	平成21年12月7日	無	一ヶ月以内に兄が水痘に罹患	39℃以上の発熱	平成21年12月8日	評価不能	不明	不明	不明
1536	20	女	平成21年12月2日	無	無	インフルエンザA型発症	平成21年12月9日	評価不能	不明	不明	不明
1537	60	女	平成21年12月1日	不明	原疾患・合併症:シェーグレン症候群、高血圧症 既往:高脂血症、逆流性食道炎	紅色皮疹(胸部、左頸部、両下腿)	平成21年12月2日	不明	不明	平成21年12月9日	不明
1538	70	女	平成21年11月20日	無	無	体部痛、発熱、胸痛	平成21年11月23日	関連有り	不明	平成21年11月27日	回復

## アナフィラキシーの分類評価

出典: Rüggeberg JU et al. Brighton Collaboration Anaphylaxis Working Group. Anaphylaxis: case definition and guidelines for data collection, analysis, and presentation of immunization safety data. Vaccine. 2007 Aug 1;25(31):5675-84. Epub 2007 Mar 12.

5681頁より

### ※ アナフィラキシーの5カテゴリー

症例定義と合致するもの

- カテゴリー(1) レベル1: 《アナフィラキシーの症例定義》参照
- カテゴリー(2) レベル2: 《アナフィラキシーの症例定義》参照
- カテゴリー(3) レベル3: 《アナフィラキシーの症例定義》参照

症例定義に合致しないもの (分析のための追加分類)

- カテゴリー(4) 十分な情報が得られておらず、症例定義に合致すると判断できない
- カテゴリー(5) アナフィラキシーではない(診断の必須条件を満たさないことが確認されている)

5679頁 2.より

### 《アナフィラキシーの症例定義》

(注意) 随伴症状を考慮した上、報告された事象に対して他に明らかな診断が見つからない場合に適応される。

◆ 全てのレベルで確実に診断されているべき事項(診断の必須条件)

- 突然発症 AND
- 徴候及び症状の急速な進行 AND
- 以下の複数(2つ以上)の器官系症状を含む

レベル1:

- 1つ以上の(Major)皮膚症状基準 AND
- 1つ以上の(Major)循環器系症状基準 AND/OR 1つ以上の(Major)呼吸器系症状基準

レベル2:

- 1つ以上の(Major)循環器系症状基準 AND 1つ以上の(Major)呼吸器系症状基準 OR
- 1つ以上の(Major)循環器系症状基準 OR 1つ以上の(Major)呼吸器系症状基準 AND
- 1つ以上の異なる器官(循環器系もしくは呼吸器系以外)の1つ以上の(Minor)症状基準 OR
- (1つ以上の(Major)皮膚症状基準) AND  
(1つ以上の(Minor)循環器系症状基準 AND/OR (Minor)呼吸器系症状基準)

レベル3:

- 1つ以上の(Minor)循環器系症状基準 OR 呼吸器系症状基準 AND
- 2つ以上の異なる器官/分類からの1つ以上の(Minor)症状基準

### 《Major 基準》

皮膚症状 / 粘膜症状

- 全身性蕁麻疹 もしくは 全身性紅斑
- 血管浮腫(遺伝性のものを除く)、局所もしくは全身性
- 発疹を伴う全身性掻痒感

循環器系症状

- 測定された血圧低下
- 非代償性ショックの臨床的な診断(少なくとも以下の3つの組み合わせにより示される)
  - 頻脈
  - 毛細血管再充満時間(3秒より長い)
  - 体幹部の脈拍微弱
  - 意識レベル低下 もしくは 意識消失

呼吸器系症状

- 両側性の喘鳴(気管支痙攣)
- 上気道性喘鳴
- 上気道腫脹(唇、舌、喉、口蓋垂、喉頭)
- 呼吸窮迫—以下の2つ以上
  - 頻呼吸
  - 補助的な呼吸筋の使用増加(胸鎖乳突筋、肋間筋等)
  - 胸部陥凹
  - チアノーゼ
  - 喉音発生

《 Minor 基準 》

---

皮膚症状 / 粘膜症状

- 発疹を伴わない全身性掻痒感
- 全身がちくちくと痛む感覚
- 接種局所の蕁麻疹
- 有痛性眼充血

循環器系症状

- 末梢性循環の減少(少なくとも以下の2つの組み合わせにより示される)
  - 頻脈 and
  - 血圧低下を伴わない毛細血管再充満時間(3秒より長い)
  - 意識レベルの低下

呼吸器系症状

- 持続性乾性咳嗽
- 嘔声
- 喘鳴もしくは上気道性喘鳴を伴わない呼吸困難
- 咽喉閉塞感
- くしゃみ、鼻汁

消化器系症状

- 下痢
- 腹痛
- 悪心
- 嘔吐

臨床検査値

- 通常の上限以上の肥満細胞トリプターゼ上昇

## Appendix A 症例定義-診断基準レベルを適切に判断するための参考資料

代替様式として、下に示すアルゴリズムはアナフィラキシーが疑われる症例の症例定義-診断基準レベルの適切な判断の一助となる。

ステップ1) 発現している臨床症状およびアナフィラキシーが疑われる兆候から、診断基準のカテゴリ(分類)を選択

Major基準		Minor基準	
<input type="checkbox"/>	皮膚症状&粘膜症状	<input type="checkbox"/>	皮膚症状&粘膜症状
<input type="checkbox"/>	循環器系症状	<input type="checkbox"/>	循環器系症状
<input type="checkbox"/>	呼吸器系症状	<input type="checkbox"/>	呼吸器系症状
		<input type="checkbox"/>	消化器系症状
		<input type="checkbox"/>	臨床検査値

ステップ2) 表から最も高い診断基準分類に該当するカラム・列(縦軸)を選択 (major>Minor, 皮膚所見>臨床検査値)

ステップ3) 2番目に高い診断基準(分類)に該当する行(横軸)を選択

ステップ4) 縦横の交差値がブライトン定義に基づいた症例定義-診断基準レベルを示す  
空欄はいずれの症例定義-診断基準レベルをも満たさない。

アナフィラキシーが疑われる症例に対する診断基準を計算するためのアルゴリズム

		症状1				
		DERM	CVS	RESP	Cvs	Resp
症状2	CVS	1	-	2	-	2
	RESP	1	2	-	2	-
	Derm	-	2	2	3*	3*
	Cvs	2	-	2	-	3*
	Resp	2	2	-	3*	-
	GI	-	2	2	3*	3*
	Lab	-	2	2	3*	3*

- ・大文字: 1つまたは1つ以上のMAJOR基準
- ・小文字: 1つまたは1つ以上のminor基準
- ・大文字の行・列: 診断基準分類の中で1つまたは1つ以上のMAJOR基準が存在する
- ・小文字の行・列: 診断基準分類の中で1つまたは1つ以上のminor基準が存在する
- ・レベル3の診断基準において、2つまたは2つ以上の行において "cvs"もしくは"resp"いずれかのminor基準のカラム・列が存在すること

1-診断基準レベル1

2-診断基準レベル2

3\*-診断基準レベル3においては、本カラム・列に2つまたは2つ以上のminor基準が存在すること

## Anaphylaxis: Case definition and guidelines for data collection, analysis, and presentation of immunization safety data<sup>☆</sup>

Jens U. Rüggeberg<sup>a,b</sup>, Michael S. Gold<sup>c</sup>, José-Maria Bayas<sup>d</sup>, Michael D. Blum<sup>e</sup>,  
Jan Bonhoeffer<sup>f</sup>, Sheila Friedlander<sup>g</sup>, Glacus de Souza Brito<sup>h</sup>, Ulrich Heininger<sup>f,\*</sup>,  
Babatunde Imoukhuede<sup>i</sup>, Ali Khamesipour<sup>j</sup>, Michel Erlewyn-Lajeunesse<sup>k</sup>,  
Susana Martin<sup>l</sup>, Mika Mäkelä<sup>m</sup>, Patricia Nell<sup>n,1</sup>, Vitali Pool<sup>o,2</sup>, Nick Simpson<sup>p</sup>

The Brighton Collaboration Anaphylaxis Working Group<sup>3</sup>

<sup>a</sup> Pädiatrische Infektiologie, Universitätskinderklinik Düsseldorf, Germany

<sup>b</sup> St. Georges Hospital Medical School, London, UK

<sup>c</sup> South Australian Immunisation Coordination Unit, University of Adelaide, Australia

<sup>d</sup> Hospital Clinic i Provincial de Barcelona, Barcelona, Spain

<sup>e</sup> Wyeth Research, Collegeville, PA, USA

<sup>f</sup> University Children's Hospital, Basel, Switzerland

<sup>g</sup> University of California San Diego Medical Center, La Jolla, USA

<sup>h</sup> Sao Paulo State University, Sao Paulo, Brazil

<sup>i</sup> MRC Fajara, Banjul, The Gambia

<sup>j</sup> Tehran University of Medical Sciences, Tehran, Iran

<sup>k</sup> University of Bristol, Bristol, UK

<sup>l</sup> EAP Santa Hortensia, Area 2, Madrid, Spain

<sup>m</sup> University Central Hospital Helsinki, Finland

<sup>n</sup> Airforce Reserve Command, United States Air Force, Sturgeon Bay, WI, USA

<sup>o</sup> Centers for Disease Control and Prevention, Atlanta, GA, USA

<sup>p</sup> John Curtin School of Medical Research, Canberra, Australia

Available online 12 March 2007

**Keywords:** Anaphylaxis; Adverse event; Immunization; Guidelines; Case definition

DOI of original article: [10.1016/j.vaccine.2007.02.063](https://doi.org/10.1016/j.vaccine.2007.02.063).

<sup>☆</sup> Disclaimer: The findings, opinions, and assertions contained in this consensus document are those of the individual scientific professional members of the working group. They do not necessarily represent the official positions of each participant's organization (e.g., government, university, or corporation). Specifically, the findings and conclusions in this paper are those of the authors and do not necessarily represent the views of the Centers for Disease Control and Prevention.

<sup>\*</sup> Corresponding author at: Centers for Disease Control and Prevention, Atlanta, GA, USA. Tel.: +1 404 639 8073.

E-mail address: [secretariat@brightoncollaboration.org](mailto:secretariat@brightoncollaboration.org) (U. Heininger).

<sup>1</sup> Retired.

<sup>2</sup> Vitali Pool is currently employed by Ely Lilly, Indianapolis, IN, USA.

<sup>3</sup> Brighton Collaboration homepage:  
<http://www.brightoncollaboration.org/>

0264-410X/\$ – see front matter. Published by Elsevier Ltd.  
doi:[10.1016/j.vaccine.2007.02.064](https://doi.org/10.1016/j.vaccine.2007.02.064)

### 1. Preamble

#### 1.1. Need for developing case definitions and guidelines for data collection, analysis, and presentation for anaphylaxis as an adverse event following immunization

Anaphylaxis is an acute hypersensitivity reaction with multi-organ-system involvement that can present as, or rapidly progress to, a severe life-threatening reaction. It may occur following exposure to allergens from a variety of sources including food, aeroallergens, insect venom, drugs, and immunizations [1–4].

Anaphylaxis is triggered by the binding of allergen to specific immunoglobulin E (IgE). It implies previous exposure and sensitization to the triggering substance or a cross reactive allergen. When an allergen binds to the IgE receptors on

the surface of mast cells and basophils this results in cellular activation and degranulation. These cells release preformed mediators such as histamine and tryptase that elicit the signs and symptoms of anaphylaxis. This mechanism is also known as the Type 1 immediate hypersensitivity reaction in the Gel and Coombs classification [1,3].

“Anaphylactoid” reactions are clinically indistinguishable, but differ from anaphylaxis by their immune mechanism, being characterized by mast cell activation due to a range of chemical or physical triggers *independently* of IgE. This mechanism is less well understood. As distinction between anaphylaxis and anaphylactoid reaction is impossible on the basis of clinical signs and symptoms alone, a clinical definition cannot differentiate between the two. This position is consistent with recent suggestions for a revised nomenclature for allergy, issued by the European Association for Allergy and Clinical Immunology (EAACI) and the World Allergy Organization, referring to anaphylactoid reactions simply as “non-allergic anaphylaxis” [5–7].

Anaphylaxis following immunization is a serious, but rare occurrence—estimates are in the range of 1–10 per 1 million doses distributed depending on the vaccine studied [8–10], but accurate estimates are hampered by limited data and lack of standard case definitions. Some studies had to extrapolate their estimates from small absolute case numbers. Most publications on anaphylaxis following immunization are case reports or series, which do not use case definitions. Few publications dealing with larger case numbers have used strict, but quite different case definitions [8,10–18].

The Council for International Organizations of Medical Sciences (CIOMS) provides a case definition of anaphylaxis as a drug reaction [19]. It differentiates between anaphylactic reaction, anaphylactic shock, and anaphylactoid reaction, which is no longer in keeping with current allergy terminology (see above). With “anaphylactic reaction” requiring the presence of just a single skin, respiratory, or cardiovascular symptom, the specificity of the CIOMS definition may also be low. The criteria of anaphylactic shock also overlap to some degree with those of simple anaphylactic reactions.

An international symposium recently acknowledged that even a widely accepted definition of anaphylaxis in general is lacking, thus contributing to a wide variation in standards of diagnosis and management [7]. This symposium also developed a very useful preliminary definition, based on proposed diagnostic criteria, which has recently been modified [20]. This definition reflects a very similar understanding of anaphylaxis as the one presented herein, but it does not allow for different levels of evidence and it makes assumptions about “known allergens for the patient”, which renders it less suitable for a vaccination setting.

There is hence no uniformly accepted definition of anaphylaxis following immunizations. This is a missed opportunity, as data comparability across trials or surveillance systems would facilitate data interpretation and promote the scientific understanding of the event.

## 1.2. Methods for the development of the case definition and guidelines for data collection, analysis, and presentation for anaphylaxis as an adverse event following immunization

Following the process described in the overview paper [21] as well as on the Brighton Collaboration Website <http://www.brightoncollaboration.org/internet/en/index/process.html>, the Brighton Collaboration *Anaphylaxis Working Group* was formed in 2003 and included members of clinical and academic, but also public health and industry background. The composition of the working and reference group as well as results of the web-based survey completed by the reference group with subsequent discussions in the working group can be viewed at: <http://www.brightoncollaboration.org/internet/en/index/working-groups.html>.

To guide the decision-making for the case definition and guidelines, a literature search was performed using Medline, Embase and the Cochrane Libraries, including the terms *vaccines, vaccination, or immunization (or terms beginning with vaccin-, immuni-, inoculat-), and [drug or delayed or immediate] hypersensitivity (or allerg-, hypersensit-, anaphyla-)*. The search resulted in the identification of 9547 references. All abstracts were screened for possible reports of anaphylaxis following immunization. Two hundred and fifty-nine articles with potentially relevant material were reviewed in more detail, in order to identify studies using case definitions or, in their absence, providing clinical descriptions of the case material. This review resulted in a detailed summary of 110 articles, including information on the study type, the vaccine, the diagnostic criteria or case definition put forth, the time interval since time of immunization, and any other symptoms. Most publications were case reports of single cases. The terminology was very inconsistent. Very few used case definitions at all, and no two studies used the same definition. Multiple general medical, paediatric and infectious disease text books were also searched. An inventory comprising 14 relevant case definitions of anaphylaxis was made available to working group members.

## 1.3. Rationale for selected decisions about the case definition of anaphylaxis as an adverse event following immunization

### 1.3.1. The term anaphylaxis

Several related terms are commonly used in clinical practice, like “anaphylaxis”, “anaphylactic reaction”, “anaphylactoid reaction”, and “anaphylactic shock”. The working group refrained from using the term “anaphylactic reaction”, due to its inference of a causal relation to a given exposure. Such a term is methodologically misleading when used in studies aiming to evaluate a potential causal relation to a given exposure. As current allergy terminology does not distinguish between “anaphylactic” and “anaphylactoid” events, the proposed Brighton definition refers to “anaphylaxis” only.

The term anaphylaxis has been used in some contexts primarily to denote an *immunological* principle (i.e., type I reaction according to Coombs/Gel) while in other contexts it has been reserved to denote the life-threatening character of a *clinical event*, thus implying a degree of clinical severity. The Brighton Collaboration case definition refers to the latter usage of the term, in keeping with the European Academy of Allergology and Clinical Immunology (EAACI's) and the American Academy of Pediatrics' use of the term [5,22]. In the definition presented here, severity is implied by the presence of cardiovascular and/or respiratory involvement in the presence of multi-system findings. Within the definition context, however, the three diagnostic levels must not be misunderstood as reflecting different grades of clinical severity. They instead reflect diagnostic certainty (see below).

### 1.3.2. The term "anaphylactic shock"

In its definition, the Brighton Collaboration Working Group refers to "anaphylactic shock" as the most severe manifestation of anaphylaxis. The Working Group has aimed to reflect the clinical syndrome of marked tissue hypoperfusion with signs and symptoms of haemodynamic failure in the definition.

### 1.3.3. Anaphylaxis as a multi-system disorder

Anaphylaxis is set apart from simple allergic reactions (e.g., urticaria, allergic rhinitis, asthma) by the simultaneous involvement of several organ systems. The combination of cardio-respiratory signs with mucosal and/or skin changes (urticaria, angioedema, etc.) is most specific. The presence of (muco-) cutaneous signs is key to differentiating anaphylaxis from similar clinical syndromes of different etiology (e.g., septic shock, syncope, myocardial infarction, hypotonic-hyporesponsive episode). Evidence of skin involvement is therefore required at Level One of the anaphylaxis definition.

In some patients, the clinical picture may be incomplete and cutaneous signs may be absent. This may even include the most acute and severe clinical cases, with rapid progression to asystole and death. The definition is designed to capture such cases under Level Two or Level Three. In order to retain sufficient specificity, involvement of two or more organ systems is indispensable at any level of the definition, always including the cardiovascular and/or respiratory system.

### 1.3.4. Formulating a case definition that reflects diagnostic certainty: weighing specificity versus sensitivity

As anaphylaxis is a medical emergency, the number of symptoms and/or signs that will be documented for each case may vary considerably. The case definition has been formulated such that the Level 1 definition is highly specific for the condition. As maximum specificity normally implies a loss of sensitivity, two additional diagnostic levels have

been included in the definition, offering a stepwise increase of sensitivity from Level One down to Level Three, while retaining an acceptable level of specificity at all levels. In this way it is hoped that all possible cases of anaphylaxis can be captured.

It needs to be re-emphasized that the grading of definition levels is entirely about diagnostic certainty, not clinical severity of an event. Thus, a clinically very severe event may appropriately be classified as Level Two or Three rather than Level One if it could reasonably be of non-anaphylactic etiology. Detailed information about the severity of the event should additionally always be recorded, as specified by the data collection guidelines.

### 1.3.5. Influence of treatment on fulfilment of case definition

The Working Group decided against using "treatment" or "treatment response" towards fulfilment of the anaphylaxis case definition, in contrast to some previous definitions of anaphylaxis [10,15].

A treatment response or its failure is not in itself diagnostic, and may depend on variables like clinical status, time to treatment, and other clinical parameters. Epinephrine is part of the treatment of any type of shock (allergic, septic, vascular, etc.). It may equally improve or mask symptoms in acute asthma, fainting spells, vasovagal syncope, etc. Prompt and early treatment of anaphylaxis may prevent the development of symptoms in other organ systems [23]. This may most commonly occur in controlled settings where anaphylaxis is anticipated and treatment is delivered promptly, such as specialized allergy clinics. Hence, we designed the Level 2 and Level 3 definitions to be broad enough to include cases presenting differently due to appropriate and early treatment initiation. For those cases where signs and symptoms remain limited to one body system we suggest using an alternative label specific to the organ system involved, such as rash, urticaria, asthma, etc.

### 1.3.6. The meaning of "sudden onset" and "rapid progression" in the context of anaphylaxis

The term "sudden onset" refers to an event that occurred unexpectedly and without warning leading to a marked change in a subject's previously stable condition.

The term "rapid progression" is a conventional clinical term. An exact timeframe should not be offered since it would have to refer to a wide range of signs and symptoms without a scientific evidence base. Using an arbitrarily restrictive setpoint might bias future data collection unnecessarily.

### 1.3.7. Timing post-immunization

Specific time frames for onset of symptoms following immunization are not included for the following main reasons: clinical manifestations of anaphylaxis are typically described as starting within seconds to minutes of exposure to a given substance. Most cases start within 1 h of exposure

[9,24,25], but in a minority of cases, symptoms may present up to 12 h after exposure. Biphasic presentation up to 72 h has also been described [23,26–28]. Clinical manifestations may also vary depending on the route of exposure to the allergen (intravenous versus oral, intramuscular, subcutaneous, etc.) [29].

Many authors have used time criteria as part of their definition of an allergic event, supporting the authors' contention that the cases described by them may have been *caused* by immunization [8,10,12,13,16]. We postulate, however, that a definition designed to be a suitable tool for testing causal relationships requires ascertainment of the outcome (e.g., anaphylaxis) independent from the exposure (e.g., immunizations). Therefore, to avoid selection bias, a restrictive time interval from immunization to onset of anaphylaxis should not be an integral part of such a definition. Instead, where feasible, details of this interval should be assessed and reported as described in the data collection guidelines.

Further, anaphylaxis most often occurs outside the controlled setting of a clinical trial or hospital. In some settings it may be impossible to obtain a clear timeline of the event, particularly in less developed or rural settings. In order to avoid selecting against such cases, the Brighton Collaboration definition avoids setting arbitrary time frames.

#### 1.3.8. Pathology findings—mast cell tryptase

The measurement of serum mast cell tryptase (MCT) has been used as a marker of anaphylaxis [30]. MCT is increased in patients with hypotensive anaphylaxis following injected antigens [30]. Levels peak between 15 and 120 min from the onset of symptoms and are best determined within 6 h of the event [31]. However, because of uncertainties regarding the specificity of MCT in the diagnosis of anaphylaxis, as well as the absence of vaccine-specific data, the Working Group decided that MCT merits inclusion, but only as a minor criterion at the present stage. Investigators are nonetheless encouraged to determine MCT in cases of suspected anaphylaxis.

#### 1.3.9. Pathology findings—IgE levels

The presence of antigen specific serum-IgE is not necessarily predictive of clinical allergic manifestations [32]. Neither does the absence of specific IgE rule out anaphylaxis, as the mechanism of anaphylaxis may well be non-IgE-mediated. There is therefore no role for specific IgE measurement in this case definition. The potentially useful role of specific IgE for *causality assessment* is undisputed, but it is not an appropriate tool for *case ascertainment* and is not a criterion of the Brighton Collaboration case definition.

#### 1.3.10. Pathology findings—autopsy

Anaphylaxis does not produce pathognomonic post-mortem features [29]. Post-mortem findings are therefore

not included in the case definition of anaphylaxis proposed here.

#### 1.3.11. Sudden unexplained death

The working group is aware that in settings with limited resources and access to health care a patient with anaphylaxis might not uncommonly present as a sudden, unexplained death. Although it is appreciated that this may be an important occurrence in such settings, the absence of specific criteria for the post-mortem diagnosis of anaphylaxis [29] would not permit a diagnosis of anaphylaxis at any acceptable level of diagnostic certainty. If anaphylaxis is strongly suspected as being the cause of death, such events may have to be categorized as “Reported anaphylaxis with insufficient evidence to meet the case definition” (see Section 3.2).

#### 1.3.12. Oculo-respiratory syndrome

Among differential diagnoses of anaphylaxis as defined by us and others, the recently described “oculo-respiratory-syndrome” (ORS) requires special mention. This entity is defined by the presence of bilateral conjunctivitis in association with a wide range of mucosal and/or respiratory manifestations, some of which are also characteristic of allergic reactions [33,34]. Its pathophysiology is not well understood, hampering its differentiation from anaphylaxis, particularly non-IgE-mediated anaphylaxis. There are hence no highly specific ORS definitions to date. Capture of ORS cases under the anaphylaxis definition might be reduced by omitting eye symptoms from the list of minor dermatological/mucosal symptoms. However, eye symptoms are relevant clinical clues towards possible anaphylaxis. As the pathophysiological and clinical picture of ORS becomes better understood, future case definitions of both syndromes will need to take account of these findings. At present, excluding cases with ocular involvement from the anaphylaxis definition would seem an arbitrary distinction and has been decided against.

#### 1.3.13. Guidelines for data collection, analysis, and presentation

As mentioned in the overview paper, the case definition is accompanied by guidelines, which are structured according to the steps of conducting a clinical trial, i.e., data collection, analysis, and presentation. Neither case definition nor guidelines are intended to guide or establish criteria for management of ill infants, children, or adults. Both were developed to improve data comparability.

#### 1.3.14. Periodic review

Similar to all Brighton Collaboration case definitions and guidelines, review of the definition with its guidelines is planned on a regular basis (i.e., every 3–5 years), or more often, if needed.

## 2. Case definition of anaphylaxis

### For all levels of diagnostic certainty

Anaphylaxis is a clinical syndrome characterized by

- sudden onset AND
- rapid progression of signs and symptoms AND
- involving multiple ( $\geq 2$ ) organ systems, as follows

### Level 1 of diagnostic certainty

- $\geq 1$  major dermatological AND
- $\geq 1$  major cardiovascular AND/OR  $\geq 1$  major respiratory criterion

### Level 2 of diagnostic certainty

- $\geq 1$  major cardiovascular AND  $\geq 1$  major respiratory criterion OR
- $\geq 1$  major cardiovascular OR respiratory criterion AND
- $\geq 1$  minor criterion involving  $\geq 1$  different system (*other than* cardiovascular or respiratory systems) OR
- ( $\geq 1$  major dermatologic) AND ( $\geq 1$  minor cardiovascular AND/OR minor respiratory criterion)

### Level 3 of diagnostic certainty

- $\geq 1$  minor cardiovascular OR respiratory criterion AND
- $\geq 1$  minor criterion from each of  $\geq 2$  different systems/categories

The case definition should be applied when there is no clear alternative diagnosis for the reported event to account for the combination of symptoms.

## Major and minor criteria used in the case definition of anaphylaxis

### Major criteria

Dermatologic or mucosal	<ul style="list-style-type: none"> <li>• generalized urticaria (hives) or generalized erythema</li> <li>• angioedema*, localized or generalized</li> <li>• generalized pruritus with skin rash</li> </ul>
Cardiovascular	<ul style="list-style-type: none"> <li>• measured hypotension</li> <li>• clinical diagnosis of uncompensated shock, indicated by the combination of at least 3 of the following:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• tachycardia</li> <li>• capillary refill time <math>&gt;3</math> s</li> <li>• reduced central pulse volume</li> <li>• decreased level of consciousness or loss of consciousness</li> </ul> </li> </ul>
Respiratory	<ul style="list-style-type: none"> <li>• bilateral wheeze (bronchospasm)</li> <li>• stridor</li> <li>• upper airway swelling (lip, tongue, throat, uvula, or larynx)</li> <li>• respiratory distress—2 or more of the following:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• tachypnoea</li> <li>• increased use of accessory respiratory muscles (sternocleidomastoid, intercostals, etc.)</li> <li>• recession</li> <li>• cyanosis</li> <li>• grunting</li> </ul> </li> </ul>

\* Not hereditary angioedema.

### Minor criteria

dermatologic or mucosal	<ul style="list-style-type: none"> <li>• generalized pruritus without skin rash</li> <li>• generalized prickle sensation</li> <li>• localized injection site urticaria</li> <li>• red and itchy eyes</li> </ul>
Cardiovascular	<ul style="list-style-type: none"> <li>• reduced peripheral circulation as indicated by the combination of at least 2 of                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• tachycardia and</li> <li>• a capillary refill time of <math>&gt;3</math> s without hypotension</li> <li>• a decreased level of consciousness</li> </ul> </li> </ul>
Respiratory	<ul style="list-style-type: none"> <li>• persistent dry cough</li> <li>• hoarse voice</li> <li>• difficulty breathing without wheeze or stridor</li> <li>• sensation of throat closure</li> <li>• sneezing, rhinorrhea</li> </ul>
Gastrointestinal	<ul style="list-style-type: none"> <li>• diarrhoea</li> <li>• abdominal pain</li> <li>• nausea</li> <li>• vomiting</li> </ul>
Laboratory	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Mast cell tryptase elevation <math>&gt;</math> upper normal limit</li> </ul>

## 3. Guidelines for data collection, analysis, and presentation of anaphylaxis

It was the consensus of the Brighton Collaboration *Allergic Reactions* Working Group for anaphylaxis to recommend the following guidelines to enable meaningful and standardized collection, analysis, and presentation of information about anaphylaxis. However, implementation of all guidelines might not be possible in all settings. The availability of information may vary depending upon resources, geographical region, and whether the source of information is a prospective clinical trial, a post-marketing surveillance or epidemiologic study, or an individual report of anaphylaxis. Also, as explained in more detail in the overview paper in this volume, these guidelines have been developed by this working group for guidance only, and are not to be considered a mandatory requirement for data collection, analysis, or presentation.

### 3.1. Data collection

These guidelines represent a desirable standard for the collection of data on anaphylaxis following immunization to allow for comparability of data, and are recommended as an addition to data collected for the specific study question and setting. The guidelines are not intended to guide the primary reporting of anaphylaxis to a surveillance system or study monitor. Investigators developing a data collection tool based on these data collection guidelines also need to refer to the criteria in the case definition, which are not repeated in these guidelines.

Guidelines 2, 5, 6, 10, 16–18, 21–23 below have been developed to address data elements for the collection of adverse event information as specified in general drug safety guidelines by the International Conference on Harmonization of Technical Requirements for Registration of Pharmaceuticals for Human Use [35], and the form for reporting of drug adverse events by the Council for International Organizations of Medical Sciences [36]. These data elements include an identifiable reporter and patient, one or more prior immunizations, and a detailed description of the adverse event, in this case, of anaphylaxis following immunization. The additional guidelines have been developed as guidance for the collection of additional information to allow for a more comprehensive understanding of anaphylaxis following immunization.

### 3.1.1. Source of information/reporter

For all cases and/or all study participants, as appropriate, the following information should be recorded:

- (1) Date of report.
- (2) Name and contact information of person reporting<sup>4</sup> and/or diagnosing the anaphylaxis as specified by country-specific data protection law.
- (3) Name and contact information of the investigator responsible for the subject, as applicable.
- (4) Relation to the patient (e.g., immunizer [clinician, nurse], family member [indicate relationship], other).

### 3.1.2. Vaccinee/Control

3.1.2.1. *Demographics.* For all cases and/or all study participants, as appropriate, the following information should be recorded:

- (5) Case/study participant identifiers (e.g., first name initial followed by last name initial) or code (or in accordance with country-specific data protection laws).
- (6) Date of birth, age, and sex.
- (7) For infants: gestational age and birth weight.

3.1.2.2. *Clinical and immunization history.* For all cases and/or all study participants, as appropriate, the following information should be recorded:

- (8) Past medical history including hospitalizations, underlying diseases/disorders, pre-immunization signs and symptoms including identification of indicators for, or the absence of, a history of allergy to vaccines, vaccine components, or medications; food allergy; allergic rhinitis; eczema; or asthma.
- (9) Any medication history (other than treatment for the event described) prior to, during, and after immunization including prescription and non-prescription medication as well as medication or treatment with long

half-life or long term effect (e.g., immunoglobulins, blood transfusion, and immunosuppressants).

- (10) Immunization history (i.e., previous immunizations and any adverse event following immunization [AEFI]), in particular occurrence of anaphylaxis after a previous immunization.

### 3.1.3. Details of the immunization

For all cases and/or all study participants, as appropriate, the following information should be recorded:

- (11) Date and time of immunization(s).
- (12) Description of vaccine(s) (name of vaccine, manufacturer, lot number, dose [e.g., 0.25 mL, 0.5 mL, etc.] and number of dose if part of a series of immunizations against the same disease).
- (13) The anatomical sites (including left or right side) of all immunizations (e.g., vaccine A in proximal left lateral thigh, vaccine B in left deltoid).
- (14) Route and method of administration (e.g., intramuscular, intradermal, subcutaneous, and needle-free [including type and size], other injection devices).
- (15) Needle length and gauge.

### 3.1.4. The adverse event

- (16) For all cases at any level of diagnostic certainty and for reported events with insufficient evidence, the criteria fulfilled to meet the case definition should be recorded.

Specifically document:

- (17) Clinical description of signs and symptoms of anaphylaxis, and if there was medical confirmation of the event (i.e., patient seen by physician).
- (18) Date/time of onset<sup>5</sup>, first observation<sup>6</sup>, and diagnosis<sup>7</sup>, end of episode<sup>8</sup>, and final outcome<sup>9</sup>.
- (19) Concurrent signs, symptoms, and diseases.
- (20) Measurement/testing.

- Values and units of routinely measured parameters (e.g., °C, blood pressure)—in particular those indicating the severity of the event.
- Method of measurement (e.g., type of thermometer, oral or other route, duration of measurement, etc.).
- Results of laboratory examinations, surgical and/or pathological findings and diagnoses if present.

<sup>5</sup> The date and/or time of onset is defined as the time post-immunization, when the first sign or symptom indicative for anaphylaxis occurred. This may only be possible to determine in retrospect.

<sup>6</sup> The date and/or time of first observation of the first sign or symptom indicative for anaphylaxis can be used, if date/time of onset is not known.

<sup>7</sup> The date of diagnosis of an episode is the day post-immunization when the event met the case definition at any level.

<sup>8</sup> The end of an episode is defined as the time the event no longer meets the case definition at the lowest level of the definition.

<sup>9</sup> E.g., recovery to pre-immunization health status, spontaneous resolution, therapeutic intervention, persistence of the event, sequelae, and death.

<sup>4</sup> If the reporting center is different from the vaccinating center, appropriate and timely communication of the adverse event should occur.

- (21) Treatment given for anaphylaxis, especially epinephrine, steroids, volume, antihistamines.
- (22) Outcome<sup>9</sup> at last observation.
- (23) Objective clinical evidence supporting classification of the event as “serious”<sup>10</sup>.
- (24) Exposures other than the immunization 24 h before and after immunization (e.g., foods, environmental) considered potentially relevant to the reported event.

### 3.1.5. Miscellaneous/general

- (25) The duration of surveillance for anaphylaxis should be predefined based on
  - Biologic characteristics of the vaccine e.g., live attenuated versus inactivated component vaccines;
  - Biologic characteristics of the vaccine-targeted disease;
  - Biologic characteristics of anaphylaxis including patterns identified in previous trials (e.g., early-phase trials); and
  - Biologic characteristics of the vaccinee (e.g., nutrition, underlying disease like immunodepressing illness).
- (26) The duration of follow-up reported during the surveillance period should be predefined likewise. It should aim to continue to resolution of the event.
- (27) Methods of data collection should be consistent within and between study groups, if applicable.
- (28) Follow-up of cases should attempt to verify and complete the information collected as outlined in data collection guidelines 1–24.
- (29) Investigators of patients with anaphylaxis should provide guidance to reporters to optimize the quality and completeness of information provided.
- (30) Reports of anaphylaxis should be collected throughout the study period regardless of the time elapsed between immunization and the adverse event. If this is not feasible due to the study design, the study periods during which safety data are being collected should be clearly defined.

### 3.2. Data analysis

The following guidelines represent a desirable standard for analysis of data on anaphylaxis to allow for comparability of data, and are recommended as an addition to data analyzed for the specific study question and setting.

- (31) Reported events should be classified in one of the following five categories including the three levels of diagnostic certainty. Events that meet the case definition

<sup>10</sup> An AEFI is defined as serious by international standards if it meets one or more of the following criteria: (1) it results in death, (2) is life-threatening, (3) it requires inpatient hospitalization or results in prolongation of existing hospitalization, (4) results in persistent or significant disability/incapacity, (5) is a congenital anomaly/birth defect, and (6) is a medically important event or reaction.

should be classified according to the levels of diagnostic certainty as specified in the case definition. Events that do not meet the case definition should be classified in the additional categories for analysis.

### Event classification in 5 categories<sup>11</sup>

#### Event meets case definition

- (1) Level 1: Criteria as specified in the anaphylaxis case definition.
- (2) Level 2: Criteria as specified in the anaphylaxis case definition.
- (3) Level 3: Criteria as specified in the anaphylaxis case definition.

#### Event does not meet case definition

##### Additional categories for analysis

- (4) Reported anaphylaxis with insufficient evidence to meet the case definition<sup>12</sup>.
- (5) Not a case of anaphylaxis<sup>13</sup>.
- (32) The interval between immunization and reported anaphylaxis could be defined as the date/time of immunization to the date/time of onset<sup>5</sup> of the first symptoms and/or signs consistent with the definition. If few cases are reported, the concrete time course could be analyzed for each; for a large number of cases, data can be analyzed in the following increments:

Subjects with anaphylaxis by Interval to Presentation		
Interval	Number	Percentage
<30 min after immunization		
30 ≤ 60 min after immunization		
60 ≤ 90 min after immunization		
90 ≤ 120 min		
Hourly increments thereafter		
<b>Total</b>		

- (33) The duration of a possible anaphylactic event could be analyzed as the interval between the date/time of onset<sup>4</sup> of the first symptoms and/or signs consistent with the definition and the end of episode<sup>8</sup> and/or final

<sup>11</sup> To determine the appropriate category, the user should first establish, whether a reported event meets the criteria for the lowest applicable level of diagnostic certainty, e.g., Level 3. If the lowest applicable level of diagnostic certainty of the definition is met, and there is evidence that the criteria of the next higher level of diagnostic certainty are met, the event should be classified in the next category. This approach should be continued until the highest level of diagnostic certainty for a given event could be determined. Major criteria can be used to satisfy the requirement of minor criteria. If the lowest level of the case definition is not met, it should be ruled out that any of the higher levels of diagnostic certainty are met and the event should be classified in additional categories 4 or 5.

<sup>12</sup> If the evidence available for an event is insufficient because information is missing, such an event should be categorized as “Reported anaphylaxis with insufficient evidence to meet the case definition”.

<sup>13</sup> An event does not meet the case definition if investigation reveals a negative finding of a necessary criterion (necessary condition) for diagnosis. Such an event should be rejected and classified as “Not a case of anaphylaxis”.

outcome<sup>9</sup>. Whatever start and ending are used, they should be used consistently within and across study groups.

- (34) If more than one measurement of a particular criterion is taken and recorded, the value corresponding to the greatest magnitude of the adverse experience could be used as the basis for analysis. Analysis may also include other characteristics like qualitative patterns of criteria defining the event.
- (35) The distribution of data (as numerator and denominator data) could be analyzed in predefined increments (e.g., measured values, times), where applicable. Increments specified above should be used. When only a small number of cases is presented, the respective values or time course can be presented individually.
- (36) Data on anaphylaxis obtained from subjects receiving a vaccine should be compared with those obtained from an appropriately selected and documented control group(s) to assess background rates of hypersensitivity in non-exposed populations, and should be analyzed by study arm and dose, where possible, e.g., in prospective clinical trials.

### 3.3. Data presentation

These guidelines represent a desirable standard for the presentation and publication of data on anaphylaxis following immunization to allow for comparability of data, and are recommended as an addition to data presented for the specific study question and setting. Additionally, it is recommended to refer to existing general guidelines for the presentation and publication of randomized controlled trials, systematic reviews, and meta-analyses of observational studies in epidemiology (e.g., statements of Consolidated Standards of Reporting Trials [CONSORT], of improving the quality of reports of meta-analyses of randomized controlled trials [QUORUM], and of Meta-analysis Of Observational Studies in Epidemiology [MOOSE], respectively) [37–39].

- (37) All reported events of anaphylaxis should be presented according to the categories listed in guideline 31.
- (38) Data on possible anaphylactic events should be presented in accordance with data collection guidelines 1–24 and data analysis guidelines 31–36.
- (39) Terms to describe anaphylaxis such as “low-grade”, “mild”, “moderate”, “high”, “severe”, or “significant” are highly subjective, prone to wide interpretation, and should be avoided, unless clearly defined.
- (40) Data should be presented with numerator and denominator (n/N) (and not only in percentages), if available.

Although immunization safety surveillance systems denominator data are usually not readily available, attempts should be made to identify approximate denominators. The source of the denominator data should be reported and calculations of estimates be described (e.g., manufacturer data like

total doses distributed, reporting through Ministry of Health, coverage/population based data, etc.).

- (41) The incidence of cases in the study population should be presented and clearly identified as such in the text.
- (42) If the distribution of data is skewed, median and range are usually the more appropriate statistical descriptors than a mean. However, the mean and standard deviation should also be provided.
- (43) Any publication of data on anaphylaxis should include a detailed description of the methods used for data collection and analysis as possible. It is essential to specify:
- The study design;
  - The method, frequency, and duration of monitoring for anaphylaxis;
  - The trial profile, indicating participant flow during a study including drop-outs and withdrawals to indicate the size and nature of the respective groups under investigation;
  - The type of surveillance (e.g., passive or active surveillance);
  - The characteristics of the surveillance system (e.g., population served, mode of report solicitation);
  - The search strategy in surveillance databases;
  - Comparison group(s), if used for analysis;
  - The instrument of data collection (e.g., standardized questionnaire, diary card, report form);
  - Whether the day of immunization was considered “day one” or “day zero” in the analysis;
  - Whether the date of onset<sup>5</sup> and/or the date of first observation<sup>6</sup> and/or the date of diagnosis<sup>7</sup> was used for analysis; and
  - Use of this case definition for anaphylaxis, in the abstract or methods section of a publication<sup>14</sup>.

### Acknowledgements

The authors are grateful for the support and helpful comments provided by the Brighton Collaboration Steering Committee (Robert T. Chen, Philippe Duclos, Elisabeth Loupi, S. Michael Marcy, Ulrich Heining, Miles Braun, Brigitte Keller Stanislawski) and Reference group (Terhi Tapiainen, Helen Macdonald, Ines Schöndorf, Delia A. Enria, Michael Hudson, Noni MacDonald, Edward Rothstein, Susana Martin, Sheila Friedlander, Johannes Forster, Jose-Maria Bayas, Raymundo Azevedo, Catherine Bourquin, Dominique Delattre, Patricia Nell, and Jose A. Alonso-Navarro), as well as other experts consulted as part of the process. The authors are also grateful to Jane Gidudu and Katrin Kohl of the Brighton Collaboration Secretariat for final revisions of the final document.

<sup>14</sup> Use of this document should preferably be referenced by referring to the respective link on the Brighton Collaboration website (<http://www.brightoncollaboration.org>).

Finally, we would like to thank the members of the WHO/CIOMS Working Group on Vaccine Pharmacovigilance ([http://www.cioms.ch/frame\\_current\\_programme.htm](http://www.cioms.ch/frame_current_programme.htm)) for the review of, constructive comments on, and endorsement of this document.

**Appendix A. Tool to aid identification of appropriate level of diagnostic certainty**

As an alternative format, the algorithm below provides a tool to aid identification of the appropriate definition level for a given case of suspected anaphylaxis.

Step 1) Select the diagnostic categories represented by the clinical symptoms and signs of the suspected case.

Major	Minor
<input type="checkbox"/> Dermatologic & MUCOSAL	<input type="checkbox"/> Dermatologic & mucosal
<input type="checkbox"/> Cardiovascular	<input type="checkbox"/> Cardiovascular
<input type="checkbox"/> Respiratory	<input type="checkbox"/> Respiratory
	<input type="checkbox"/> Gastrointestinal
	<input type="checkbox"/> Laboratory

Step 2) Select the column from the table representing the highest-ranking diagnostic category present (i.e., major > minor, dermatology > laboratory).

Step 3) Select a row from the table indicating the second highest ranking diagnostic category present.

Step 4) The intersection gives the level of diagnostic certainty of the case based on the Brighton definition. Blank intersections do not fulfil the case definition at any level.

Algorithm for calculating the diagnostic certainty of a suspected case of anaphylaxis

		Symptom One					
		1	-	2	-	2	-
Symptom Two	1	1	2	-	2	-	2
	Derm	-	2	2	3*	-	3*
	Resp	2	-	2	-	-	3*
	GI	2	2	-	3*	-	-
	Lab	-	2	2	3*	3*	3*
	Other	-	2	2	3*	3*	3*

Capitals: 1 or more MAJOR criteria in that system; Lower case: 1 or more minor criteria. Columns or rows in CAPITALS indicate that 1 or more MAJOR criteria are present in that category. Columns or rows in Lower case indicate that 1 or more minor criteria are present. Level 3 diagnostic certainty requires 2 or more rows to be present in either the "cvs" or "resp" minor criteria column.

- 1—Level 1 diagnostic certainty
- 2—Level 2 diagnostic certainty
- 3\*—Level 3 diagnostic certainty requires two or more minor criteria to be present in this column

**References**

[1] Ewan PW. Anaphylaxis. *BMJ* 1998;316(7142):1442–5.  
 [2] Ponvert C, Scheinmann P. Vaccine allergy and pseudo-allergy. *Eur J Dermatol* 2003;13(1):10–5.

[3] Wasserman SI. Anaphylaxis. In: Rich RR, Fleisher TA, Shearer WT, Kotzin WT, editors. *Clinical immunology. Principles and practice*. Toronto: Mosby; 2001. p. 46.1–11.  
 [4] Madaan A, Maddox DE. Vaccine allergy: diagnosis and management. *Immunol Allergy Clin North Am* 2003;23(4):555–88.  
 [5] Johansson SG, Hourihane JO, Bousquet J, Brujinzeel-Koomen C, Dreborg S, Haahtela T, et al. A revised nomenclature for allergy. An EAACI position statement from the EAACI nomenclature task force. *Allergy* 2001;56(9):813–24.  
 [6] Johansson SG, Bieber T, Dahl R, Friedmann PS, Lanier BQ, Lockey RF, et al. Revised nomenclature for allergy for global use: Report of the Nomenclature Review Committee of the World Allergy Organization, October 2003. *J Allergy Clin Immunol* 2004;113(5):832–6.  
 [7] Sampson HA, Munoz-Furlong A, Bock SA, Schmitt C, Bass R, Chowdhury BA, et al. Symposium on the definition and management of anaphylaxis: summary report. *J Allergy Clin Immunol* 2005;115(3):584–91.  
 [8] Pool V, Braun MM, Kelso JM, Mootrey G, Chen RT, Yunginger JW, et al. Prevalence of anti-gelatin IgE antibodies in people with anaphylaxis after measles-mumps rubella vaccine in the United States. *Pediatrics* 2002;110(6):e71.  
 [9] Patja A, Davidkin I, Kurki T, Kallio MJ, Valle M, Peltola H. Serious adverse events after measles-mumps-rubella vaccination during a fourteen-year prospective follow-up. *Pediatr Infect Dis J* 2000;19(12):1127–34.  
 [10] Bohlke K, Davis RL, Marcy SM, Braun MM, DeStefano F, Black SB, et al. Risk of anaphylaxis after vaccination of children and adolescents. *Pediatrics* 2003;112(4):815–20.  
 [11] Duclos P, Koch J, Hardy M, Carter A, McCarthy R. Adverse events temporally associated with immunizing agents—1989 report. *Can Dis Wkly Rep* 1991;17(29):147.  
 [12] Yergeau A, Alain L, Pless R, Robert Y. Adverse events temporally associated with meningococcal vaccines. *CMAJ* 1996;154(4):503–7.  
 [13] Kelso JM, Mootrey GT, Tsai TF. Anaphylaxis from yellow fever vaccine. *J Allergy Clin Immunol* 1999;103(4):698–701.  
 [14] Smith RE. Allergic reactions to immunization materials in children and approach to diagnosis. *Ann Allergy* 1965;23(12):600–3.  
 [15] Milstien JB, Gross TP, Kuritsky JN. Adverse reactions reported following receipt of Haemophilus influenzae type b vaccine: an analysis after 1 year of marketing. *Pediatrics* 1987;80(2):270–4.  
 [16] Jacobs RL, Lowe RS, Lanier BQ. Adverse reactions to tetanus toxoid. *JAMA* 1982;247(1):40–2.  
 [17] James JM, Burks AW, Roberson PK, Sampson HA. Safe administration of the measles vaccine to children allergic to eggs. *N Engl J Med* 1995;332(19):1262–6.  
 [18] World Health Organization EPOI. Surveillance of adverse events following immunization: field guide for managers of immunization programs; 1997 [unpublished document WHO/EPI/TRAM/93.02 Rev.1, available from Department of Vaccines and Biologicals].  
 [19] Council for International Organization of Medical Sciences. Definitions and basic requirements for the use of terms for reporting adverse drug reactions (XIII): clinical pathology and general disorders. *Pharmacoepidemiol Drug Saf* 1999;217–24.  
 [20] Sampson HA, Munoz-Furlong A, Campbell RL, Adkinson Jr NF, Bock SA, Branum A, et al. Second symposium on the definition and management of anaphylaxis: summary report—second national institute of allergy and infectious disease/food allergy and anaphylaxis network symposium. *J Allergy Clin Immunol* 2006;117(2):391–7.  
 [21] Kohl KS, Gidudu J, Bonhoeffer J, Braun MM, Buettcher M, Chen RT, et al. The development of standardized case definitions and guidelines for adverse events following immunization. *Vaccine* 2007;25:5671–4.  
 [22] AAP. *The Red Book 2003: report of the Committee on Infectious Diseases*. 26th ed. Am Acad Pediatr; 2003.  
 [23] Sampson HA. Anaphylaxis and emergency treatment. *Pediatrics* 2003;111(6 Pt 3):1601–8.

- [24] Patja A, Makinen-Kiljunen S, Davidkin I, Paunio M, Peltola H. Allergic reactions to measles-mumps-rubella vaccination. *Pediatrics* 2001;107(2):E27.
- [25] Novembre E, Cianferoni A, Bernardini R, Mugnaini L, Caffarelli C, Cavagni G, et al. Anaphylaxis in children: clinical and allergologic features. *Pediatrics* 1998;101(4):E8.
- [26] Douglas DM, Sukenick E, Andrade WP, Brown JS. Biphasic systemic anaphylaxis: an inpatient and outpatient study. *J Allergy Clin Immunol* 1994;93(6):977–85.
- [27] Stark BJ, Sullivan TJ. Biphasic and protracted anaphylaxis. *J Allergy Clin Immunol* 1986;78(1 Pt 1):76–83.
- [28] Lee JM, Greenes DS. Biphasic anaphylactic reactions in pediatrics. *Pediatrics* 2000;106(4):762–6.
- [29] Pumphrey RS, Roberts IS. Postmortem findings after fatal anaphylactic reactions. *J Clin Pathol* 2000;53(4):273–6.
- [30] Payne V, Kam PC. Mast cell tryptase: a review of its physiology and clinical significance. *Anaesthesia* 2004;59(7):695–703.
- [31] Schwartz LB, Yunginger JW, Miller J, Bokhari R, Dull D. Time course of appearance and disappearance of human mast cell tryptase in the circulation after anaphylaxis. *J Clin Invest* 1989;83(5):1551–5.
- [32] Crockett RE, Lockey RF. Vaccine hypersensitivity. *Immunol Allergy Clin N Am* 2001;21(4):707–43.
- [33] Fredette MJ, De Serres G, Malenfant M. Ophthalmological and biological features of the oculo-respiratory syndrome after influenza vaccination. *Clin Infect Dis* 2003;37(8):1136–8.
- [34] Skowronski DM, Strauss B, De Serres G, MacDonald D, Marion SA, Naus M, et al. Oculo-respiratory syndrome: a new influenza vaccine-associated adverse event? *Clin Infect Dis* 2003;36(6):705–13.
- [35] International Conference on Harmonisation of Technical Requirements for Registration of Pharmaceuticals for Human Use (ICH). Guidelines for Clinical Safety assessment (E2a-e). Available on the world wide web: <http://www.ich.org/> [last accessed February 9, 2006].
- [36] Council for International Organizations of Medical Sciences (CIOMS). Reporting form for International Reporting of Adverse Drug Reactions. Available on the world wide web: [http://www.cioms.ch/frame\\_what\\_is\\_cioms.htm](http://www.cioms.ch/frame_what_is_cioms.htm) [last accessed February 9, 2006].
- [37] The CONSORT statement: revised recommendations for improving the quality of reports of parallel-group randomized trials. *JAMA* 2001;285(15):1987–91. Available on the world wide web: <http://www.consort-statement.org/Statement/revisedstatement.htm> [last accessed February 9, 2006].
- [38] Moher D, Cook DJ, Eastwood S, Olkin I, Rennie D, Stroup DF. Improving the quality of reports of meta-analyses of randomised controlled trials: the QUOROM statement. Quality of reporting of meta-analyses. *Lancet* 1999;354(9193):1896–900. Available on the world wide web: <http://www.consort-statement.org/Initiatives/complements.htm> [last accessed February 9, 2006].
- [39] Stroup DF, Berlin JA, Morton SC, Olkin I, Williamson GD, Rennie D, et al. Meta-analysis of observational studies in epidemiology: a proposal for reporting. Meta-analysis of Observational Studies in Epidemiology (MOOSE) group. *JAMA* 2000;283(15):2008–12. Available on the world wide web: <http://www.consort-statement.org/Initiatives/complements.htm> [last accessed February 9, 2006].

## 新型インフルエンザワクチンの添付文書

\* 2009年10月改訂 (第2版)  
2009年10月作成 (第1版)

日本標準商品分類番号	
876313	
承認番号	22000AMX01668
薬価収載	適用外
販売開始	2008年10月

ウイルスワクチン類  
日本薬局方 生物学的製剤基準  
生物由来製品  
製薬  
処方せん医薬品※

## A型インフルエンザHAワクチン(H1N1株)

販売名: A型インフルエンザHAワクチンH1N1「S北研」シリンジ  
貯法: 遮光して、10℃以下に凍結を避けて保存 (【取扱上の注意】参照)  
有効期間: 検定合格日から6箇月 (最終有効年月日は外箱等に表示)

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

本剤は、A型 H1N1 (ソ連型)、A型 H3N2 (香港型)、B型の3株混合で製造されている季節性インフルエンザワクチンと同じく生物学的製剤基準「インフルエンザHAワクチン」に準拠し、新型インフルエンザA型 (H1N1) ウイルスの単抗原HAワクチンとして製造されたものである。  
新型インフルエンザA型 (H1N1) ワクチンとしては使用経験がなく、添付文書中の副反応、臨床成績、薬効薬理等の情報については季節性インフルエンザワクチンとしての成績を記載している。新型インフルエンザA型 (H1N1) ワクチンとしての成績等に関しては、最新の情報を随時参照すること。

**【接種不適当者 (予防接種を受けることが適当でない者)】**  
被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行ってはならない。

- (1) 明らかな発熱を呈している者
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
- (3) 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者
- (4) 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

### 【製法の概要及び組成・性状】

#### 1. 製法の概要

本剤は、厚生労働省より指定されたインフルエンザウイルスのA型株を発育鶏卵の尿膜腔内に接種して培養し、増殖したウイルスを含む尿膜腔液をとり、ゾーナル遠心機を用いた上白糖密度勾配遠心法により精製濃縮後、エーテルを加えてウイルス粒子を分解してHA画分浮遊液を採取する。これをホルマリンにより不活化した後、リン酸塩緩衝塩化ナトリウム液を用いて株ウイルスのHAが規定量含まれるよう希釈調整した液剤である。

#### 2. 組成

本剤は、0.5mL中に下記の成分・分量を含有する。

成分		分量
有効成分 (製造株)	A/カリフォルニア/7/2009 (H1N1)	HA含有量 (相当値) は、15 $\mu$ g以上
安定剤	ホルマリン	0.05 $\mu$ L以下
緩衝剤	リン酸水素ナトリウム水和物	1.255mg
	リン酸二水素カリウム塩化ナトリウム	0.204mg 4.15mg
分散剤	ポリソルベート80	0.05 $\mu$ L以下

#### 3. 性状

本剤は、インフルエンザウイルスのヘムアググチニン (HA) を含む澄明又はわずかに白濁した液剤である。  
pH: 6.8~8.0、浸透圧比 (生理食塩液に対する比): 約1

### 【効能・効果】

本剤は、インフルエンザの予防に使用する。

### 【用法・用量】

0.5mLを皮下に、1回又はおよそ1~4週間の間隔をおいて2回注射する。ただし、6歳から13歳未満のものには0.3mL、1歳から6歳未満のものには0.2mL、1歳未満のものには0.1mLずつ2回注射する。

### \*用法・用量に関連する接種上の注意

1. 接種間隔  
2回接種を行う場合の接種間隔は、免疫効果を考慮すると4週間おくことが望ましい。
2. 他のワクチン製剤との接種間隔  
生ワクチンの接種を受けた者は、通常、27日以上、また他の不活化ワクチンの接種を受けた者は、通常、6日以上間隔を置いて本剤を接種すること。ただし、医師が必要と認めた場合には、同時に接種することができる (なお、本剤を他のワクチンと混合して接種してはならない)。

### 【接種上の注意】

#### 1. 接種要注患者 (接種の判断を行うに際し、注意を要する者)

被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質を勘案し、診察及び接種適否の判断を慎重に行い、予防接種の必要性、副反応、有用性について十分な説明を行い、同意を確実に得た上で、注意して接種すること。

- (1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する者
- (2) 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者
- (3) 過去にけいれんの既往のある者
- (4) 過去に免疫不全の診断がなされている者及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる者
- (5) 気管支喘息のある者
- (6) 本剤の成分又は鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対してアレルギーを呈するおそれのある者

## \*2. 重要な基本的注意

- (1) 本剤は、「予防接種実施規則」及び「受託医療機関における新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチン接種実施要領」に準拠して使用すること。
- (2) 被接種者について、接種前に必ず問診、検温及び診察(視診、聴診等)によって健康状態を調べる。
- (3) 被接種者又はその保護者に、接種当日は過激な運動は避け、接種部位を清潔に保ち、また、接種後の健康監視に留意し、局所の異常反応や体調の変化、さらに高熱、けいれん等の異常な症状を呈した場合には、速やかに医師の診察を受けるよう事前に知らせること。

## 3. 相互作用

### 併用注意(併用に注意すること)

免疫抑制剤(シクロスポリン製剤等)等との関係<sup>9)</sup>  
免疫抑制的な作用を持つ製剤の投与を受けている者、特に長期あるいは大量投与を受けている者は本剤の効果が得られないおそれがあるので、併用に注意すること。

## 4. 副反応(まれに:0.1%未満、ときに:0.1~5%未満、副詞なし:5%以上又は頻度不明)

### (1) 重大な副反応

- 1) ショック、アナフィラキシー様症状:まれにショック、アナフィラキシー様症状(蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等)があらわれることがあるので、接種後は観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
- 2) 急性散在性脳脊髄炎(ADEM):まれに急性散在性脳脊髄炎(ADEM)があらわれることがある。通常、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等があらわれる。本症が疑われる場合には、MRI等で診断し、適切な処置を行うこと。
- 3) ギラン・バレー症候群:ギラン・バレー症候群があらわれることがあるので、四肢遠位から始まる弛緩性麻痺、腱反射の減弱ないし消失等の症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと。
- 4) けいれん:けいれん(熱性けいれんを含む)があらわれることがあるので、症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと。
- 5) 肝機能障害、黄疸:AST(GOT)、ALT(GPT)、 $\gamma$ -GTP、ALPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
- 6) 喘息発作:喘息発作を誘発することがあるので、観察を十分に行い、症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと。

### (2) その他の副反応

- 1) 過敏症:まれに接種直後から数日中に、発疹、蕁麻疹、湿疹、紅斑、多形紅斑、痒疹等があらわれることがある。
- 2) 全身症状:発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、下痢、関節痛、筋肉痛等を認めることがあるが、通常、2~3日中に消失する。
- 3) 局所症状:発赤、腫脹、硬結、熱感、疼痛、しびれ感等を認めることがあるが、通常、2~3日中に消失する。

## 5. 高齢者への接種

一般に高齢者では、生理機能が低下しているため、接種に当たっては、予診等を慎重に行い、被接種者の健康状態を十分に観察すること。

## \*6. 妊婦、産婦、授乳婦等への接種

妊娠中の接種に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には予防接種上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ接種すること。なお、小規模ながら、接種により先天異常の発生率は自然発生率より高くないとする報告がある。<sup>2)</sup>

## 7. 接種時の注意

### (1) 接種用器具

【A型インフルエンザHAワクチンH1N1【S北研】シリンジの使用法】に従い接種準備を行うこと。

- 1) 接種用器具は、ガンマ線等により滅菌されたディスプレイ製品を用いる。
- 2) 注射針及び注射筒は、被接種者ごとに取り換えなければならない。(開封後の使用は1回限りとし、シリンジの再滅菌・再使用はしないこと。)

### (2) 接種時

- 1) 本剤の使用に際しては、雑菌が迷入しないよう注意する。また、本剤を他の容器に移し使用してはならない。
- 2) 注射針の先端が血管内に入っていないことを確かめること。

### (3) 接種部位

接種部位は、通常、上腕伸側とし、アルコールで消毒する。なお、同一接種部位に反復して接種することは避けること。

## 【臨床成績】

### 1. 有効性

15~17歳の青年男性377名を178名と199名の2群に分け、前者には対照薬として破傷風トキソイドを、後者には流行の予想されるA香港型ウイルスのインフルエンザ不活化ワクチンを接種した。その冬における対照群は、同じ抗原型のA香港型ウイルスに27.5%の感染率を示したのに対し、ワクチン接種群においては、約1/5の5.5%の感染率であり、この時のワクチンの有効率は80%と算定された。<sup>9)</sup>

1997~2000年において老人福祉施設・病院に入所(院)している高齢者(65歳以上)を対象にインフルエンザHAワクチンを1回接種し有効性を評価した。有効性の正確な解析が可能であった98/99シーズンにおける結果から、発病阻止効果は34~55%、インフルエンザを契機とした死亡阻止効果は82%であり、インフルエンザHAワクチンは重症化を含め個人防衛に有効なワクチンと判断された。なお、解析対象者は同意が得られたワクチン接種者1198人、非接種者(対照群)1044人であった。<sup>9)</sup>

### 2. 安全性

インフルエンザHAワクチン接種後の主な副反応は、発赤等の局所反応(11.4%)及び発熱等の全身反応であった。<sup>9)</sup> 高齢者(65歳以上)に対するインフルエンザHAワクチンの

安全性を、国内5社のワクチンを用いて調査した。1204例の対象者に2306回の接種が行われ、副反応の発現頻度を、接種後3日間に被接種者が有害事象として認めた症状を記入する調査方法により調査した。その結果、全被接種者の副反応は、発熱等の全身反応が11.3%、発赤等の局所反応が11.6%であった。<sup>4)</sup>

**【薬効・薬理】**

インフルエンザHAワクチンを3週間間隔で2回接種した場合、接種1ヶ月後に被接種者の77%が有効予防水準に達する。接種後3ヶ月で有効予防水準が78.8%であるが、5ヶ月では50.8%と減少する。効果の持続は、流行ウイルスとワクチンに含まれているウイルスの抗原型が一致した時において3ヶ月続くことが明らかになっている。基礎免疫を持っている場合は、ワクチン接種群における有効予防水準は、3ヶ月を過ぎても維持されているが、基礎免疫のない場合には、効果の持続期間が1ヶ月近く短縮される。<sup>5)</sup>

**【取扱い上の注意】**

**1. 接種前**

- (1) 誤って凍結させたものは、品質が変化しているおそれがあるので、使用してはならない。
- (2) ピロー包装は閉封口からゆっくり開けること。
- (3) ピロー包装から取り出す際、押子を持って無理に引き出さないこと。
- (4) シリンジなどに破損等の異常が認められるときには使用しないこと。
- (5) 使用前には、必ず、異常な混濁、着色、異物の混入その他の異常がないかを確認すること。

**2. 接種時**

- (1) 冷蔵庫から取り出し室温になってから、必ず振り混ぜ均等にして使用する。
- (2) シリンジのトップキャップをはずした後に、シリンジ先端部に触れないこと。
- (3) 一度トップキャップをはずしたものは、速やかに使用すること。
- (4) 注射針を接続する際は誤刺に注意し、ルアーロックにしっかりと固定すること。

**【包装】**

シリンジ 0.5mL 5本

**\*【主要文献】**

- (1) Versluis DJ. et al. Antiviral Res ; Suppl 1 : 289-92 (1985)
- (2) Birth Defects and Drugs in Pregnancy (1977)
- (3) Sugiura A. et al. J Infect Dis ; 122(6) : 472-8 (1970)
- (4) 神谷 齊 他. インフルエンザワクチンの効果に関する研究. 厚生科学研究費補助金(新興・再興感染症研究事業)総合研究報告書(平成9年~11年度)
- (5) 根路銘国昭, 国立予防衛生研究所学友会編. ワクチンハンドブック : 130-41 (1994)
- (6) 堀内 清 他, 予防接種リサーチセンター編. 予防接種制度に関する文献集 ; 30 : 113-8 (2000)

**【文献請求先】**

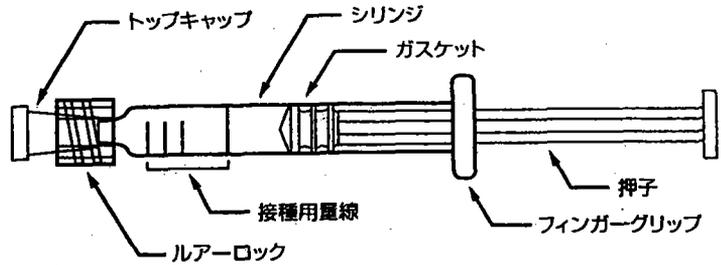
〒364-0026 埼玉県北本市荒井六丁目111番地  
 学校法人 北里研究所  
 生物製剤研究所 安全管理部門

**【製品情報お問い合わせ先】**

第一三共株式会社 製品情報部  
 電話 : 0120-189-132

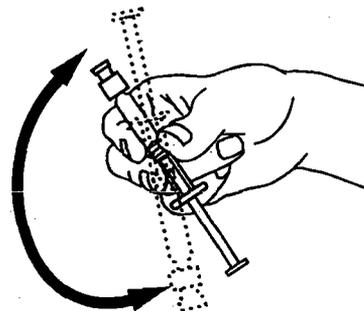
**【A型インフルエンザHAワクチンH1N1「S北研」シリンジの使用方法】**

構成と各部名称



①準備  
 接種に使用する注射針を用意する。

②シリンジをピロー包装より取り出し、接種液を均等にする。  
 接種液が泡立たないようにシリンジを上下に反転し均等にする。

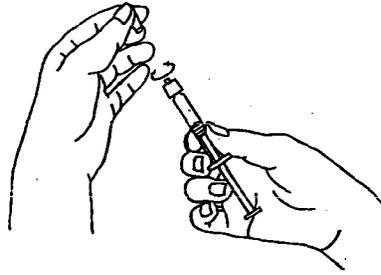


裏面へ続く  
 (H2110)

【A型インフルエンザHAワクチンH1N1「S北研」シリンジの使用法】続き

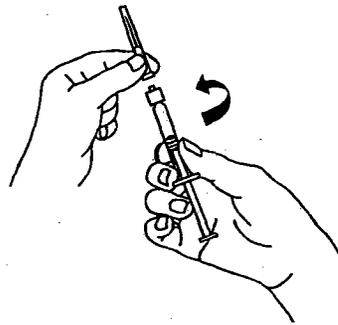
③ トップキャップをはずす

気層を上部に集めてからシリンジとトップキャップを指でつまみ、トップキャップをゆっくり回転させながらシリンジからはずす。  
(トップキャップをはずす際、接種液が漏れないように注意する)



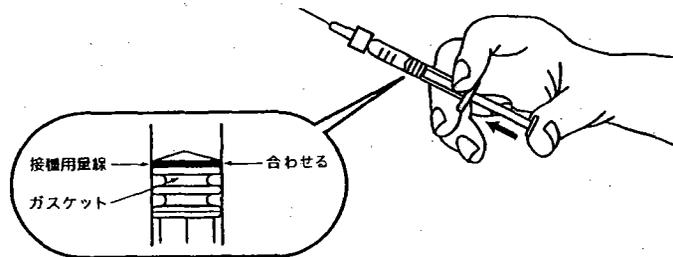
④ 注射針を取り付ける

使用する注射針をルーロックにねじ込みながら、速やかにしっかりと取り付ける。  
(シリンジ先端に触れないように注意する)



⑤ 気泡抜き、接種量合わせ

気泡を上部に集めてから押子をゆっくり押し、シリンジ内部の気泡を抜く。その後、ガスケットの先端を接種用量線に合わせて使用する。  
(【用法・用量】に従い、接種用量を合わせる)



【製造販売元】



学校法人北里研究所  
埼玉県北本市荒井六丁目111番地

【販売元】



第一三共株式会社  
東京都中央区日本橋本町3-5-1

日本標準商品分類番号	876313
承認番号	15700EZZ01004000
薬価収載	適用外
販売開始	1972年9月

生物由来製品 ウイルスワクチン類  
劇薬 日本薬局方 生物学的製剤基準  
処方せん医薬品<sup>(註)</sup>

## A型インフルエンザHAワクチン(H1N1株)

販売名：A型インフルエンザHAワクチンH1N1「ビケン」  
貯法：遮光して、10℃以下に凍結を避けて保存(【取扱い上の注意】参照)  
有効期間：検定合格日から1年(最終有効年月日は外箱等に表示)  
注)注意—医師等の処方せんにより使用すること

本剤は、A型 H1N1(ソ連型)、A型 H3N2(香港型)、B型の3株混合で製造されている季節性インフルエンザワクチンと同じく生物学的製剤基準「インフルエンザHAワクチン」に準拠し、新型インフルエンザA型(H1N1)ウイルスの単抗原HAワクチンとして製造されたものである。  
新型インフルエンザA型(H1N1)ワクチンとしては使用経験がなく、添付文書中の副反応、臨床成績、薬効薬理等の情報については季節性インフルエンザワクチンとしての成績を記載している。新型インフルエンザA型(H1N1)ワクチンとしての成績等に関しては、最新の情報を随時参照すること。

**【接種不適当者(予防接種を受けることが適当でない者)】**

被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行ってはならない。

1. 明らかな発熱を呈している者
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
3. 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者
4. 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

### 【製法の概要及び組成・性状】

#### 1. 製法の概要

本剤は、インフルエンザウイルスのA型株を発育鶏卵で培養し、増殖したウイルスを含む尿膜腔液をゾーナル遠心機による蔗糖密度勾配遠心法により濃縮精製後、ウイルス粒子をエーテル等により処理して分解・不活化したHA画分に、リン酸塩緩衝塩化ナトリウム液を用いて規定濃度に調製した液剤である。

#### 2. 組成

本剤は、1mL中に次の成分を含有する。

成分	分量
有効成分(製造株)	A/カリフォルニア/7/2009(H1N1) HA含量(相当値)は、30μg以上
緩衝剤	リン酸水素ナトリウム水和物 3.53mg リン酸二水素ナトリウム 0.54mg
等張化剤	塩化ナトリウム 8.50mg
保存剤	チメロサル 0.008mg

#### 3. 性状

本剤は、インフルエンザウイルスのヘムアグルチニン(HA)を含む澄明又はわずかに白濁した液剤である。

pH: 6.8~8.0

浸透圧比(生理食塩液に対する比): 1.0 ± 0.3

### 【効能又は効果】

本剤は、インフルエンザの予防に使用する。

### 【用法及び用量】

0.5mLを皮下に、1回又はおよそ1~4週間の間隔をおいて2回注射する。ただし、6歳から13歳未満のものには0.3mL、1歳から6歳未満のものには0.2mL、1歳未満のものには0.1mLずつ2回注射する。

### \* 用法及び用量に関連する接種上の注意

1. 接種間隔  
2回接種を行う場合の接種間隔は、免疫効果を考慮すると4週間おくことが望ましい。
2. 他のワクチン製剤との接種間隔  
生ワクチンの接種を受けた者は、通常、27日以上、また他の不活化ワクチンの接種を受けた者は、通常、6日以上間隔を置いて本剤を接種すること。ただし、医師が必要と認めた場合には、同時に接種することができる(なお、本剤を他のワクチンと混合して接種してはならない)。

### 【接種上の注意】

#### 1. 接種要注意者(接種の判断を行うに際し、注意を要する者)

被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質を勘案し、診察及び接種適否の判断を慎重に行い、予防接種の必要性、副反応、有用性について十分な説明を行い、同意を確実に得た上で、注意して接種すること。

- (1)心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する者
- (2)予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者
- (3)過去にけいれんの既往のある者

- (4)過去に免疫不全の診断がなされている者及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる者
- (5)気管支喘息のある者
- (6)本剤の成分又は鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対して、アレルギーを呈するおそれのある者

**\*2. 重要な基本的注意**

- (1)本剤は、「予防接種実施規則」及び「受託医療機関における新型インフルエンザ (A/H1N1) ワクチン接種実施要領」に準拠して使用すること。
- (2)被接種者について、接種前に必ず問診、検温及び診察（視診、聴診等）によって健康状態を調べること。
- (3)本剤は添加物としてチメロサル（水銀化合物）を含有している。チメロサル含有製剤の投与（接種）により、過敏症（発熱、発疹、蕁麻疹、紅斑、そう痒等）があらわれたとの報告があるので、問診を十分に行い、接種後は観察を十分に行うこと。
- (4)被接種者又はその保護者に、接種当日は過激な運動は避け、接種部位を清潔に保ち、また、接種後の健康監視に留意し、局所の異常反応や体調の変化、さらに高熱、けいれん等の異常な症状を呈した場合には、速やかに医師の診察を受けるよう事前に知らせること。

**3. 相互作用**

併用注意（併用に注意すること）

免疫抑制剤（シクロスポリン製剤等）等との関係<sup>1)</sup>免疫抑制的な作用を持つ製剤の投与を受けている者、特に長期あるいは大量投与を受けている者は本剤の効果が得られないおそれがあるので、併用に注意すること。

- 4. 副反応（まれに：0.1%未満、ときに：0.1～5%未満、副詞なし：5%以上又は頻度不明）

**(1) 重大な副反応**

- 1)ショック、アナフィラキシー様症状：まれにショック、アナフィラキシー様症状（蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等）があらわれることがあるので、接種後は観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
- 2)急性散在性脳脊髄炎（ADEM）：まれに急性散在性脳脊髄炎（ADEM）があらわれることがある。通常、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等があらわれる。本症が疑われる場合には、MRI等で診断し、適切な処置を行うこと。
- 3)ギラン・バレー症候群：ギラン・バレー症候群があらわれることがあるので、四肢遠位から始まる弛緩性麻痺、腱反射の減弱ないし消失等の症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと。

- 4)けいれん：けいれん（熱性けいれんを含む）があらわれることがあるので、症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと。
- 5)肝機能障害、黄疸：AST (GOT)、ALT (GPT)、 $\gamma$ -GTP、ALPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
- 6)喘息発作：喘息発作を誘発することがあるので、観察を十分に行い、症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと。

**(2) その他の副反応**

- 1)過敏症：まれに接種直後から数日中に、発疹、蕁麻疹、湿疹、紅斑、多形紅斑、そう痒等があらわれることがある。
- 2)全身症状：発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、下痢、関節痛、筋肉痛等を認めることがあるが、通常、2～3日中に消失する。
- 3)局所症状：発赤、腫脹、硬結、熱感、疼痛、しびれ感等を認めることがあるが、通常、2～3日中に消失する。

**5. 高齢者への接種**

一般に高齢者では、生理機能が低下しているので、接種に当たっては、予診等を慎重に行い、被接種者の健康状態を十分に観察すること。

**\*6. 妊婦、産婦、授乳婦等への接種**

妊娠中の接種に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には予防接種上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ接種すること。

なお、小規模ながら、接種により先天異常の発生率は自然発生率より高くないとする報告がある<sup>2)</sup>。

**7. 接種時の注意**

**(1)接種時**

- 1)接種用器具は、ガンマ線等により滅菌されたディスポーザブル品を用いる。
- 2)容器の栓及びその周囲をアルコールで消毒した後、注射針をさし込み、所要量を注射器内に吸引する。この操作に当たっては雑菌が迷入しないよう注意する。  
また、栓を取り外し、あるいは他の容器に移し使用してはならない。
- 3)注射針の先端が血管内に入っていないことを確かめること。
- 4)注射針及び注射筒は、被接種者ごとに取り換えなければならない。

**(2)接種部位**

接種部位は、通常、上腕伸側とし、アルコールで消毒する。なお、同一接種部位に反復して接種することは避けること。

## 【臨床成績】

### 1. 有効性

15～17歳の青年男性377名を178名と199名の2群に分け、前者には対照薬として破傷風トキソイドを、後者には流行の予想されるA香港型ウイルスのインフルエンザ不活化ワクチンを接種した。その冬における対照群は、同じ抗原型のA香港型ウイルスに27.5%の感染率を示したのに対し、インフルエンザワクチン接種群においては、約1/5の5.5%の感染率であり、この時のワクチンの有効率は80%と算定された<sup>3)</sup>。

1997～2000年において老人福祉施設・病院に入所(院)している高齢者(65歳以上)を対象にインフルエンザHAワクチンを1回接種し有効性を評価した。有効性の正確な解析が可能であった98/99シーズンにおける結果から、発病阻止効果は34～55%、インフルエンザを契機とした死亡阻止効果は82%であり、インフルエンザHAワクチンは重症化を含め個人防衛に有効なワクチンと判断された。なお、解析対象者は同意が得られたワクチン接種者1,198人、非接種者(対照群)1,044人であった<sup>4)</sup>。

### 2. 安全性

インフルエンザHAワクチン接種後の主な副反応は、発赤等の局所反応(11.4%)及び発熱等の全身反応であった<sup>5)</sup>。

高齢者(65歳以上)に対するインフルエンザHAワクチンの安全性を、国内5社のワクチンを用いて調査した。1,204例の対象者に2,306回の接種が行われ、副反応の発現頻度を、接種後3日間に被接種者が有害事象として認めた症状を記入する調査方法により調査した。その結果、全被接種者の副反応は、発熱などの全身反応が11.3%、発赤などの局所反応が11.6%であった<sup>6)</sup>。

### 【薬効薬理】<sup>5)</sup>

インフルエンザHAワクチンを3週間隔で2回接種した場合、接種1カ月後に被接種者の77%が有効予防水準に達する。

接種後3カ月で有効予防水準が78.8%であるが、5カ月では50.8%と減少する。効果の持続は、流行ウイルスとワクチンに含まれているウイルスの抗原型が一致した時において3カ月続くことが明らかになっている。基礎免疫を持っている場合は、ワクチン接種群における有効予防水準は、3カ月を過ぎても維持されているが、基礎免疫のない場合には、効果の持続期間が1カ月近く短縮される。

## 【取扱い上の注意】

### 1. 接種前

- (1) 誤って凍結させたものは、品質が変化しているおそれがあるので、使用してはならない。
- (2) 使用前には、必ず、異常な混濁、着色、異物の混入その他の異常がないかを確認すること。

### 2. 接種時

- (1) 冷蔵庫から取り出し室温になってから、必ず振り混ぜ均等にして使用する。
- (2) 一度針をさしたものは、当日中に使用する。

### \*【包装】

瓶入 1mL 2本

### \*【主要文献】

- 1) Versluis, D. J. et al : Antiviral Res. (suppl. 1) : 289(1985)
- 2) Birth Defects and Drugs in Pregnancy, 1977
- 3) Sugiura, A. et al : J. Infect. Dis., 122 : 472(1970)
- 4) 神谷 齊 他：インフルエンザワクチンの効果に関する研究、厚生科学研究費補助金(新興・再興感染症研究事業)、総合研究報告書(平成9～11年度)
- 5) 根路銘 国昭：インフルエンザワクチン、ワクチンハンドブック、国立予防衛生研究所学友会編：130(1994)
- 6) 堀内 清 他：高齢者(65才 $\leq$ )におけるインフルエンザワクチンの安全性に関する検討、予防接種制度に関する文献集(30)、(財)予防接種リサーチセンター編：113(2000)

### 【文献請求先】

財団法人 阪大微生物病研究会 学術課  
〒565-0871 吹田市山田丘3番1号  
電話 0120-280-980

田辺三菱製薬株式会社 くすり相談センター  
〒541-8505 大阪市中央区北浜2-6-18  
電話 0120-753-280

 製造販売元  
財団法人大阪微生物病研究会  
香川県観音寺市八幡町二丁目9番41号  
M-82221

 販売元  
田辺三菱製薬株式会社  
大阪市中央区北區2-6-18

ウイルスワクチン類  
日本薬局方 生物学的製剤基準

生物由来製品  
劇薬  
処方せん医薬品  
注意-医師等の処方せんにより使用する

# A型インフルエンザHAワクチン(H1N1株)

販売名：A型インフルエンザHAワクチンH1N1「化血研」

承認番号	21900AMX00942
薬価収載	適用外
販売開始	2007年11月

貯法：遮光して、10℃以下に凍結を避けて保存（【取扱い上の注意】参照）  
有効期間：検定合格日から1年（最終有効年月日は外箱等に表示）

本剤は、A型H1N1（ソ連型）、A型H3N2（香港型）、B型の3株混合で製造されている季節性インフルエンザワクチンと同じく生物学的製剤基準「インフルエンザHAワクチン」に準拠し、**新型インフルエンザA型（H1N1）ウイルスの単抗原HAワクチンとして製造されたものである。**  
新型インフルエンザA型（H1N1）ワクチンとしては使用経験がなく、添付文書中の副反応、臨床成績、薬効薬理等の情報については季節性インフルエンザワクチンとしての成績を記載している。新型インフルエンザA型（H1N1）ワクチンとしての成績等に関しては、最新の情報を随時参照すること。

**【接種不適当者（予防接種を受けることが適当でない者）】**  
被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行ってはならない。  
(1) 明らかな発熱を呈している者  
(2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者  
(3) 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者  
(4) 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

**用法・用量に関連する接種上の注意**  
(1) 接種間隔  
2回接種を行う場合の接種間隔は免疫効果を考慮すると4週間おくことが望ましい。  
※※(2) 他のワクチン製剤との接種間隔  
生ワクチンの接種を受けた者は、通常、27日以上、また、他の不活化ワクチンの接種を受けた者は、通常、6日以上間隔を置いて本剤を接種すること。ただし、医師が必要と認めた場合には、同時に接種することができる（なお、本剤を他のワクチンと混合して接種してはならない）。

**【製法の概要及び組成・性状】**

**1. 製法の概要**

本剤は、インフルエンザウイルスのA型株を発育鶏卵で培養し、増殖したウイルスを含む尿膜腔液をしょ糖密度勾配遠心法等により精製濃縮後、ウイルス粒子をエーテル等により処理してヘムアグルチニン（以下HA）画分浮遊液とし、ホルマリンで不活化した後、リン酸塩緩衝塩化ナトリウム液を用いてHAが規定量含まれるよう希釈調整する。

**2. 組成**

本剤は、1mL中に次の成分を含有する。

成分		分量
有効成分 (製造株)	A/カリフォルニア/7/2009(H1N1)	HA含量（相当値）は30µg以上
	ホルマリン（ホルムアルデヒドとして） フェノキシエタノール 塩化ナトリウム リン酸水素ナトリウム水和物 リン酸二水素カリウム	0.01w/v%以下 0.0045mL 8.1mg 2.5mg 0.4mg

**3. 製剤の性状**

本剤は、インフルエンザウイルスのHAを含む澄明又はわずかに白濁した液剤である。

pH：6.8～8.0

浸透圧比（生理食塩液に対する比）：約1

**【効能・効果】**

本剤は、インフルエンザの予防に使用する。

**【用法・用量】**

0.5mLを皮下に、1回又はおよそ1～4週間の間隔をおいて2回注射する。ただし、6歳から13歳未満のものには0.3mL、1歳から6歳未満のものには0.2mL、1歳未満のものには0.1mLずつ2回注射する。

**【接種上の注意】**

1. 接種要注意者（接種の判断を行うに際し、注意を要する者）  
被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質を勘案し、診察及び接種適否の判断を慎重に行い、予防接種の必要性、副反応、有用性について十分な説明を行い、同意を確実に得た上で、注意して接種すること。  
(1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する者  
(2) 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者  
(3) 過去にけいれんの既往のある者  
(4) 過去に免疫不全の診断がなされている者及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる者  
(5) 気管支喘息のある者  
(6) 本剤の成分又は鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対してアレルギーを呈するおそれのある者

2. 重要な基本的注意  
※※(1) 本剤は、「**予防接種実施規則**」及び「**受託医療機関における新型インフルエンザ（A/H1N1）ワクチン接種実施要領**」に準拠して使用すること。

(2) 被接種者について、接種前に必ず問診、検温及び診察（視診、聴診等）によって健康状態を調べること。  
(3) 被接種者又はその保護者に、接種当日は過激な運動は避け、接種部位を清潔に保ち、また、接種後の健康監視に留意し、局所の異常反応や体調の変化、さらに高熱、けいれん等の異常な症状を呈した場合には速やかに医師の診察を受けるよう事前に知らせること。

3. 相互作用  
併用注意（併用に注意すること）  
免疫抑制剤（シクロスポリン製剤等）等との関係  
免疫抑制的な作用を持つ製剤の投与を受けている者、特に長期あるいは大量投与を受けている者は免疫機能が低下しているため本剤の効果が得られないおそれがあるので、併用に注意すること。



#### 4. 副反応 (まれに: 0.1%未満、ときに: 0.1~5%未満、副詞なし: 5%以上又は頻度不明)

##### (1) 重大な副反応

- 1) ショック、アナフィラキシー様症状: まれにショック、アナフィラキシー様症状 (蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等) があらわれることがあるので、接種後は観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
- 2) 急性散在性脳脊髄炎 (ADEM): まれに急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) があらわれることがある。通常、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等があらわれる。本症が疑われる場合には、MRI等で診断し、適切な処置を行うこと。
- 3) ギラン・バレー症候群: ギラン・バレー症候群があらわれることがあるので、四肢遠位から始まる弛緩性麻痺、腱反射の減弱ないし消失等の症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと。
- 4) けいれん: けいれん (熱性けいれんを含む) があらわれることがあるので、症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと。
- 5) 肝機能障害、黄疸: AST (GOT)、ALT (GPT)、 $\gamma$ -GTP、AI-Pの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
- 6) 喘息発作: 喘息発作を誘発することがあるので、観察を十分に行い、症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと。

##### (2) その他の副反応

- 1) 過敏症: まれに接種直後から数日中に、発疹、蕁麻疹、湿疹、紅斑、多形紅斑、そう痒等があらわれることがある。
- 2) 全身症状: 発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、下痢、関節痛、筋肉痛等を認めることがあるが、通常、2~3日中に消失する。
- 3) 局所症状: 発赤、腫脹、硬結、熱感、疼痛、しびれ感等を認めることがあるが、通常、2~3日中に消失する。

#### 5. 高齢者への接種

一般に高齢者では、生理機能が低下しているため、接種に当たっては、予診等を慎重に行い、被接種者の健康状態を十分に観察すること。

#### ※※6. 妊婦、産婦、授乳婦等への接種

妊娠中の接種に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には予防接種上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ接種すること。なお、小規模ながら、接種により先天異常の発生率は自然発生率より高くないとする報告がある<sup>2)</sup>

#### 7. 接種時の注意

##### (1) 接種用器具

- 1) 接種用器具は、ガンマ線等により滅菌されたディスポザブル品を用いる。
- 2) 注射針及び注射筒は、被接種者ごとに取り換えなければならない。

##### (2) 接種時

- 1) 容器の栓及びその周囲をアルコールで消毒した後、注射針をさし込み、所要量を注射器内に吸引する。この操作に当たっては雑菌が迷入しないよう注意する。また、栓を取り外し、あるいは他の容器に移し使用してはならない。
- 2) 注射針の先端が血管内に入っていないことを確かめること。

##### (3) 接種部位

接種部位は、通常、上腕伸側とし、アルコールで消毒する。なお、同一接種部位に反復して接種することは避けること。

#### 【臨床成績】

##### 1. 有効性

377名の15~17歳の少年を178名と199名に分け、前者には対照として破傷風トキソイドを、後者には流行の予想される香港型ウイルスの不活化ワクチンを接種した。その冬になって対照群 (ワクチン非接種) では、同じ抗原型の香港ウイル

スに27.5%の少年が感染したのに対し、ワクチン接種群においては、約1/5の5.5%の罹患率が算定され、この時のワクチンの有効率は80%であった<sup>3)</sup>

1997~2000年において老人福祉施設・病院に入所 (院) している高齢者 (65歳以上) を対象にインフルエンザHAワクチンを1回接種し有効性を評価した。有効性の正確な解析が可能であった98/99シーズンにおける結果から、発病阻止効果は34~55%、インフルエンザを契機とした死亡阻止効果は82%であり、インフルエンザHAワクチンは重症化を含め個人防衛に有効なワクチンと判断された。なお、解析対象者は同意が得られたワクチン接種者1,198人、非接種者 (対照群) 1,044人であった<sup>4)</sup>

##### 2. 安全性

インフルエンザHAワクチン接種後の主な副反応は発赤等の局所反応 (11.4%) 及び発熱等の全身反応であった<sup>5)</sup>

高齢者 (65歳以上) に対するインフルエンザHAワクチンの安全性を、国内5社のワクチンを用いて調査した。1,204例の対象者に2,306回の接種が行われ、副反応の発現頻度を、接種後3日間に被接種者が有害事象として認めた症状を記入する調査方法により調査した。その結果、全被接種者の副反応は、発熱などの全身反応が11.3%、発赤などの局所反応が11.6%であった<sup>6)</sup>

#### 【薬効薬理】<sup>5)</sup>

インフルエンザHAワクチンを3週間隔で2回接種した場合、接種1ヵ月後に被接種者の77%が有効予防水準に達する。

接種後3ヵ月で有効抗体水準が78.8%であるが、5ヵ月では50.8%と減少する。効果の持続は、流行ウイルスとワクチンに含まれているウイルスの抗原型が一致したときにおいて3ヵ月続くことが明らかになっている。基礎免疫を持っている場合は、ワクチン接種群における有効な抗体水準は、3ヵ月を過ぎても維持されているが、基礎免疫のない場合には、効果の持続期間が1ヵ月近く短縮される。

#### 【取扱上の注意】

##### 1. 保存時

誤って凍結させたものは、品質が変化しているおそれがあるので、使用してはならない。

##### 2. 接種前

使用前には、必ず、異常な混濁、着色、異物の混入その他の異常がないかを確認すること。

##### 3. 接種時

(1) 冷蔵庫から取り出し室温になってから、必ず振り混ぜ均等にして使用する。

(2) 一度針をさしたものは、貯法 (避光して、10℃以下に凍結を避けて保存) に従って保存し、当日中に使用する。

#### 【包装】

瓶入 1mL: 2本

#### 【主要文献】

1) Versluis, D. J. et al.: Antiviral Res. suppl. 1 289, 1985

[R02043]

※※2) Birth Defects and Drugs in Pregnancy, 1977 [R05081]

3) Sugiura, A. et al.: J. Infect. Dis. 122(6) 472, 1970

[VIN00043]

4) 神谷齊ほか: 厚生科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究事業), 総合研究報告書 (平成9年~11年度), インフルエンザワクチンの効果に関する研究 [VIN00059]

5) 根路銘国昭: ワクチンハンドブック (国立予防衛生研究所学会編) p.130, 1994 [R02585]

6) 堀内清ほか: 予防接種制度に関する文献集 30 113, 2000 [R03089]

#### 【文献請求先】

<文献請求先・製品情報お問い合わせ先>

アステラス製薬株式会社 営業本部D1センター

〒103-8411 東京都中央区日本橋本町2丁目3番11号

☎ 0120-189-371

製造販売



財団法人化学及血清療法研究所  
熊本市大窪一丁目6番1号

販売

アステラス製薬株式会社  
東京都板橋区蓮根3丁目17番1号

(300204)0910-2

VSW31602Z01

生物由来製品 ウイルスワクチン類  
劇薬 日本薬局方 生物学的製剤基準  
処方せん医薬品<sup>※</sup>

# A型インフルエンザHAワクチン(H1N1株)

販売名: **A型インフルエンザHAワクチンH1N1「生研」**

貯法: 遮光して、10℃以下に凍結を避けて保存 (【取扱上の注意】参照)。  
有効期間: 検定合格日から1年 (最終有効年月日は外箱等に表示)。  
注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること。

承認番号	16100EZZ01207000
薬価収載	適用外
販売開始	1972年9月

本剤は、A型H1N1 (ソ連型)、A型H3N2 (香港型)、B型の3株混合で製造されている季節性インフルエンザワクチンと同じく生物学的製剤基準「インフルエンザHAワクチン」に準拠し、新型インフルエンザA型 (H1N1) ウイルスの単抗原HAワクチンとして製造されたものである。新型インフルエンザA型 (H1N1) ワクチンとしては使用経験がなく、添付文書の副反応、臨床成績、薬効薬理等の情報については季節性インフルエンザワクチンとしての成績を記載している。新型インフルエンザA型 (H1N1) ワクチンとしての成績等に関しては、最新の情報を随時参照すること。

**【接種不適当者 (予防接種を受けることが適当でない者)】**  
被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行ってはならない。

- (1) 明らかな発熱を呈している者
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
- (3) 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者
- (4) 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

**【製法の概要及び組成・性状】**

**1. 製法の概要**

本剤は、インフルエンザウイルスのA型株を発育鶏卵で培養し、増殖したウイルスを含む尿膜腔液をゾーナル遠心機による蔗糖密度勾配遠心法により濃縮精製後、ウイルス粒子をエーテル等により処理してHA画分浮遊液とし、ホルマリンで不活化した後、リン酸塩緩衝塩化ナトリウム液を用いて規定濃度に混合調製した液剤である。

**2. 組成**

本剤は、1mL中に次の成分・分量を含有する。

成分		分量
有効成分 (製造株)	A/カリフォルニア/7/2009(H1N1)株	HA含量 (相当値) は、30 $\mu$ g以上
添加物	ホルマリン (ホルムアルデヒド換算)	0.0026w/v%以下
	チメロサール	0.004mg
	塩化ナトリウム	8.5mg
	リン酸水素ナトリウム水和物	1.725mg
	リン酸二水素カリウム	0.25mg

**3. 性状**

本剤は、インフルエンザウイルスのヘムアグルチニン (HA) を含む澄明又はわずかに白濁した液剤である。  
pH: 6.8~8.0 浸透圧比 (生理食塩液に対する比): 約1

**【効能・効果】**

本剤は、インフルエンザの予防に使用する。

**【用法・用量】**

0.5mLを皮下に、1回又はおよそ1~4週間の間隔において2回注射する。ただし、6歳から13歳未満の者には0.3mL、1歳から6歳未満の者には0.2mL、1歳未満の者には0.1mLずつ2回注射する。

**【用法・用量に関連する接種上の注意】**

1. 接種間隔  
2回接種を行う場合の接種間隔は、免疫効果を考慮すると4週間おくことが望ましい。
2. 他のワクチン製剤との接種間隔  
生ワクチンの接種を受けた者は、通常、27日以上、また他の不活化ワクチンの接種を受けた者は、通常、6日以上間隔を置いて本剤を接種すること。ただし、医師が必要と認めた場合には、同時に接種することができる (なお、本剤を他のワクチンと混合して接種してはならない)。

**【接種上の注意】**

1. 接種要注意者 (接種の判断を行うに際し、注意を要する者)

被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質を勘案し、診察及び接種適否の判断を慎重に行い、予防接種の必要性、副反応、有用性について十分な説明を行い、同意を確実に得た上で、注意して接種すること。

- (1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する者
- (2) 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者
- (3) 過去にけいれんの既往のある者
- (4) 過去に免疫不全の診断がなされている者及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる者
- (5) 気管支喘息のある者
- (6) 本剤の成分又は鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対して、アレルギーを呈するおそれのある者

2. 重要な基本的注意\*

- (1) 本剤は、「予防接種実施規則」及び「受託医療機関における新型インフルエンザ (A/H1N1) ワクチン接種実施要領」に準拠して使用すること。
- (2) 被接種者について、接種前に必ず問診、検温及び診察 (視診、聴診等) によって健康状態を調べること。
- (3) 本剤は添加物としてチメロサール (水銀化合物) を含有している。チメロサール含有製剤の投与 (接種) により、過敏症 (発熱、発疹、蕁麻疹、紅斑、掻痒等) があらわれたとの報告があるので、問診を十分に行い、接種後は観察を十分に行うこと。
- (4) 被接種者又はその保護者に、接種当日は過激な運動は避け、接種部位を清潔に保ち、また、接種後の健康監視に留意し、局所の異常反応や体調の変化、さらに高熱、けいれん等の異常な症状を呈した場合には、速やかに医師の診察を受けるよう事前に知らせること。

3. 相互作用

併用注意 (併用に注意すること)

免疫抑制剤 (シクロスポリン製剤等) 等との関係<sup>1)</sup>  
免疫抑制的な作用を持つ製剤の投与を受けている者、特に長期あるいは大量投与を受けている者は本剤の効果が得られないおそれがあるので、併用に注意すること。

4. 副反応 (まれに: 0.1%未満、ときに: 0.1~5%未満、副詞なし: 5%以上又は頻度不明)

(1) 重大な副反応

- 1) ショック、アナフィラキシー様症状: まれにショック、アナフィラキシー様症状 (蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等) があらわれることがあるので、接種後は観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
- 2) 急性散在性脳脊髄炎 (ADEM): まれに急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) があらわれることがある。通常、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等があらわれる。本症が疑われる場合には、MRI等で診断し、適切な処置を行うこと。

- 3) ギラン・バレー症候群：ギラン・バレー症候群があらわれることがあるので、四肢遠位から始まる弛緩性麻痺、腱反射の減弱ないし消失等の症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと。
- 4) けいれん：けいれん（熱性けいれんを含む）があらわれることがあるので、症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと。
- 5) 肝機能障害、黄疸：AST(GOT)、ALT(GPT)、 $\gamma$ -GTP、ALPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
- 6) 喘息発作：喘息発作を誘発することがあるので、観察を十分に行い、症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと。

(2) その他の副反応

- 1) 過敏症：まれに接種直後から数日中に、発疹、蕁麻疹、湿疹、紅斑、多形紅斑、痒疹等があらわれることがある。
- 2) 全身症状：発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、下痢、関節痛、筋肉痛等を認めることがあるが、通常、2～3日中に消失する。
- 3) 局所症状：発赤、腫脹、硬結、熱感、疼痛、しびれ感等を認めることがあるが、通常、2～3日中に消失する。

5. 高齢者への接種

一般に高齢者では、生理機能が低下しているので、接種に当たっては、予診等を慎重に行い、被接種者の健康状態を十分に観察すること。

6. 妊婦、産婦、授乳婦等への接種\*

妊娠中の接種に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には予防接種上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ接種すること。

なお、小規模ながら、接種により先天異常の発生率は自然発生率より高くないとする報告がある<sup>2)</sup>。

7. 接種時の注意

(1) 接種時

- 1) 接種用器具は、ガンマ線等により滅菌されたディスプレイポーションを用いる。
- 2) 容器の栓及びその周囲をアルコールで消毒した後、注射針をさし込み、所要量を注射器内に吸引する。この操作に当たっては雑菌が迷入しないよう注意する。また、栓を取り外し、あるいは他の容器に移し使用してはならない。
- 3) 注射針の先端が血管内に入っていないことを確かめること。
- 4) 注射針及び注射筒は、被接種者ごとに取り換えなければならない。

(2) 接種部位

接種部位は、通常、上腕伸側とし、アルコールで消毒する。なお、同一接種部位に反復して接種することは避けること。

【臨床成績】

i. 有効性

15～17歳の青年男性377名を178名と199名の2群に分け、前者には対照薬として破傷風トキソイドを、後者には流行の予想されるA香港型ウイルスのインフルエンザ不活化ワクチンを接種した。その冬における対照群は、同じ抗原型のA香港型ウイルスに27.5%の感染率を示したのに対し、インフルエンザワクチン接種群においては、約1/5の5.5%の感染率であり、この時のワクチンの有効率は80%と算定された<sup>3)</sup>。

1997～2000年において老人福祉施設・病院に入所（院）している高齢者（65歳以上）を対象にインフルエンザHAワクチンを1回接種し有効性を評価した。有効性の正確な解析が可能であった98/99シーズンにおける結果か

ら、発病阻止効果は34～55%、インフルエンザを契機とした死亡阻止効果は82%であり、インフルエンザHAワクチンは重症化を含め個人防衛に有効なワクチンと判断された。なお、解析対象者は同意が得られたワクチン接種者1198人、非接種者（対照群）1044人であった<sup>4)</sup>。

2. 安全性

インフルエンザHAワクチン接種後の主な副反応は、発赤等の局所反応（11.4%）及び発熱等の全身反応であった<sup>5)</sup>。

高齢者（65歳以上）に対するインフルエンザHAワクチンの安全性を、国内5社のワクチンを用いて調査した。1204例の対象者に2306回の接種が行われ、副反応の発現頻度を、接種後3日間に被接種者が有害事象として認められた症状を記入する調査方法により調査した。その結果、全被接種者の副反応は、発熱などの全身反応が11.3%、発赤などの局所反応が11.6%であった<sup>6)</sup>。

【薬効薬理】

インフルエンザHAワクチンを3週間隔で2回接種した場合、接種1箇月後に被接種者の77%が有効予防水準に達する。接種後3箇月で有効予防水準が78.8%であるが、5箇月では50.8%と減少する。効果の持続は、流行ウイルスとワクチンに含まれているウイルスの抗原型が一致した時において3箇月続くことが明らかになっている。基礎免疫を持っている場合は、ワクチン接種群における有効予防水準は、3箇月を過ぎて維持されているが、基礎免疫のない場合には、効果の持続期間がさらに1箇月近く短縮される<sup>7)</sup>。

【取扱い上の注意】

1. 接種前

- (1) 誤って凍結させたものは、品質が変化しているおそれがあるので、使用してはならない。
- (2) 使用前には、必ず、異常な混濁、着色、異物の混入その他の異常がないかを確認すること。

2. 接種時

- (1) 冷蔵庫から取り出し室温になってから、必ず振り混ぜ均等にして使用する。
- (2) 一度針をさしたものは、当日中に使用する。

【包装】

瓶入 1 mL 1本

【主要文献】\*

- 1) Versluis, D. J. et al. : Antiviral Res., suppl. 1, 289-292 (1985).
- 2) Birth Defects and Drugs in Pregnancy, 1977
- 3) Sugiura, A. et al. : J. Infect. Dis., 122 (6), 472-478 (1970).
- 4) 神谷 齊ら：インフルエンザワクチンの効果に関する研究，厚生科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）総合研究報告書（平成9～11年度）。
- 5) 根路銘国昭：インフルエンザワクチン，ワクチンハンドブック，130-141（1994）。
- 6) 堀内 清ら：高齢者（65才 $\leq$ ）におけるインフルエンザワクチンの安全性に関する検討，予防接種制度に関する文献集（30），113-118（2000）。

【文献請求先】

デンカ生研株式会社 学術営業推進部  
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町三丁目4番2号  
TEL 03-3669-9091  
FAX 03-3664-1023

販売

アステラス製薬株式会社  
東京都板橋区蓮根3丁目17番1号

製造販売元

デンカ生研株式会社  
新潟県五泉市南本町一丁目2番2号

平成21年11月21日

## 新型インフルエンザワクチンに関する安全性評価について

薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会  
安全対策調査会及び  
新型インフルエンザ予防接種後副反応検討会

新型インフルエンザワクチンの接種が10月19日より開始され、実施医療機関より厚生労働省に副反応について報告されている。11月19日までに877例が報告され、うち、重篤な症例が68例（13例の死亡を含む）であった。また、20日までの死亡例の報告は21例である。

現時点で国産ワクチンにおいて得られた情報に基づき、新型インフルエンザワクチン自体の安全性、接種事業の継続及びワクチン接種にあたって注意すべき点等の安全対策についての検討を行い、次のような意見として取りまとめるものである。

## 1. ワクチンの基本的な安全性

- 医療従事者2万例コホートの健康状況調査では、安全性の特性からみて、季節性インフルエンザワクチンと差はなく、期待する利益からみて、十分であったと考えられる。重篤な副反応発生についても、死亡や後遺障害に至る転帰のものはない。
- 医療従事者を中心に接種が行われた10月中の接種の現状においても、2万例コホートの調査と同様に、発生している副反応の特徴に、現時点では重大な懸念は示されていない。
- 新型インフルエンザワクチンは、副反応報告頻度が、季節性ワクチンに比較して高い傾向にあることは、次の点に留意が必要である。
  - 新型インフルエンザワクチンの接種事業は、予防接種実施要領等に基づき、「死亡、臨床症状の重篤なもの、後遺症を残す可能性のあるもの」に該当すると判断されるものは、因果関係の如何にかかわらず報告対象とし、契約により、接種医療機関に対して報告を求めていること
  - 季節性ワクチンの副反応データは、「副反応によると疑われる疾病」を報告する薬事法の下での数値であること
  - 社会的な関心が高い等の理由
- 以上からみて、現時点で、医療従事者への接種を中心とした評価においては、ワクチンの安全性において重大な懸念を有するものではないが、今後接種規模を広げた場合での評価を継続すべきである。

## 2. 基礎疾患を有する高齢者の死亡について

- 11月以降の接種者において、死亡症例の報告が増加している傾向にあるのは、優先接種対象者として、呼吸器、心臓、腎臓等の基礎疾患（重度の基礎疾患）を有する患者への接種が11月から開始していることと関連した事象であると考えられる。
- 人口動態統計から見ても、基礎疾患を有する高齢者の死亡は高い頻度で見られるものであり、今回報告された事例はいずれも重度の基礎疾患を有する者であり、ワクチン接種と死亡が偶発的に重なった可能性は否定できない。
- 個々の死亡事例についても、限られた情報の中で因果関係は評価できないものもあるが、大部分は、基礎疾患の悪化や再発による死亡の可能性が高いと考えられ、死亡とワクチン接種との直接の明確な関連が認められた症例は現時点ではない。
- これらのことと、健康な医療従事者における実績を併せて考えれば、ワクチン自体に安全性上の明確な問題があるとは考えにくい。
- しかしながら、重度の基礎疾患を有する患者においては、ワクチンの副反応が重篤な転帰に繋がる可能性も完全には否定できないことから、接種時及び接種後の処置等において留意する必要がある。
- また、感染リスクは低いものの、高齢者で基礎疾患を有する者はインフルエンザに罹患した場合に重篤な転帰をたどる可能性が高く、新型インフルエンザワクチンにおいて見られているリスクと比較して、相対的に接種のメリットは大きいと考えられる。

## 3. 今後の対応について

- 重度の基礎疾患を有する高齢者におけるワクチン接種後の死亡であって、ワクチンと明らかな関連がないものとして主治医等が報告したものについては、個別事例の評価以外に、集積した情報の中から、問題や注意を要する情報を抽出することに重点を置いて評価すること。
- 実施要領において、心臓、じん臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する者等への接種に当たっては、接種を行うことの適否を慎重に判断するよう、接種を担当する医師に求めているが、これを徹底すること。また、そのような者に接種した場合には、接種後短時間のうちに被接種者の体調に異変が起きた場合でも適切に対応できるよう、接種後一定時間、被接種者の状態を観察すること等について、行政は医療関係者に注意喚起すべきこと。また、ワクチン接種は個々人の判断により行うべきものであることを考慮し、現在の感染状況やワクチンの安全性情報の提供を行政は徹底させること。

事務連絡  
平成 21 年 12 月 1 日

都道府県  
各 政 令 市 新型インフルエンザ対策担当課 御中  
特 別 区

厚生労働省  
新型インフルエンザ対策推進本部事務局

#### 基礎疾患を有する者への適切な接種の実施について

新型インフルエンザ対策の推進については、平素より御支援御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今般、新型インフルエンザワクチンの接種後の副反応報告において、基礎疾患を有する高齢者の死亡事例が報告されたことから、これらの者に対して適切な接種が実施されるよう医療関係団体あて別添のとおり通知したので、御了知いただくとともに、受託医療機関等に対する説明の機会等を利用して周知徹底を図っていただけるようよろしく願います。

(別添)

事務連絡  
平成21年12月1日

(社) 日本私立医科大学協会  
(社) 全国自治体病院協議会  
(社) 全日本病院協会  
(社) 日本医療法人協会  
(社) 日本病院協会  
国立大学付属病院長会議  
(独) 国立病院機構  
全国公私病院連盟  
(社) 日本精神科病院協会  
日本慢性期医療協会  
(独) 労働者健康福祉機構  
(社) 日本医師会

御中

厚生労働省  
新型インフルエンザ対策推進本部事務局

#### 基礎疾患を有する者への適切な接種の実施について

基礎疾患を有する者への接種に当たっては、「受託医療機関における新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチン接種実施要領」(平成21年10月13日付け厚生労働省発健1013第4号厚生労働事務次官通知。以下「接種実施要領」という。)において、被接種者の健康状態及び体質を勘案し、接種の適否を慎重に判断するとともに、「新型インフルエンザワクチン接種に係る副反応の報告状況について」(平成21年10月23日付け新型インフルエンザ対策推進本部事務局事務連絡。以下「10月23日付け事務連絡」という。)において、アレルギー・ぜんそくの既往のある者への接種については、接種後の健康状態を確認するよう受託医療機関に求めているところです(別紙1)。

今般、基礎疾患を有する高齢者等の死亡事例が報告(平成21年11月20日までで21例、11月26日までで計31例)され、平成21年11月21日の薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会及び新型インフルエンザ予防接種後副反応検討会において、11月20日までに得られた情報に基づき、

- ・ 今回報告された事例はいずれも重度の基礎疾患を有する者であり、ワクチン接種と死亡が偶発的に重なった可能性は否定できないこと、
- ・ 重度の基礎疾患を有する患者においては、ワクチンの副反応が重篤な転帰に繋がる可能性も完全に否定できないことから、接種及び接種後の処置等において留意する必要があること、
- ・ また、感染リスクは低いものの、高齢者で基礎疾患を有する者はインフルエンザに罹患した場合に重篤な転帰をたどる可能性が高く、新型インフルエンザワクチンにおいて見られているリスクと比較して、相対的に接種のメリットは大きいと考えられること等の評価がされ、今後の対応について別紙2のとおり取りまとめられたところであり、11月30日の同調査会及び検討会においても、11月26日までに得られた情報に基づき検討された結果、別紙2の見解を維持するとされたところであり、

これらを受け、厚生労働省として、基礎疾患を有する者への接種については、従来どおり行うこととしております。

については、基礎疾患を有する者への接種に当たっては、これまでも接種実施要領等に基づき適切に実施されているものと認識していますが、同調査会及び検討会からの意見を踏まえ、下記について、再度、管下受託医療機関に対し周知徹底方よろしくお願いいたします。

## 記

1. 接種実施要領に基づき、接種を行うに際しては、厚生労働省ホームページを適宜参照いただき、新型インフルエンザの年齢別の感染状況やワクチンの副反応の状況を確認の上、接種を希望する者に対して、ワクチン接種は個々人の判断により行うべきものであることを周知し、ワクチン接種の効果や限界、安全性等について十分説明のうえ、説明に基づく同意を確実に得るようにすること。なお、その際、積極的な接種勧奨にわたることのないよう、特に留意すること。
2. 接種実施要領に基づき、心臓、じん臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者等の基礎疾患を有する者については、必要に応じて、主治医及び専門性の高い医療機関の医師に対し、接種の適否について意見を求め、接種の適否を慎重に判断すること。特に、基礎疾患を有する者のかかりつけ医療機関以外の受託医療機関については、優先接種対象者証明書により基礎疾患である疾病を有することを確認した上で十分な予診を行うとともに、必要に応じて、基礎疾患を有する者のかかりつけ医療機関に確認する等、接種の適否を慎重に判断すること。
3. 10月23日付け事務連絡に基づき、受託医療機関は、アレルギー・ぜんそくの既往のある者等の基礎疾患を有する者については、接種した後短時間のうちに被接種者の体調に異変が起きた場合においても適切に対応できるよう、接種後一定期間は接種を実施した場所に留っていただき、被接種者の状態に注意すること。

### (参考)

新型インフルエンザワクチンの安全性について

厚生労働省ホームページ：[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/inful\\_vaccine.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/inful_vaccine.html)

新型インフルエンザ患者の国内発生状況について

厚生労働省ホームページ：<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/houdou.html>

(別紙1)

○受託医療機関における新型インフルエンザ（A/H1N1）ワクチン接種実施要領（平成21年10月13日付け厚生労働省発健1013第4号厚生労働事務次官通知）〈抜すい〉

6 予防接種の実施

(3) 予診並びに予防接種不相当者及び予防接種要注意者

ア 予診

(ア) 受託医療機関は、別紙様式2から4の「新型インフルエンザ予防接種予診票」（以下「予診票」という。）をあらかじめ優先接種対象者等ごとの区分に応じて配付し、各項目について記入を求める。

(イ) 受託医療機関の医師は、問診、検温、視診、聴診等の診察を接種前に行い、新型インフルエンザの予防接種を受けることが適当でない者又は新型インフルエンザの予防接種の判断を行うに際して注意を要する者に該当するか否かを確認する（以下「予診」という。）。

イ 予防接種を受けることが適当でない者

受託医療機関の医師は、予診の結果、下記のような、新型インフルエンザの予防接種を受けることが適当でない者に該当すると判断した場合は、その優先接種対象者等に対して、新型インフルエンザの予防接種を行ってはならない。

- ① 明らかな発熱を呈している者
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
- ③ 当該疾病に係る予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者
- ④ ①から③までに掲げる者のほか、予防接種を行うことが不相当な状態にある者

ウ 予防接種要注意者

(ア) 新型インフルエンザの予防接種を行うに際して注意を要する者については、被接種者の健康状態及び体質を勘案し、慎重に新型インフルエンザの予防接種の適否を判断するとともに、接種を行うに際しては、接種を希望する意思を確認した上で、説明に基づく同意を確実に得る。その際、積極的な接種勧奨にわたることのないよう、特に留意する。

(イ) 心臓、じん臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者については、新型インフルエンザの予防接種を行うに際して注意を要する者として、主治医及び専門性の高い医療機関の医師に対し、必要に応じて、接種の適否について意見を求め、接種の適否を慎重に判断する。

エ 基礎疾患を有する者

基礎疾患を有する者のかかりつけ医療機関以外の受託医療機関については、優先接種対象者証明書により基礎疾患である疾病を有することを確認した上で十分な予診を行うとともに、必要に応じて、基礎疾患を有する者のかかりつけ医療機関に確認する等、接種の適否を慎重に判断する。

(4) 予防接種後副反応等に関する説明

予診の際は、新型インフルエンザワクチンの効果や限界、リスク、製品特性（製

造法、アジュバントの有無、チメロサル等防腐剤の含有の有無等)、新型インフルエンザの予防接種後の通常起こり得る反応及びまれに生じる重い副反応並びに健康被害救済制度について、優先接種対象者等又はその保護者がその内容を理解し得るよう、別紙2「新型インフルエンザワクチンの接種に当たって」を用いて適切な説明を行う。

#### (5) 接種意思の確認

##### ア 保護者の同伴要件

16歳未満の者又は成年被後見人の優先接種対象者等については、原則、保護者(親権を行う者又は後見人をいう。以下同じ。)の同伴が必要である。

##### イ 接種する意思の確認

(ア) 受託医療機関は、新型インフルエンザの予防接種を行うに際し、優先接種対象者等又はその保護者が自らの意思で接種を希望する旨の同意をしたことを別紙様式2から4の予診票により認められる場合に限り接種を行う。

(イ) 優先接種対象者等又はその保護者の意思を確認できない場合は、接種してはならない。

○新型インフルエンザワクチン接種に係る副反応の報告状況について平成21年10月23日付け新型インフルエンザ対策推進本部事務局事務連絡)〈抜すい〉

#### 2 留意事項

- ① アレルギー・ぜんそくの既往のある方への接種については、適切な準備と対応をして接種に当たるよう注意をお願いいたします。
- ② アレルギー・ぜんそくの既往のある方への接種については、ワクチン接種後、少なくとも30分後までは、病院に待機させ、健康状態をご確認下さい。

○新型インフルエンザワクチンの接種後副反応報告及び推定患者数について(平成21年11月26日公表資料)〈抜すい〉

#### 2 留意事項

- ① アレルギー・ぜんそくの既往のある方への接種については、適切な準備と対応をして接種に当たるよう注意をお願いいたします。
- ② アレルギー・ぜんそくの既往のある方への接種については、ワクチン接種後、少なくとも30分後までは、病院に待機させ、健康状態をご確認下さい。
- ③ 実施要領に記載されているとおり、心臓、じん臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する方及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不覚な程度の障害を有する方への接種に際しては、主治医及び専門性の高い医療機関の医師に対し、必要に応じて、接種の適否について意見を求め、接種の適否を慎重に判断してください。

## 新型インフルエンザワクチンに関する安全性評価について

薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会  
安全対策調査会及び  
新型インフルエンザ予防接種後副反応検討会

新型インフルエンザワクチンの接種が10月19日より開始され、実施医療機関より厚生労働省に副反応について報告されている。11月19日までに877例が報告され、うち、重篤な症例が68例(13例の死亡を含む)であった。また、20日までの死亡例の報告は21例である。

現時点で国産ワクチンにおいて得られた情報に基づき、新型インフルエンザワクチン自体の安全性、接種事業の継続及びワクチン接種にあたって注意すべき点等の安全対策についての検討を行い、次のような意見として取りまとめるものである。

### 1. ワクチンの基本的な安全性

- 医療従事者2万例コホートの健康状況調査では、安全性の特性からみて、季節性インフルエンザワクチンと差はなく、期待する利益からみて、十分であったと考えられる。重篤な副反応発生についても、死亡や後遺障害に至る転帰のものはなかった。
- 医療従事者を中心に接種が行われた10月中の接種の現状においても、2万例コホートの調査と同様に、発生している副反応の特徴に、現時点では重大な懸念は示されていない。
- 新型インフルエンザワクチンは、副反応報告頻度が、季節性ワクチンに比較して高い傾向にあることは、次の点に留意が必要である。
  - ・ 新型インフルエンザワクチンの接種事業は、予防接種実施要領等に基づき、「死亡、臨床症状の重篤なもの、後遺症を残す可能性のあるもの」に該当すると判断されるものは、因果関係の如何にかかわらず報告対象とし、契約により、接種医療機関に対して報告を求めていること
  - ・ 季節性ワクチンの副反応データは、「副反応によると疑われる疾病」を報告する薬事法の下での数値であること
  - ・ 社会的な関心が高い等の理由
- 以上からみて、現時点で、医療従事者への接種を中心とした評価においては、ワクチンの安全性において重大な懸念を有するものではないが、今後接種規模を広げた場合での評価を継続すべきである。

### 2. 基礎疾患を有する高齢者の死亡について

- 11月以降の接種者において、死亡症例の報告が増加している傾向にあるのは、優先接種対象者として、呼吸器、心臓、腎臓等の基礎疾患(重度の基礎疾患)を有する患者への接種が11月から開始していることと関連した事象であると考えられる。
- 人口動態統計から見ても、基礎疾患を有する高齢者の死亡は高い頻度で見られるも

のであり、今回報告された事例はいずれも重度の基礎疾患を有する者であり、ワクチン接種と死亡が偶発的に重なった可能性は否定できない。

- 個々の死亡事例についても、限られた情報の中で因果関係は評価できないものもあるが、大部分は、基礎疾患の悪化や再発による死亡の可能性が高いと考えられ、死亡とワクチン接種との直接の明確な関連が認められた症例は現時点ではない。
- これらのことと、健康な医療従事者における実績を併せて考えれば、ワクチン自体に安全性上の明確な問題があるとは考えにくい。
- しかしながら、重度の基礎疾患を有する患者においては、ワクチンの副反応が重篤な転帰に繋がる可能性も完全には否定できないことから、接種時及び接種後の処置等において留意する必要がある。
- また、感染リスクは低いものの、高齢者で基礎疾患を有する者はインフルエンザに罹患した場合に重篤な転帰をたどる可能性が高く、新型インフルエンザワクチンにおいて見られているリスクと比較して、相対的に接種のメリットは大きいと考えられる。

### 3. 今後の対応について

- 重度の基礎疾患を有する高齢者におけるワクチン接種後の死亡であって、ワクチンと明らかな関連がないものとして主治医等が報告したものについては、個別事例の評価以外に、集積した情報の中から、問題や注意を要する情報を抽出することに重点を置いて評価すること。
- 実施要領において、心臓、じん臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する者等への接種に当たっては、接種を行うことの適否を慎重に判断するよう、接種を担当する医師に求めているが、これを徹底すること。また、そのような者に接種した場合には、接種後短時間のうちに被接種者の体調に異変が起きた場合でも適切に対応できるよう、接種後一定時間、被接種者の状態を観察すること等について、行政は医療関係者に注意喚起するべきこと。また、ワクチン接種は個々人の判断により行うべきものであることを考慮し、現在の感染状況やワクチンの安全性情報の提供を行政は徹底させること。

# 各国で承認されたH1N1ワクチンの副反応報告の状況

種類 (下段 メーカー)	米国	カナダ	スイス	英国		EU			ドイツ	
	アジュバント無	アジュバント有	アジュバント有	アジュバント 有・無		アジュバント有・無			アジュバント 有・無	
	CSL ノバルティス サノフィ バイオメディカル	GSK(Q-PAN)	ノバルティス GSK(D-PAN)	GSK (D- PAN) (有)	バク スター (無)	GSK (D- PAN) (有)	ノバル ティス (有)	バクス ター (無)	GSK (D- PAN) (有)	バクス ター (無)
推定接種数 (万人)	6,400 (供給数)	1,849 (供給数)	284 (供給数)	180		1,100	450	340 (供給数)	400	不明
副反応(件) (下段%)	4,890 0.008%	3,396 0.018%	289 0.010%	1,710 0.095%		3,540	1,570	191 0.006%	658 0.016%	1
死亡(人) (下段10万人)	19 0.030	4 0.022	8 0.282	4 0.222		60 0.545	12 0.267	1 0.029	10 0.250	不明
情報(現在)	12月4日	11月27日	12月4日	12月1日		12月1日			11月26日	

種類 (下段 メーカー)	オーストラリア	スウェーデン	ノルウェー	アイルランド		フランス		中国
	アジュバント無	アジュバント有	アジュバント有	アジュバント 有・無		アジュバント有・ 無		アジュバント無
	CSL	GSK(D-PAN)	GSK(D-PAN)	GSK (D- PAN) (有)	バク スター (無)	GSK (D- PAN) (有)	サノフィ (無)	シノバック等
推定接種数 (万人)	375 (供給数)	190	213 (供給数)	40		200		2,618
副反応(件) (下段%)	654 0.017%	2,300 0.121%	496 0.023%	619 0.155%		909 0.045%		2,867 0.011%
死亡(人) (下段10万人)	不明	12 0.632	8 0.376	1 0.250		不明		4 0.015
情報(現在)	10月29日	11月17日	12月3日	12月9日		12月6日		11月30日

(注)本表は各国規制当局HPIにおける情報をとりまとめた。なお、報告対象は各国により異なるので単純比較できるものでは必ずしもないことに留意。